EPSON

Offirio
オフィリオ プロジェクター

取扱説明書

EMP-9300
EMP-8300

お使いになる前に

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。本製品を安全に正しくお使いいただくために、添付のマニュアルをよくお読みください。不明な点はいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。

3LCD

説明書の構成と表示の意味

◆各説明書の使い方

本機の説明書は､次の3冊で構成されています。以下の順番でお読みください。

❶安全にお使いいただくために / サポートとサービスのご案内
本製品を安全にお使いいただくための注意事項やサポートとサービスのご案内､トラブルチェックシートなどが記載されています。
使い始める前に､必ずご覧ください。

❷取扱説明書(本書)
本機を使い始めるまでの準備や基本操作､環境設定メニューの使い方と､困ったときの対処方法､お手入れの方法などについて記載しています。

❸クイックリファレンスガイド
本機の最も一般的な機能を､すぐに見られるようにまとめてあります。常にプロジェクターのそばに置き､プレゼンテーションを始める前や途中で操作を確認したくなったときにご覧ください。

◆説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には､製品を安全に正しくお使いいただき､お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために､絵表示が使われています。
その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると､人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると､人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

(!) 注意	本機の故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
☛	関連事項や､より詳しい説明を記載しているページを示しています。
▸▸	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は､用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。☛ p. 143
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
[(表記名)]	リモコン､またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタンに表記されている名称を示しています。 例:[戻る]ボタン､[音声入力]端子
「(メニュー名)」	環境設定メニューの項目を示しています。 例:「映像」→「明るさ」

「本機」または「本プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には､プロジェクター本体のほかに同梱品や別売品も含まれる場合があります。

目次

同梱品の確認 4
EMP-9300 4
EMP-8300 5
本機の特長 6

使い始めるまでの準備

リモコンをお使いになる前に 10
電池のセット 10
リモコンの使い方と操作範囲 11
本機の設置 13
設置方法 13
スクリーンサイズと投写距離 14
コンピュータとの接続 16
接続できるコンピュータ 16
コンピュータの映像を映す 17
コンピュータを2台以上接続する場合 22
リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス機能) 23
ビデオ機器との接続 25
コンポジットビデオの映像を映す 25
S-ビデオの映像を映す 26
コンポーネントビデオの映像を映す 27
BSデジタルチューナの映像を映す 28
RGBビデオ映像を映す 29
接続機器の音声を出す 31
外部スピーカから音声を出す 33
外部モニタで投写映像を確認する 34
外部モニタとの接続 34
本機のスタンバイ時に外部モニタで投写映像を確認する
(スタンバイモニタアウト) 35
ケーブルカバーを取り付ける 36
利用者を管理する(パスワードプロテクト)(EMP-9300のみ) ... 37
パスワードプロテクトを有効にしていると 37
パスワードプロテクトの設定方法 39

基本操作編

電源を入れ投写しよう 44
電源ケーブルを接続しよう 44
電源ON､投写開始... 45
映像を見ながら投写映像を選ぶ(プレビュー機能) 48
電源を切り終了しよう 50
投写画面を調整しよう 52
投写サイズの微調整(ズーム調整)......................... 52
ピントを合わせる(フォーカス調整)....................... 53
投写画面の位置調整 53
投写画面のゆがみを補正しよう(台形補正) 56
画質の調整をしよう 61
コンピュータ映像の調整.................................. 61
映り具合を選ぶ(カラーモード選択)....................... 64
音量を調整しよう 65

応用編

便利な機能 68
A/Vミュート機能... 68
静止機能... 69
Eズーム機能... 70
PinP(ピクチャー イン ピクチャー)機能.................... 71
エフェクト機能... 73
プリセット機能... 75
リサイズ/アスペクト比の切り替え......................... 77
プロジェクターID/リモコンID 80
環境設定メニューの機能と操作 82
機能一覧... 82
環境設定メニューの操作 96
ネットワークを使ったプロジェクターの監視･制御 98
動作可能なコンピュータ 99
Projector Softwareのインストールとアンインストール...... 99
ネットワークケーブルの接続.............................. 101
プロジェクター側の接続設定.............................. 102
メール通知機能による異常の通知.......................... 103
プロジェクターの監視･制御を集中管理する(EMP Monitor) .. 110

困ったときに

ヘルプの見方 116
故障かなと思ったら 117
　インジケータの見方.................................. 117
　インジケータを見てもわからないとき.................. 120

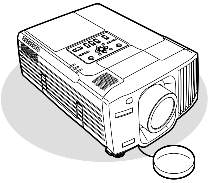
付　録

お手入れの方法 130
　各部の掃除.. 130
　消耗品の交換.. 133
ユーザーロゴの登録 139
オプション・消耗品一覧 141
用語解説 143
『EPSON Projector Software for Multi Screen』
CD-ROMについて(EMP-9300のみ) 146
　動作可能なコンピュータ 146
　インストール.. 146
　『EMP Multi Screen Adjustment 活用ガイド』を読む........ 147
　アンインストール.................................... 148
ESC/VP21コマンド一覧 149
　コマンドリスト...................................... 149
　通信プロトコル...................................... 149
　ケーブル配線.. 150
　USB通信の準備....................................... 151
対応解像度一覧 152
仕様一覧 154
外形寸法図 158
索引 159
各部の名称と働き 162
　前面/上面/側面...................................... 162
　底面 163
　背面 163
　本体操作パネル...................................... 164
　リモコン 165
　入出力端子 166

同梱品の確認

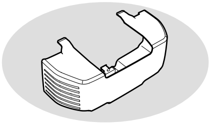
同梱品はお買い上げいただいたプロジェクターにより異なります。
下記のチェックリストをご覧になり、同梱品を確認してください。
万一、不足や不良がありましたら、お手数ですがお買い求めいただいた販売店までご連絡ください。

EMP-9300

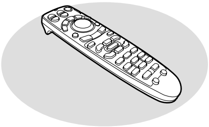


□プロジェクター本体

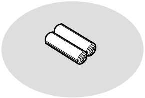
イラストは、オプションの標準ズームレンズを装着した状態のものです。装着しているレンズにより形態が異なります。



□ケーブルカバー

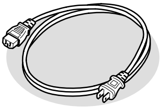


□リモコン



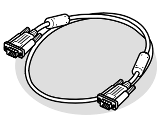
□単3形アルカリ乾電池
(2本)

リモコンにセットして使います。



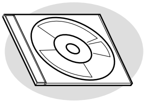
□電源ケーブル
(日本国内用3m)

本機と電源コンセントを接続します。



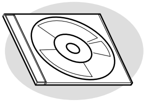
□コンピュータケーブル
(ミニD-Sub 15pin/
ミニD-Sub 15pin 1.8m)

コンピュータの映像を投写するときに使います。



□EPSON Projector Software
(CD-ROM 1枚)

ネットワーク監視・制御機能を使用するためのソフトウェアが入っています。
コンピュータにインストールして使います。



□EPSON Projector Software for Multi Screen (CD-ROM 1枚)

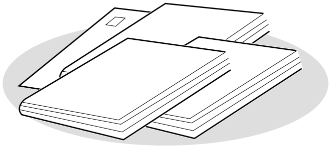
ネットワークを使って複数のプロジェクターの色の差を調整するためのソフトウェアが入っています。
コンピュータにインストールして使います。

□パスワードプロテクトシール

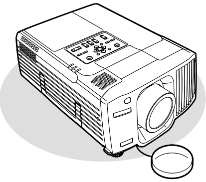
パスワードプロテクトを有効にした場合は、盗難防止の効果を高めるために、本機のお好きな位置に貼ってください。

ドキュメント類

□安全にお使いいただくために/
　サポートとサービスのご案内
□取扱説明書(本書)
□クイックリファレンスガイド
□お客様情報+正式保証書発行カード

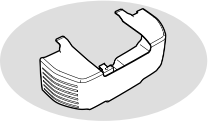


EMP-8300

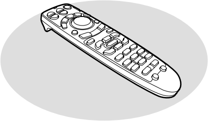


□プロジェクター本体

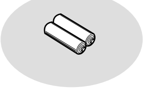
イラストは､標準ズームレンズを装着した状態のものです。
装着しているレンズにより形態が異なります。



□ケーブルカバー

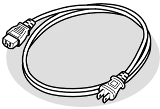


□リモコン



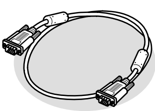
□単3形アルカリ乾電池
(2本)

リモコンにセットして使います。



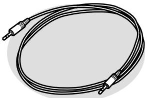
□電源ケーブル
(日本国内用3m)

本機と電源コンセントを接続します。



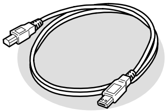
□コンピュータケーブル
(ミニD-Sub 15pin/
ミニD-Sub 15pin 1.8m)

コンピュータの映像を投写するときに使います。



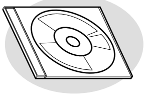
□オーディオケーブル
(φ3.5mmステレオミニプラグ 1.8m)

本機の内蔵スピーカからコンピュータの音声を出すときに使います。



□USBケーブル
(1.8m)

USB端子のあるコンピュータと接続し､ワイヤレスマウス機能を使う場合や通信を行うときに使用します。

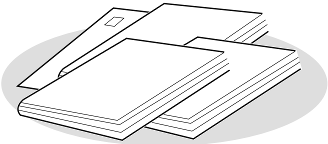


□EPSON Projector Software
(CD-ROM 1枚)

ネットワーク監視･制御機能を使用するためのソフトウェアが入っています。
コンピュータにインストールして使います。

ドキュメント類

□安全にお使いいただくために/
　サポートとサービスのご案内
□取扱説明書(本書)
□クイックリファレンスガイド
□お客様情報十正式保証書発行カード



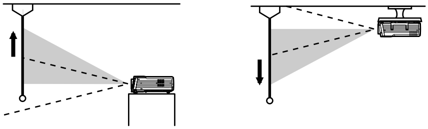
本機の特長

多彩な投写画面の位置調整機能

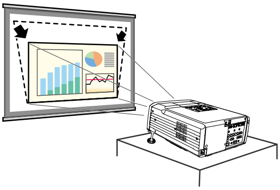
設置する場所を選ばず投写することができます。

- 高い位置にスクリーンがある場合や、天井の高い部屋で天吊りして投写する場合

投写映像を上下に調整できます。
(レンズシフト機能 p.54)



フロントフットで本機を傾けたときの、投写映像の台形ゆがみを補正できます。
(タテ補正 p.59)

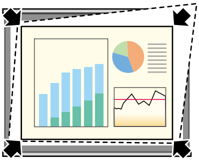


タテ補正で投写映像の高さが低くなっても高さ補正できます。(高さ補正 p.60)

- スクリーンのサイドから投写する場合

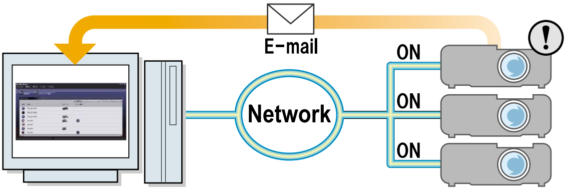
4つの角を補正するQuick Cornerでスクリーンピッタリに補正できます。 p.56

Quick Corner



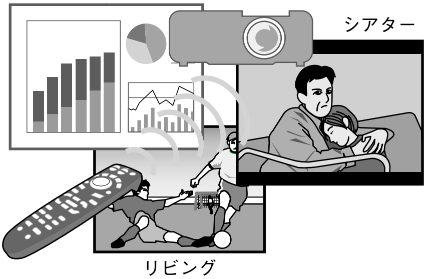
ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御機能

ネットワークを使ってコンピュータから１人のオペレーターが一括して、複数のプロジェクターの状態を監視したり、電源のON/OFFや映像ソースを切り替えたりすることができます。(EMP Monitor p.98)
投写中にランプが切れるなど、プロジェクターに異常が発生した場合は、プロジェクター自らが電子メールで状態を通知します。(メール通知機能 p.103)



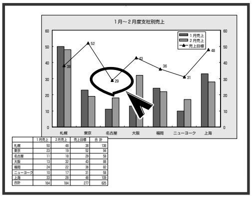
カラーモード機能

あらかじめ登録されている次の5つの設定から、使用シーンに応じて画質を選択するだけで最適な映像を投写できます。面倒なカラー調整は不要です。
☛p.64
・ダイナミック・プレゼンテーション
・シアター　　・リビング
・sRGB▸▸



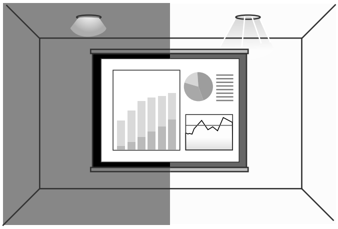
エフェクト機能

リモコン操作だけで、重要な箇所をポインタアイコンで指し示す、直線やフリーハンドで線を描いてポイント部分を強調することができます。☛p.73



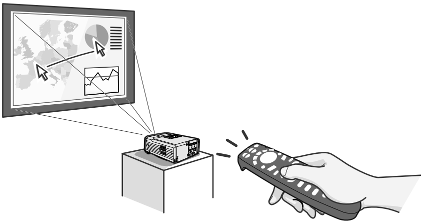
美しく鮮明な映像

高解像度、高輝度による鮮やかな画面を実現。
また、暗い部屋で投写したり、小さなスクリーンに映す場合など投写映像が明るすぎるときは、低輝度に切り替えられます(EMP-8300のみ)。☛p.92



操作が簡単

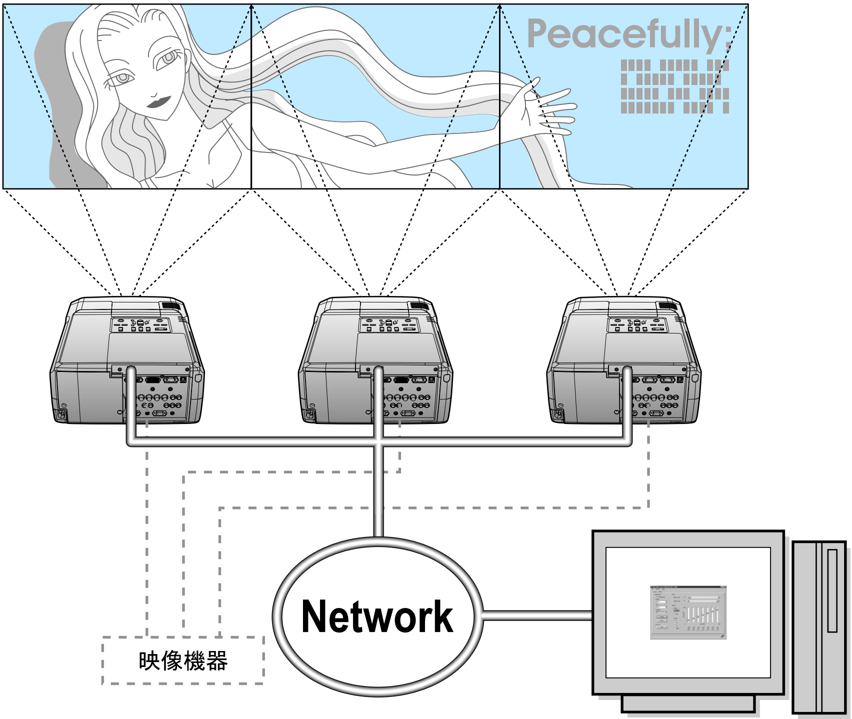
同梱のリモコンを使い、投写映像を停止する(静止機能 ☛p.69)、大切な部分をズームアップする(Eズーム機能 ☛p.70)などの操作ができます。
投写中のコンピュータ画面上のポインタ操作も、リモコンで行えます(ワイヤレスマウス機能 ☛p.23)。ワイヤレスマウス機能を使うと、PowerPointの文書をプレゼンテーションするとき、リモコンで次ページ送り、前ページ戻しが行えます。



EMP Multi Screen Adjustment

複数のプロジェクターを使って投写した映像を、大画面スクリーンに1つの映像のように見せる場合、各プロジェクターの色の差によって違和感を感じることがあります。こんな場合は「EMP Multi Screen Adjustment」で複数のプロジェクターを調整することができます(EMP-9300のみ)。

☛『EMP Multi Screen Adjustment 活用ガイド』



使い始めるまでの準備

この章では、開梱後、本機を設置し、使い始めるまでの作業について説明しています。

リモコンをお使いになる前に 10

- 電池のセット 10
- リモコンの使い方と操作範囲 11
  - 使い方 11
  - 操作範囲 12

本機の設置 13

- 設置方法 13
- スクリーンサイズと投写距離 14
  - EMP-8300 15
  - EMP-9300 14

コンピュータとの接続 16

- 接続できるコンピュータ 16
- コンピュータの映像を映す 17
  - モニタ端子がミニD-Sub 15pin端子の場合 17
  - モニタ端子が5BNC端子の場合 19
  - モニタ端子が13w3端子の場合 18
  - モニタ端子がデジタルRGB端子の場合 21
- コンピュータを2台以上接続する場合 22
- リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス機能) 23

ビデオ機器との接続 25

- コンポジットビデオの映像を映す 25
- S-ビデオの映像を映す 26
- コンポーネントビデオの映像を映す 27
- BSデジタルチューナの映像を映す 28
- RGBビデオ映像を映す 29
  - RGB出力端子がミニD-Sub 15pin端子の場合 29
  - RGB出力端子が3BNC端子の場合 30

接続機器の音声を出す 31

外部スピーカから音声を出す 33

外部モニタで投写映像を確認する 34

- 外部モニタとの接続 34
- 本機のスタンバイ時に外部モニタで投写映像を確認する(スタンバイモニタアウト) 35

ケーブルカバーを取り付ける 36

  - 取り付け方 36
  - 取り外し方 36

利用者を管理する(パスワードプロテクト)(EMP-9300のみ) 37

- パスワードプロテクトを有効にしていると 37
  - 「電源投入時」を有効(ON)にしている場合 37
  - 「ユーザーロゴ保護」を有効(ON)にしている場合 38
- パスワードプロテクトの設定方法 39

リモコンをお使いになる前に

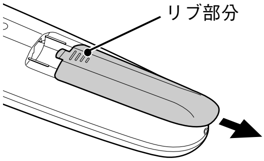
電池のセット

購入直後は、リモコンに電池はセットされていません。まず、同梱の乾電池をセットします。

注意 電池を取り扱う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

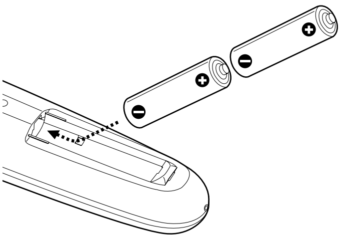
操作

1 電池カバーを外します。
電池カバーのリブ部分を押さえながら、矢印の方向にスライドさせます。

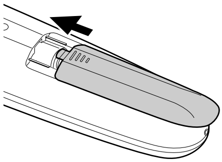


2 電池をセットします。

⚠注意 電池ホルダ内の表示を確認し、(+)(−)を正しく入れてください。



3 電池カバーを取り付けます。
電池カバーをスライドさせて、ツメの部分をカチッと音がするまで差し込みます。



ポイント 使い続けているうちに、リモコンの反応が遅くなったり、操作できなくなった場合は電池の寿命が考えられます。新しい電池と交換してください。交換用の電池は単3形アルカリ乾電池2本を用意してください。

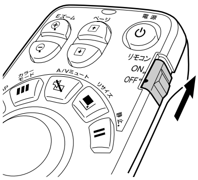
リモコンの使い方と操作範囲

使い方

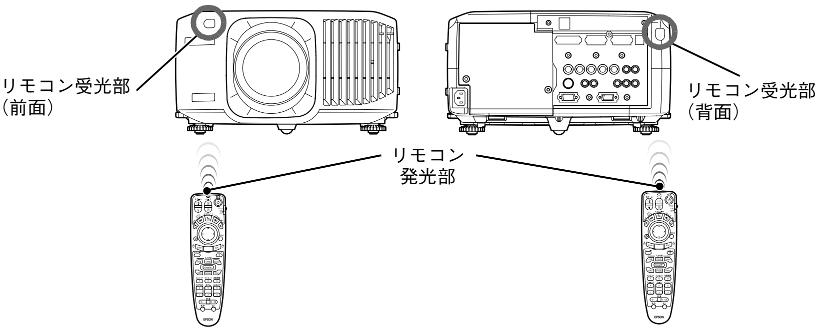
リモコンの使い方は次のとおりです。

操作

1 リモコンの[リモコン]スイッチをONにします。



2 リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作します。



ポイント

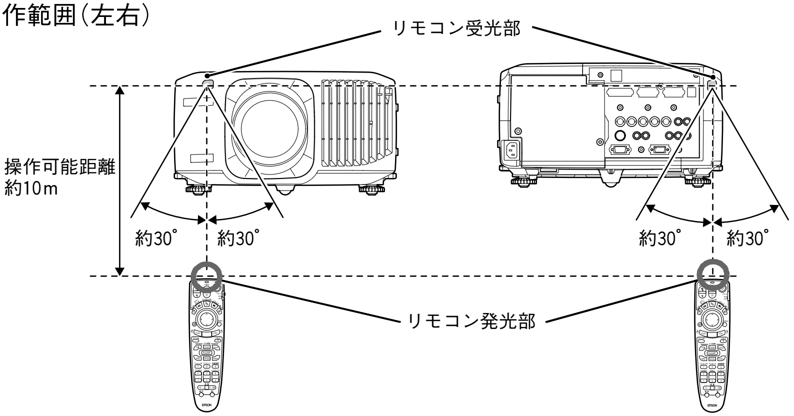
- プロジェクターのリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンからの信号を受信できないことがあります。
- 使い終ったら、リモコンの[リモコン]スイッチをOFFにします。ONのままだと電池が消耗します。
- リモコンのスイッチON時にボタンが1分間以上押されたままの状態になっていると、ボタン操作の信号を送信しなくなります(リモコンのスリープモード)。これにより、リモコンが何かの下敷きになっている場合も電池の消耗を減らすことができます。
  いったんボタンを離して再度操作してください。

操作範囲

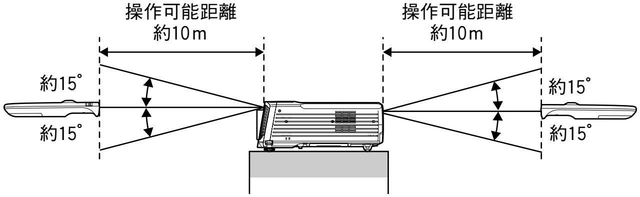
リモコンで操作する場合は、次の範囲でお使いください。受光部との距離や角度が操作可能範囲を外れると、リモコン操作が働きません。

操作可能距離	操作可能範囲
約10m	左右約30° 上下約15°

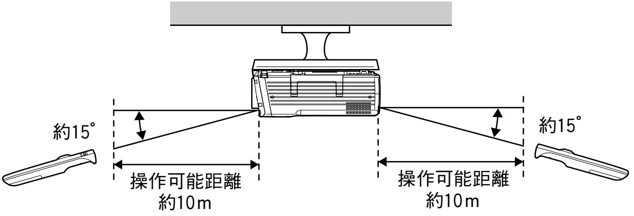
操作範囲（左右）



操作範囲（上下）



天吊りの場合



ポイント

離れた位置から確実にリモコンで操作したい場合は、オプションのリモコンケーブルセットをお使いください。

☛「付録 オプション・消耗品一覧」p.141

本機の設置

設置方法

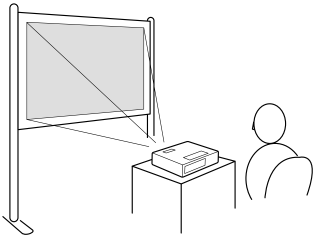
本機の投写方法は、次の4種類があります。設置場所の条件に合わせて設置してください。

⚠警告
- 天井への取り付け(天吊り設置)工事は、特別な技術が必要となります。正しく工事が行われないと、落下によりけがや事故の原因となります。
- プロジェクターの天吊り固定部に、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などが付着するとケースが割れ、プロジェクターが落下し事故やけがの原因となります。天吊り設置や天吊り金具の調整に際しては、ネジゆるみ止め用接着剤・潤滑剤・油などを使用しないでください。

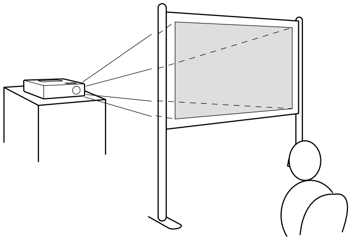
注意

本機を縦置き状態にして投写しないでください。 故障の原因となります。

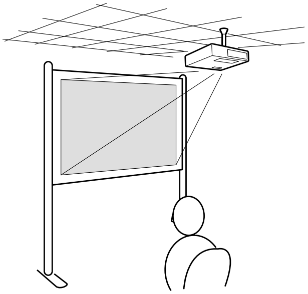
- 正面から投写する



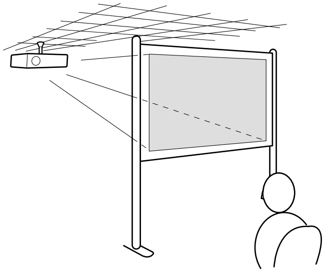
- リアスクリーンへ裏側から投写する



- 天吊りして正面から投写する



- 天吊りしてリアスクリーンへ裏側から投写する



ポイント
- 天吊りするには、オプションの天吊り金具が必要です。☛p.141
- 天吊りやスクリーンの裏側から投写するときは、環境設定メニューの「高度な設定1」→「天吊り」、「リア」を設置の状態に合わせて変更します。☛p.91

スクリーンサイズと投写距離

本機のレンズからスクリーンまでの距離により投写画面サイズが異なります。下記の推奨距離範囲や投写距離の数値は標準レンズを装着した場合のものです。他のオプションレンズを装着している場合は、レンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

次表を参考にして、スクリーンに映像が最適な大きさで映るように設置してください。値は、設置の目安にしてください。投写条件やズームの設定により、変わります。

EMP-9300

推奨距離範囲	104cm～1543cm

単位：cm

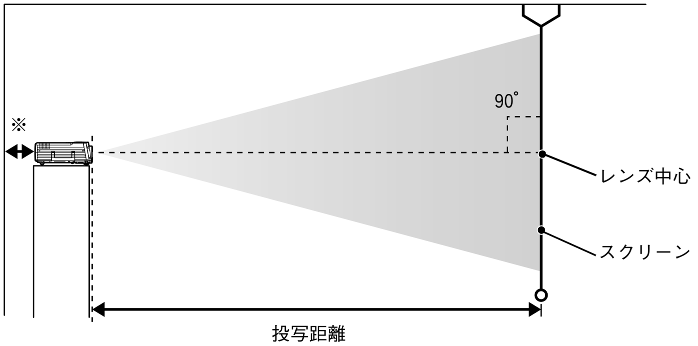
4:3スクリーンサイズ		投写距離
		最短（ワイド） ～ 最長（テレ）
30型	61×46	104 ～ 146
40型	81×61	142 ～ 197
50型	100×76	180 ～ 249
60型	120×90	217 ～ 301
80型	160×120	293 ～ 404
100型	200×150	369 ～ 508
200型	410×300	747 ～ 1025
300型	610×460	1126 ～ 1543

EMP-8300

推奨距離範囲	104cm～3095cm

単位：cm

4:3スクリーンサイズ		投写距離 最短(ワイド) ～ 最長(テレ)
30型	61×46	104 ～ 146
40型	81×61	142 ～ 197
50型	100×76	180 ～ 249
60型	120×90	217 ～ 301
80型	160×120	293 ～ 404
100型	200×150	369 ～ 508
200型	410×300	747 ～ 1025
300型	610×460	1126 ～ 1543
400型	810×610	1505 ～ 2060
500型	1000×760	1883 ～ 2578
600型	1200×910	2262 ～ 3095



レンズ中心からスクリーン下端までの高さは、レンズシフトの状態により異なります。☛p.54

※壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の間隔をあけてください。

ポイント
標準レンズは約1.35倍ズームです。最大拡大時は、最小時の約1.35倍のサイズで投写できます。

コンピュータとの接続

注意

コンピュータと接続する際は、次の点を確認してください。
- 接続する前に本機とコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
- 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

接続できるコンピュータ

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。以下の、接続できるコンピュータの条件と照らし合わせて確認してください。

- 条件1：接続するコンピュータに映像信号の出力端子があること
  コンピュータに「RGB端子」「モニタ端子」「CRT端子」などの映像信号を出力させる端子があることを確認してください。
  コンピュータとモニタが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり外部出力端子を別途購入する必要があるものがあります。
  詳しくは、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニタを接続する」などの項目をご覧ください。

- 条件2：接続するコンピュータの解像度と周波数が「対応解像度一覧」の範囲内であること ☛「付録　対応解像度一覧」p.152
  コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、コンピュータの取扱説明書をご覧になり対応解像度一覧の範囲内の設定に変更してください。

ポイント

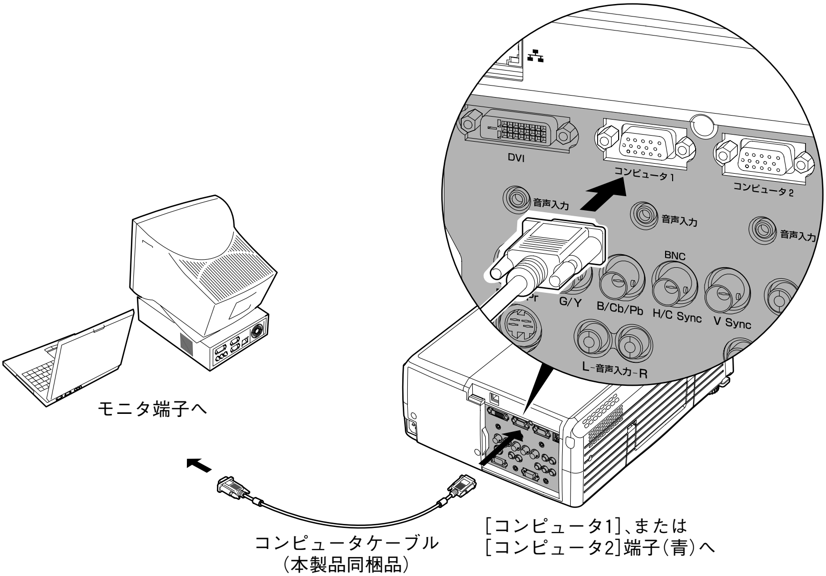
- コンピュータの端子形状によっては、接続の際に市販のアダプタ類などが必要になることがあります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータと本機が離れて設置されており、同梱のコンピュータケーブルでは届かないときは、オプションのコンピュータケーブルをお使いください。☛「付録　オプション・消耗品一覧」p.141

コンピュータの映像を映す

コンピュータのモニタ端子の形状や規格により､接続する端子や使用する接続ケーブルが異なります。お使いになるコンピュータに合わせて､以降の内容をお読みください。

モニタ端子がミニD-Sub 15pin端子の場合

同梱のコンピュータケーブルで接続します。

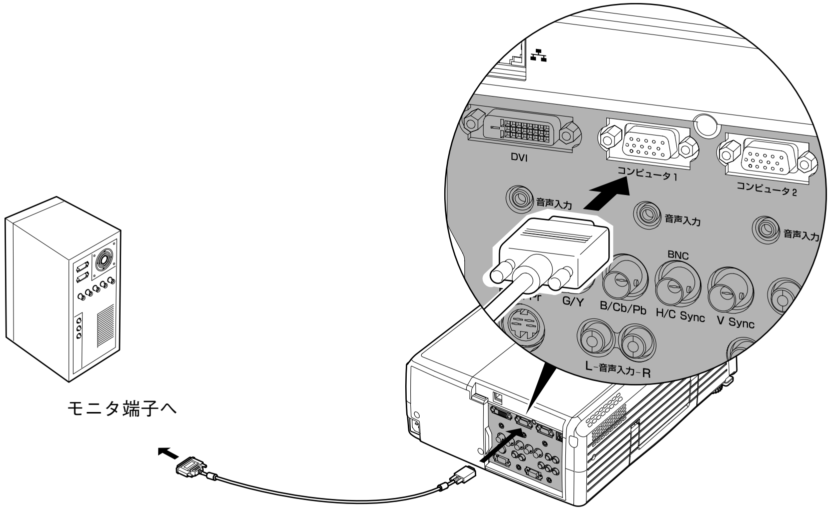


ポイント

- 投写開始後は､環境設定メニューの｢設定｣→｢コンピュータ１入力｣､または｢コンピュータ2入力｣で｢Analog-RGB｣に設定します。 ☛p.89
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は､投写開始後リモコンの[Comp1]や[Comp2]ボタン､または本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛p.46

モニタ端子が13w3端子の場合

ワークステーション対応のコンピュータでは、モニタ端子が13w3端子の場合があります。
この場合は、市販の13w3⇔D-Sub15ケーブルを使って接続します。



ポイント

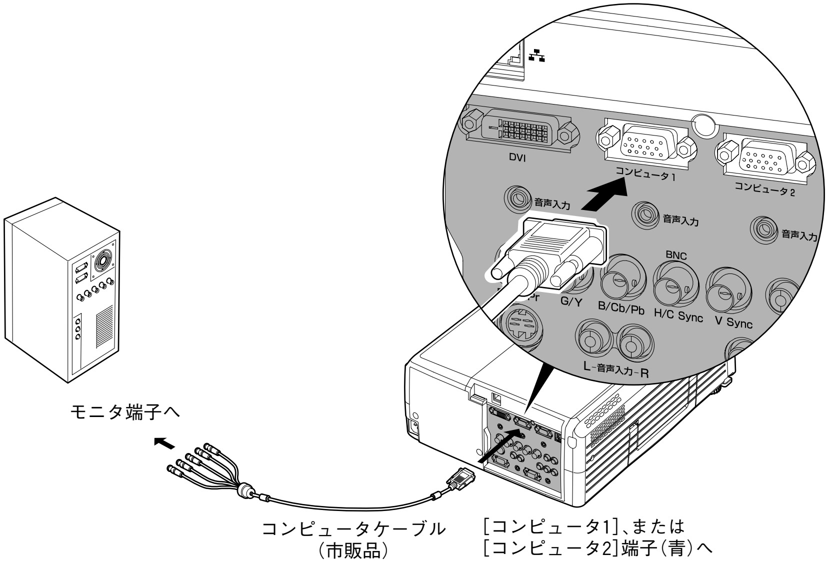
- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ 1 入力」、または「コンピュータ2入力」で「Analog-RGB」に設定します。 ☛p.89
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp1]や[Comp2]ボタン、または本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを押して投写する信号を選択します。 ☛p.46
- ワークステーションによっては、専用ケーブルが必要な場合があります。詳しくは、お使いのワークステーションのメーカーに確認してください。

モニタ端子が5BNC端子の場合

接続する端子、またはお使いの接続ケーブルにより次の2通りの接続方法があります。

- コンピュータのモニタ端子と、本機背面の[コンピュータ1]端子を市販のコンピュータケーブルで接続します。
- コンピュータのモニタ端子と、本機背面の[BNC]端子を市販の5BNCモニタケーブル(5BNC▸▸・オス-オス)で接続します。

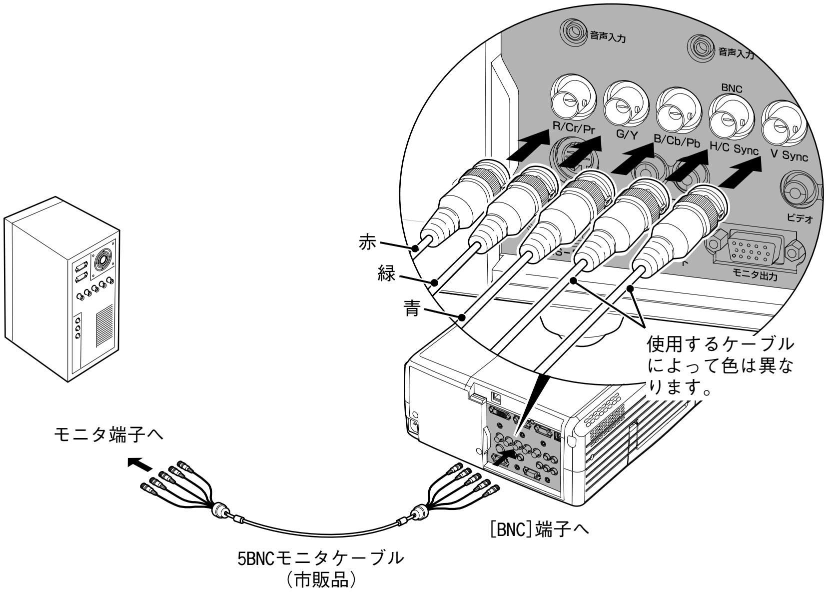
[コンピュータ1]端子と接続する場合



ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ1入力」、または「コンピュータ2入力」で「Analog-RGB」に設定します。☛p.89
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp1]や[Comp2]ボタン、または本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを押して投写する信号を選択します。☛p.46

[BNC]端子と接続する場合

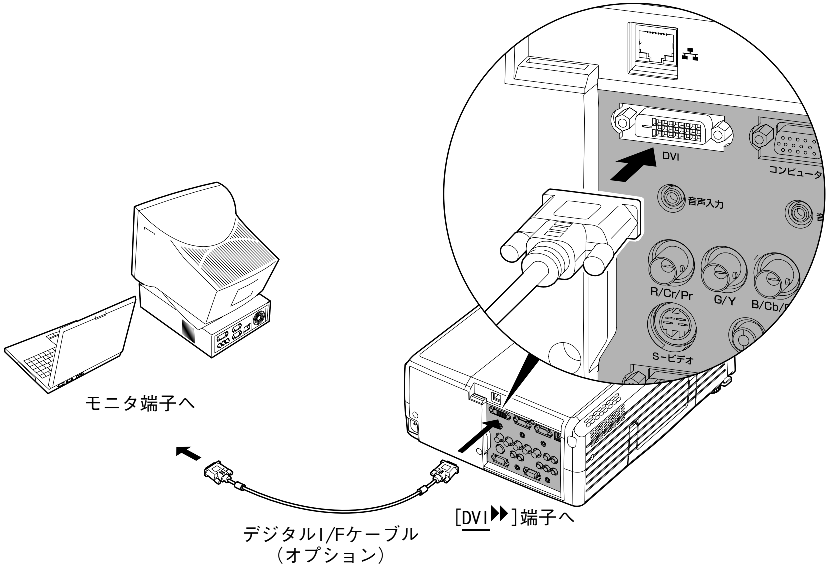


ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で「Analog-RGB」に設定します。☛p.89
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または投写映像に「BNC(Analog-RGB)」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛p.46

モニタ端子がデジタルRGB端子の場合

オプションのデジタルI/Fケーブルで接続します。



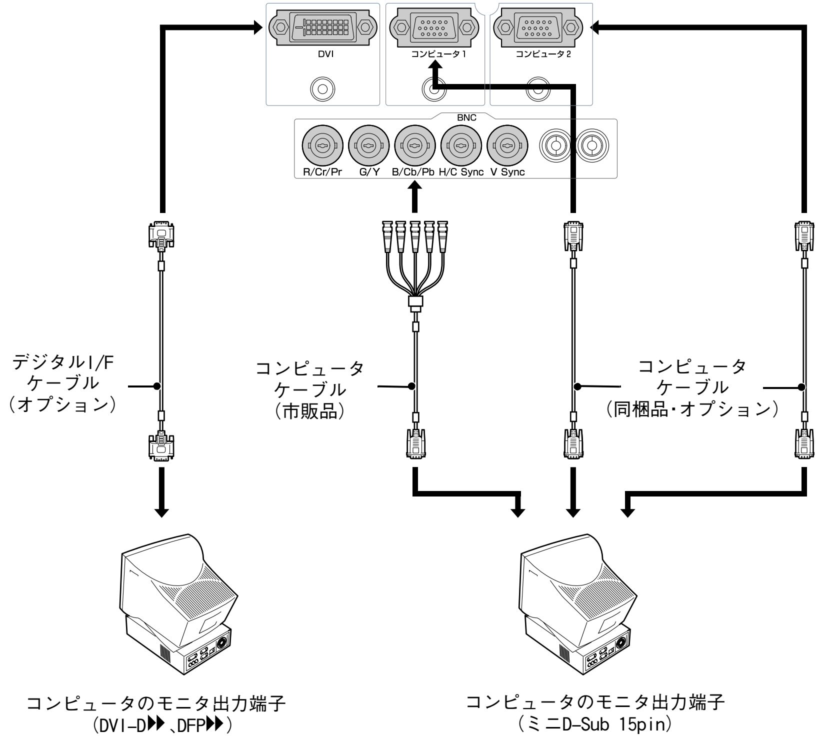
ポイント

- オプションのデジタルI/Fケーブルは、お使いのコンピュータのモニタ端子に合ったものをお選びください。
  ☛「付録 オプション・消耗品一覧」p.141
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[DVI]ボタンを押すか、または投写映像に「DVI」と表示されるまで本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛p.46

コンピュータを2台以上接続する場合

コンピュータを接続できる端子は以下のとおりです。以下の端子すべてにコンピュータを接続した場合､最大4台のコンピュータを接続できます。

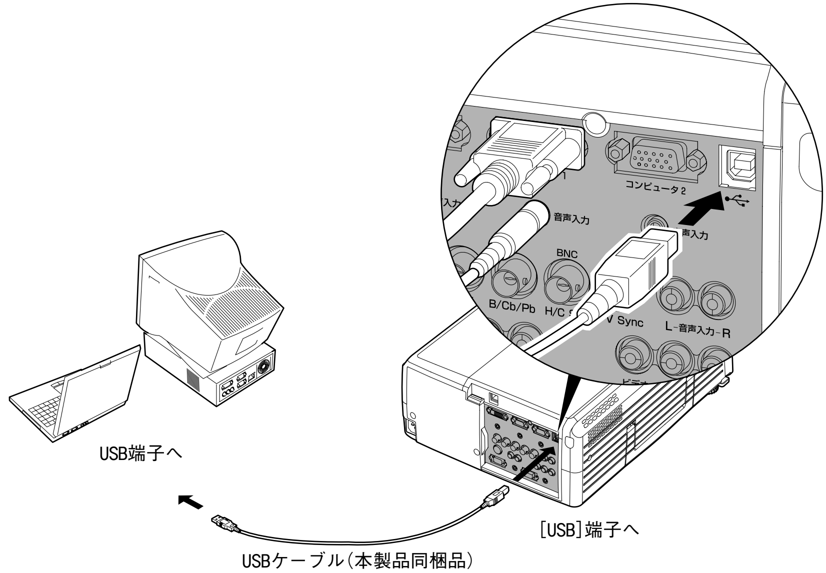
接続の詳細 ☛p.16～21



リモコンでマウスポインタを操作する(ワイヤレスマウス機能)

コンピュータのUSB▸▸端子と、本機背面の[USB]端子を同梱のUSBケーブルで接続すると、ワイヤレスマウスのように、同梱のリモコンでコンピュータのマウスポインタを操作できます。

対応コンピュータ	マウスの種類	使用するケーブル
Windows 98/2000/Me/ XP Home Edition/XP Professional	USBマウス	USBケーブル(同梱品)
Macintosh(OS 8.6～9.2/10.0～10.2)	USBマウス	USBケーブル(同梱品)



※EMP-9300には、USBケーブルが同梱されていません。市販品をお使いください。

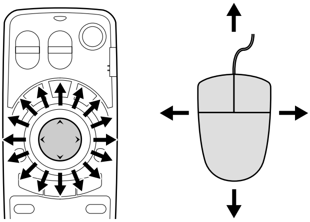
※ワイヤレスマウスとして使用しているときは、リモコンの[↓][↑] ボタンで、PowerPointファイルのページ送り/戻しができます。

ポイント

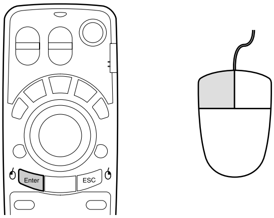
- USBケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルにのみ対応しています。Windowsの場合は、Windows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professionalプリインストールモデルだけに対応しています。アップグレードしたWindows98/2000/Me/XP Home Edition/XP Professional環境下では動作を保証いたしません。
- Windows/MacintoshともにOSのバージョンによりワイヤレスマウス機能を使用できない場合があります。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

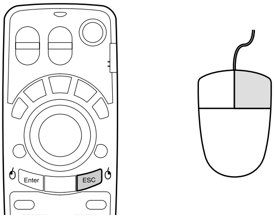
マウスポインタの移動
リモコンの[ ]ボタンを傾けると、傾けた方向にマウスポインタが移動します。



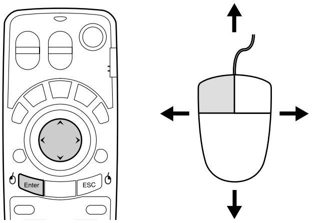
左クリック
[Enter( )]ボタンを押します。
すばやく2回続けて押すと、ダブルクリックになります。



右クリック
[ESC( )]ボタンを押します。



ドラッグ＆ドロップ
[Enter( )]ボタンを約1.5秒間押し続けると、押したボタンが点灯し、ドラッグモードになります。この状態で[ ]ボタンを傾けると、ドラッグ動作になります。
任意の場所で[Enter( )]ボタンを押すと、ドロップします。



[ESC( )]ボタンも同様に約1.5秒間押し続けるとドラッグモードになります。この操作で右クリックのドラッグ＆ドロップができます。

ポイント

- コンピュータでマウスボタンの左右を逆に設定している場合は、リモコンでの操作も逆になります。
- 以下の機能を使用しているときは、リモコンでワイヤレスマウス機能は行えません。
  - ・環境設定メニュー表示中　・ヘルプ表示中　・エフェクト機能中
  - ・PinP機能の子画面設定中　・Eズーム機能中　・Quick Corner設定中
  - ・リサイズ機能のリアル表示中　・プレビュー機能中
  - ・ユーザーロゴのキャプチャ中

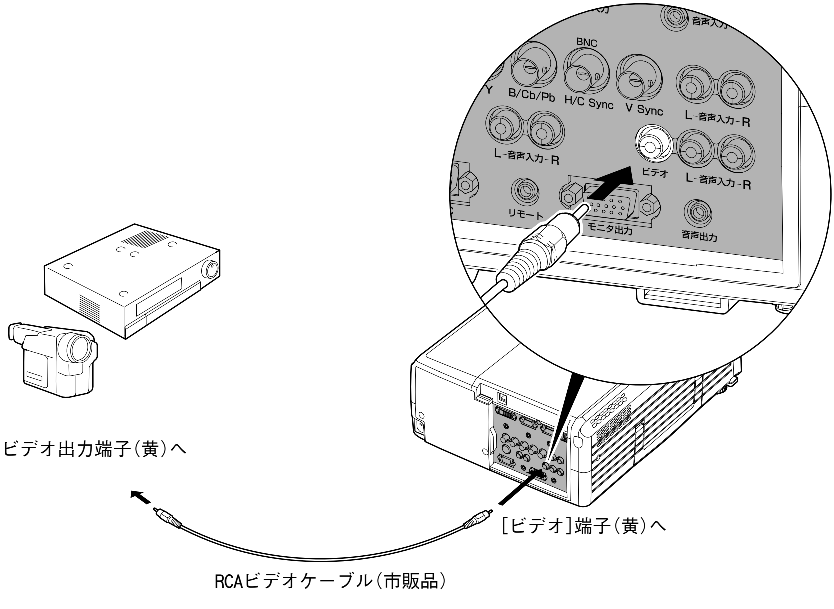
ビデオ機器との接続

注意

ビデオ機器を接続する際は、次の点に注意してください。
- 接続する前に本機とビデオ機器の電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。
- 電源ケーブルと接続ケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。

コンポジットビデオ▸の映像を映す

市販のRCAビデオケーブルを使って接続します。

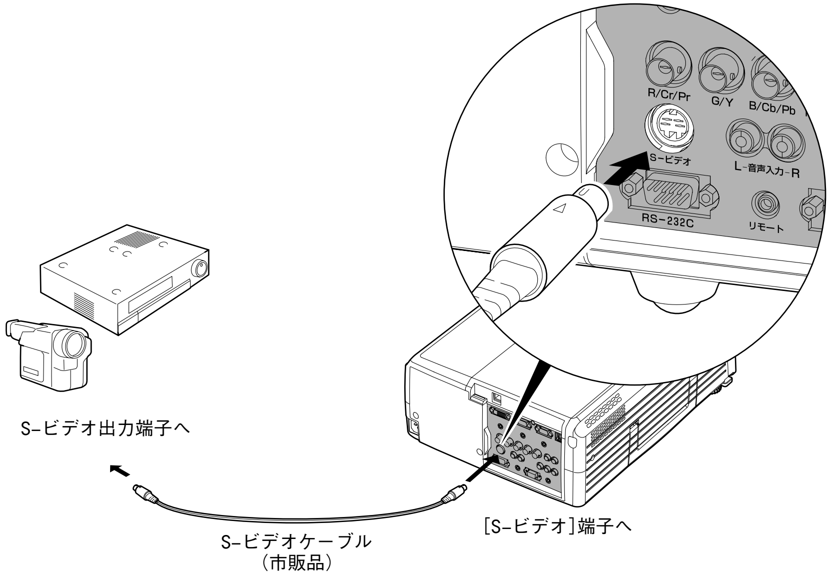


ポイント

本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Video]ボタンを押すか、または投写映像に「ビデオ」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛p.46

S-ビデオの映像を映す

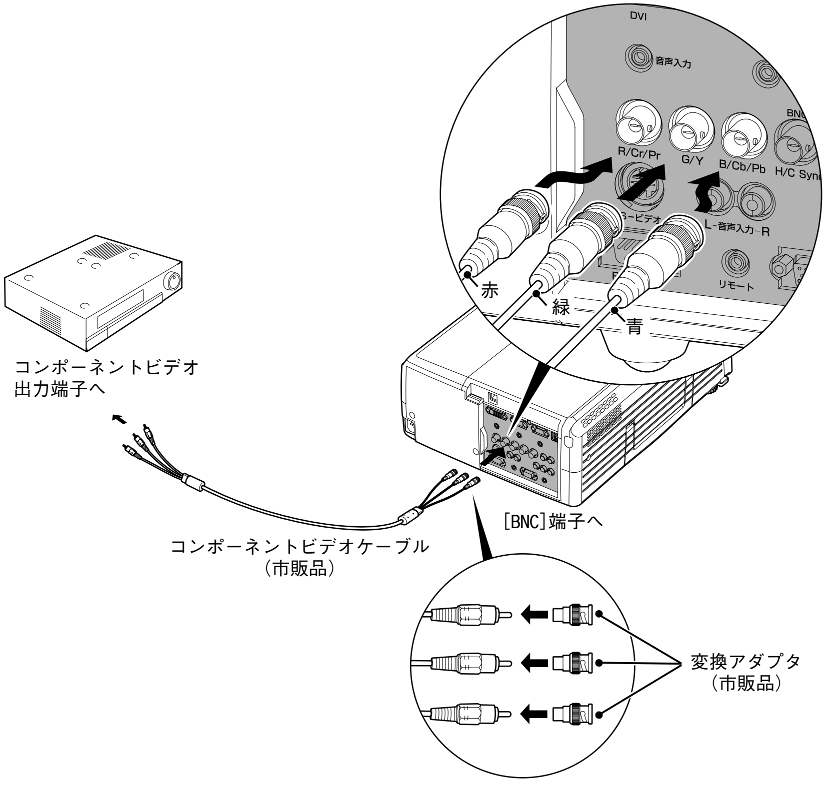
市販のS-ビデオ ケーブルを使って接続します。



ポイント
本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[S-Video]ボタンを押すか、または投写映像に「S-ビデオ」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.46

コンポーネントビデオの映像を映す

市販のコンポーネントビデオ▶▶ケーブルと変換アダプタ(3個)を使って接続します。

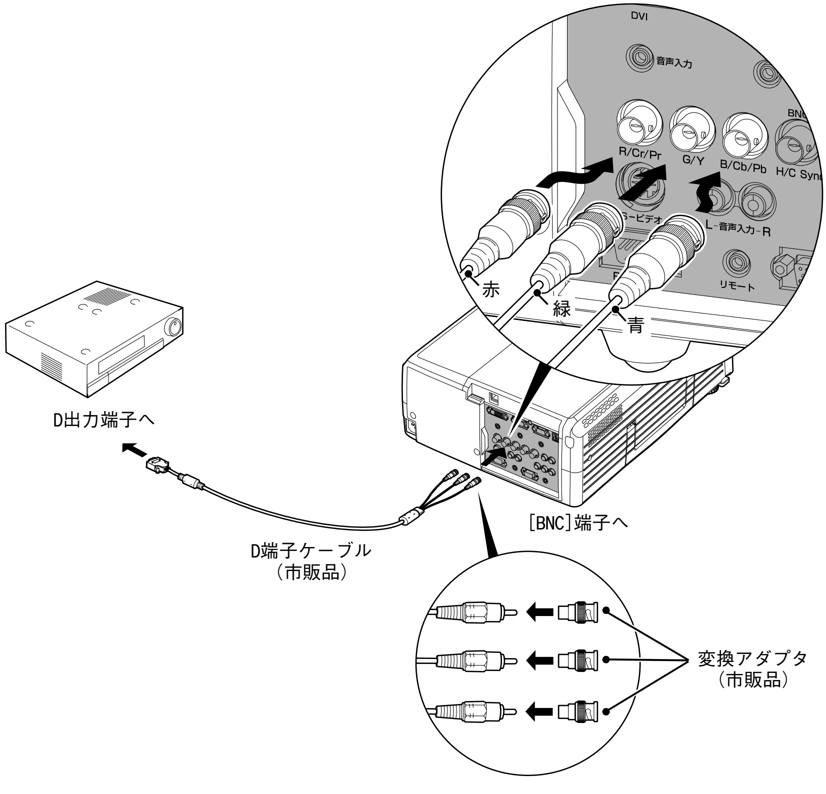


ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で機器の信号に合わせて「YCbCr▶▶」、または「YPbPr▶▶」に設定します。 ☛p.89
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または機器の信号に応じて「BNC(YCbCr)」または「BNC(YPbPr)」と投写映像に表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。 ☛p.46

BSデジタルチューナの映像を映す

市販のD端子ケーブルと変換アダプタ(3個)を使って接続します。



ポイント

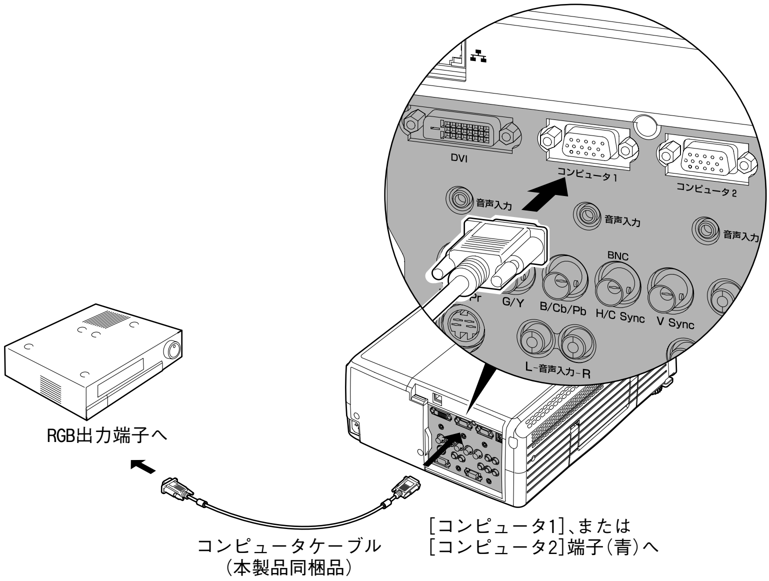
- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で「YPbPr」に設定します。☛ p.89
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または投写映像に「BNC(YPbPr)」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛ p.46
- BSデジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4規格までのBSデジタルチューナに対応しています。

RGBビデオ映像を映す

RGBビデオは、コンピュータ以外のRGB信号を出力するビデオ機器と接続して映像を投写する場合に使用します。接続の方法は、以下の2種類があります。お使いのビデオ機器の端子に合わせて接続してください。

RGB出力端子がミニD-Sub 15pin端子の場合

同梱のコンピュータケーブルを使って接続します。

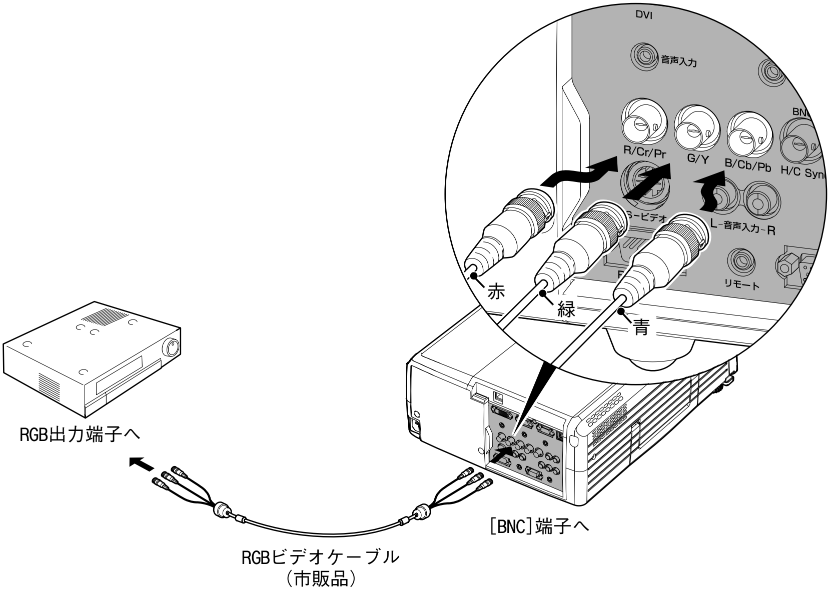


ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ１入力」、または「コンピュータ2入力」で「RGB-Video」に設定します。☛p.89
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[Comp1]や[Comp2]ボタン、または本体の[コンピュータ/DVI]ボタンを押して投写する信号を選択します。☛p.46

RGB出力端子が3BNC端子の場合

市販のRGBビデオケーブルを使って接続します。



ポイント

- 投写開始後は、環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で「RGB-Video」に設定します。☛p.89
- 本機に複数の機器を同時に接続して使用する場合は、投写開始後リモコンの[BNC]ボタンを押すか、または投写映像に「BNC(RGB-Video)」と表示されるまで本体の[ビデオ/BNC]ボタンを繰り返し押して投写する信号を選択します。☛p.46

接続機器の音声を出す

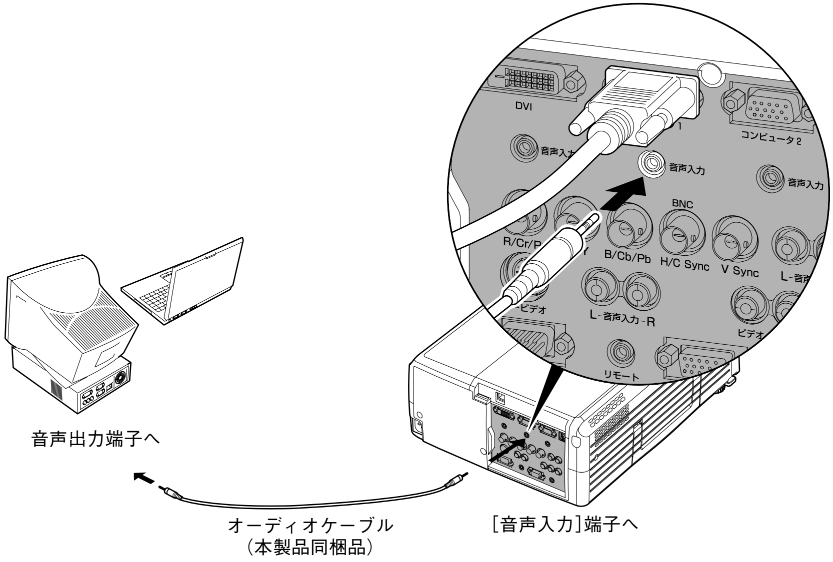
本機には、最大7Wのスピーカが1個内蔵されています。音声出力端子を持つ接続機器(コンピュータやビデオ機器)の音声を本機の内蔵スピーカから出力することができます。
[音声入力]端子は、同じ枠内の映像入力端子と1対1で対応しています。

接続に使うオーディオケーブルは[音声入力]端子の形状に合わせて次のいずれかから選択します。

- 映像信号を[DVI]、[コンピュータ1]、[コンピュータ2]端子から入力している場合
  同梱のオーディオケーブル
- 映像信号を[BNC]、[S-ビデオ]、[ビデオ] 端子から入力している場合
  市販のRCAオーディオケーブル

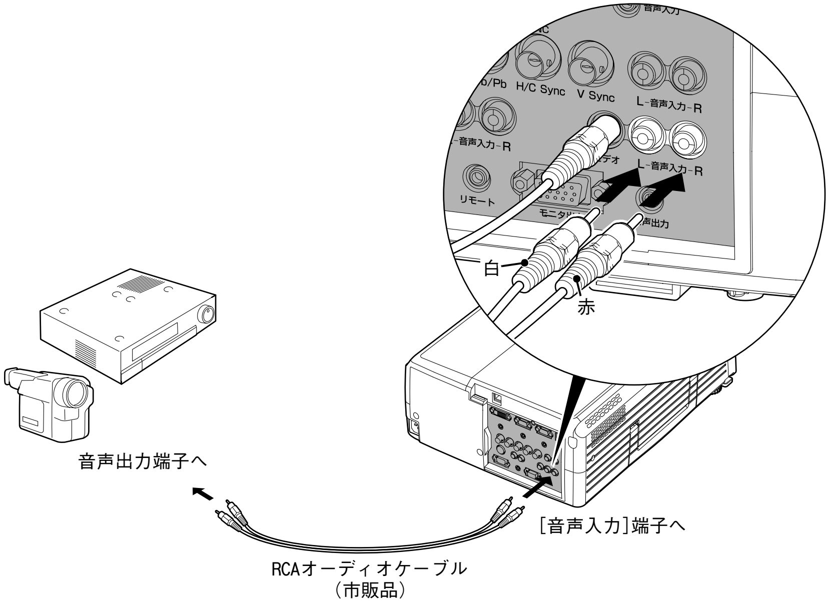
> ポイント
> - 投写開始後、音量を調整することができます。☛p.65
> - 市販の2RCA(L・R)/ステレオミニピンオーディオケーブルを使う場合は「抵抗なし」と表記されているものをお使いください。

映像信号を[コンピュータ1]端子から入力している場合



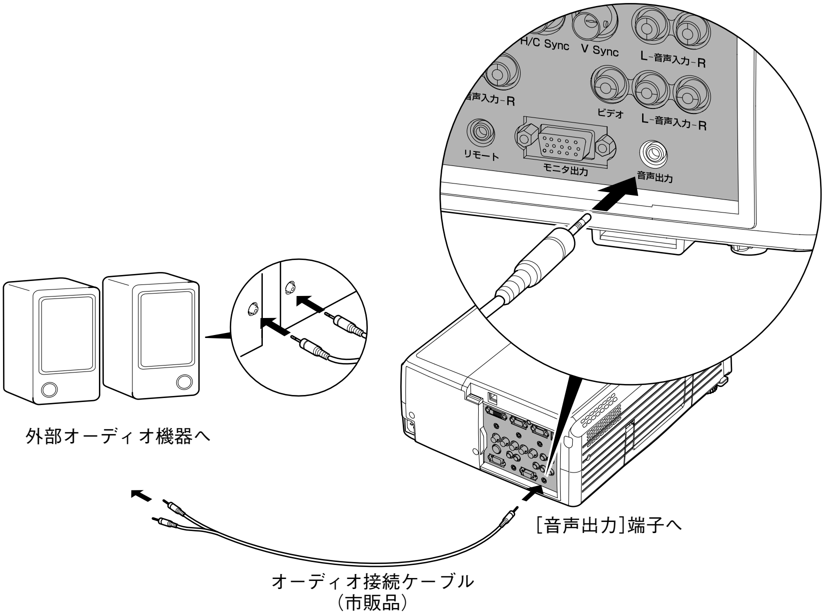
※EMP-9300には、オーディオケーブルが同梱されていません。市販品をお使いください。

映像信号を[ビデオ]端子から入力している場合



外部スピーカから音声を出す

本機の[音声出力]端子と、外付けのアンプ内蔵スピーカを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。
市販のオーディオ接続ケーブル(ピンプラグ)⇔3.5mm(ステレオミニジャック)などを使用します。オーディオ接続ケーブルは、外部オーディオ機器の接続部の形状に合わせて購入してください。



ポイント

[音声出力]端子へステレオミニジャックを差し込むと、音声は外部出力に切り替わります。このとき、本機の内蔵スピーカから音声は出力されません。

外部モニタで投写映像を確認する

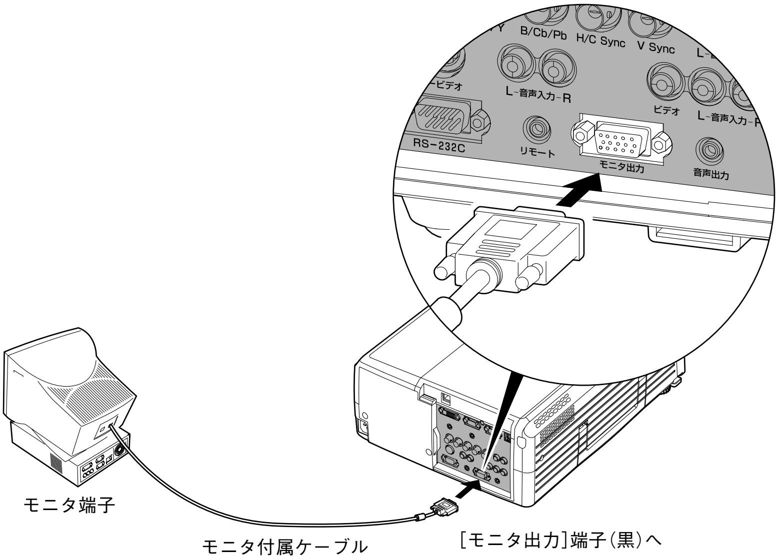
本機に外部モニタを接続すると、投写映像を外部モニタで確認しながら接続機器を操作し、プレゼンテーションなどを行うことができます。本機が映像を投写していない場合(スタンバイ状態)でも、本機の入力信号を外部モニタで確認することができます(スタンバイモニタアウト)。

ポイント

液晶モニタ等は接続しても表示できないことがあります。この場合、マルチスキャン対応のCRTモニタを接続すると表示できるようになることがあります。スタンバイモニタアウト時も同様です。

外部モニタとの接続

外部モニタは、モニタに付属のケーブルで接続します。



- 台形補正などの設定ゲージや環境設定メニュー・ヘルプの表示も外部モニタに出力されます。
- A/V ミュート実行中で、投写映像をミュートしている間も、外部モニタには入力信号の映像を映したり、リモコンまたは本体の[入力切替]ボタンを押し、映像を切り替えることができます。A/Vミュート中も外部モニタに映像を映すには、環境設定メニューの「設定」→「A/Vミュート」を「黒」に設定します。「青」や「ロゴ」に設定している場合は、外部モニタの表示も投写映像と同じ状態になります。
- 台形補正を行っていると外部モニタの映像はゆがみます。
- 環境設定メニューの「カラーモード」、「カラー調整」、「黒レベル」、「白レベル」、「リア」、「天吊り」で設定した結果は、外部モニタの表示には反映されません。

本機のスタンバイ時に外部モニタで投写映像を確認する（スタンバイモニタアウト）

本機に電源ケーブルを接続しているだけで、[電源]ボタンを押していない(投写ランプが点灯していない)状態を「スタンバイ状態」と呼びます。
本機がスタンバイ状態でも、接続している機器から映像信号が入力されていれば外部モニタに表示して、内容を確認したり、映像ソースを切り替えることができます。本機の電源を入れると、外部モニタで表示している映像ソースが投写されます。
スタンバイモニタアウト機能を使うには、環境設定メニューの「高度な設定1」→「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておきます。☛ p.91

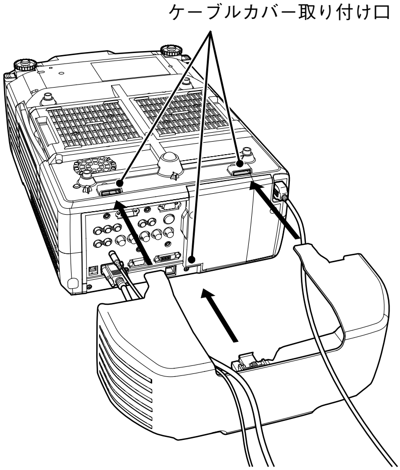
スタンバイモニタアウト実行中は、本機の内蔵スピーカや外部スピーカからの音声はミュートされます。

ケーブルカバーを取り付ける

天吊りの状態に設置し、コンピュータやビデオ機器を接続し終ったら同梱のケーブルカバーを取り付けます。本機背面の入出力端子とケーブルの接合部が収納されますので、すっきり設置できます。

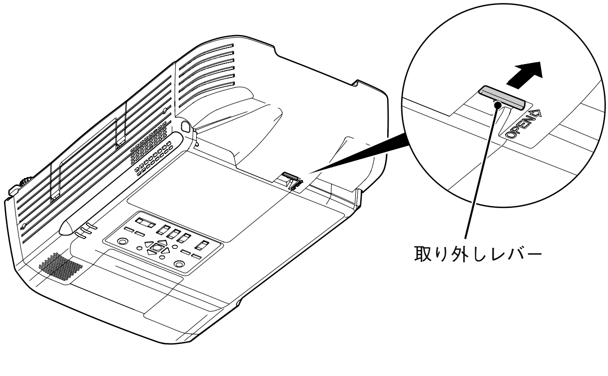
取り付け方

本機の底面にあるケーブルカバー取り付け口(3箇所)にカバーのツメを差し込み、カチッと音がするまでケーブルカバーを押し込みます。



取り外し方

ランプ交換をするときや、接続ケーブルの取り付け/取り外しをするときは、ケーブルカバーを取り外して行ってください。
ケーブルカバーの取り外しレバーを「OPEN➡」の方向に引き、ケーブルカバーを取り外します。



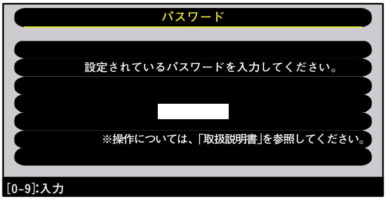
利用者を管理する(パスワードプロテクト)(EMP-9300のみ)

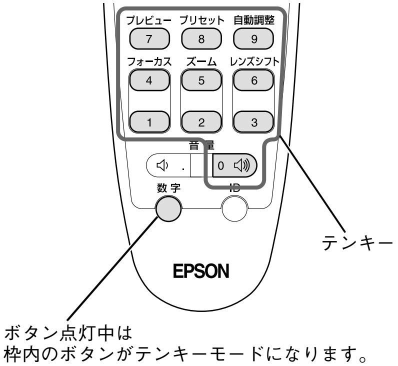
EMP-9300をお使いの方のみパスワードプロテクト機能を使うことができます。
パスワードプロテクト機能を有効にすると、電源を入れてもパスワードを知らない人は投写できません。さらに、電源を入れたときに表示される社名ロゴや管理者名等を変更できなくなります。この結果、本機を持ち出しても使えないため、盗難等の防止につながります。

パスワードプロテクトを有効にしていると

「電源投入時」を有効(ON)にしている場合

電源を入れたときにパスワードを入力する画面が表示されます。[数字]ボタンを押すと[数字]ボタンが点灯し、次図の枠内のボタンがテンキーモードになります。





設定しているパスワードを、[テンキー]ボタンで入力します。パスワードを正しく入力すると、投写を開始します。

ポイント

- 設定時間が「0」のときは、電源プラグをコンセントに接続後、初めて電源を入れたときに限りパスワードを入力する画面が表示されます。
- パスワードプロテクトに関してお問い合わせいただいた際は、お客様から返送いただいた『お客様情報＋正式保証書発行カード』に記載されているお客様のお名前や連絡先などをお聞きし、ご本人様であることを確認させていただきます。同梱の『お客様情報＋正式保証書発行カード』に必要事項を記入して、必ず返送してください。
- 間違ったパスワードを続けて3回入力した場合は、「プロジェクターの動作を停止します。」と、メッセージが約5分間表示され、本機がスタンバイ状態になります。この場合は、電源プラグを抜いて差し直し、本機の電源を入れます。パスワードの入力を求める画面が表示されますので、パスワードを正しく入力してください。
  万一、パスワードを忘れてしまったときは、画面に表示されている「問い合わせコード：xxxx」の番号を控えて、インフォメーションセンターにご連絡いただき、その指示に従ってください。
- 上記の操作を繰り返し、間違ったパスワードを続けて9回入力した場合は、次のメッセージが表示されパスワード入力もできなくなります。
  「プロジェクターの動作を停止します。エプソン修理センターにお問い合わせください。」

「ユーザーロゴ保護」を有効(ON)にしている場合

以下のユーザーロゴに関する操作を行おうとすると、メッセージが表示され、変更することができません。変更する場合は、OFFにしてから操作してください。☛p.40

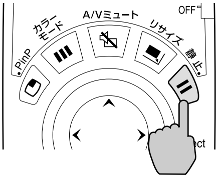
- ユーザーロゴのキャプチャを実行する場合
- 環境設定メニューの「設定」→「ノーシグナル表示」の設定を「ロゴ」から「黒」、「青」、「OFF」のいずれかに変更する、または「黒」、「青」、「OFF」のいずれかから「ロゴ」に変更する場合
- 環境設定メニューの「設定」→「A/Vミュート」の設定を「ロゴ」から「黒」、「青」のいずれかに変更する、または「黒」、「青」のいずれかから「ロゴ」に変更する場合
- 環境設定メニューの「高度な設定」→「スタートアップスクリーン」の設定（「ON」、「OFF」）を変更する場合

パスワードプロテクトの設定方法

パスワードプロテクトの設定は、下記の手順で行います。
パスワードプロテクト設定メニューが表示された後の操作方法は、環境設定メニューと同じです。

操作

1 リモコンの［静止］ボタンを約5秒間押し続けます。
パスワードプロテクト設定メニューが表示されます。



ポイント

- すでにパスワードプロテクトが有効になっていると、パスワードを入力する画面が表示されます。
パスワードを正しく入力するとパスワードプロテクト設定メニューが表示されます。
☛「パスワードプロテクトを有効にしていると」p. 37
- パスワードプロテクトを有効にした場合は、盗難防止の効果を高めるために製品同梱のパスワードプロテクトシールを本機のお好きな位置に貼ってください。

2 「電源投入時」を有効にします。
① 「電源投入時」を選択します。
② 「ON」を選択し、リモコンの[Enter]ボタンを押します。
③ [ESC]ボタンを押します。
次の「時間設定」で、パスワードを入力しなくてもプロジェクターを使える時間を設定できます。
時間設定する場合は、次の手順に進みます。時間設定しない場合は、手順5に進みます。

ポイント 設定時間に対して、すでに使用した時間は、「経過時間」で確認できます。

3 「時間設定」を選択し、リモコンの[Enter]ボタンを押します。

4 設定する時間を4桁までの数値で入力します。
リモコンの[数字]ボタンを押し、[テンキー]ボタンで設定時間を0～9999の範囲で入力し、[Enter]ボタンを押します。間違えて入力した場合は、[ESC]ボタンを押して再度入力します。
このあとメッセージが出ます。
パスワードプロテクト設定メニューを終了すると、経過時間のカウントを開始します。

ポイント 設定時間を「0」にすると、電源プラグをコンセントに接続後、初めて電源を入れたときに限りパスワードを入力する画面が表示されます。

5 「ユーザーロゴ保護」を有効にします。
① 「ユーザーロゴ保護」を選択します。
② 「ON」を選択し、リモコンの[Enter]ボタンを押します。
③ [ESC]ボタンを押します。

6 パスワードを設定するには、「パスワード」を選択し、リモコンの[Enter]ボタンを押します。

7 「パスワード変更しますか？」と表示されるので、「はい」を選択し、リモコンの[Enter]ボタンを押します。
初期設定でパスワードは「0000」に設定されていますが、必ず任意のパスワードに変更してください。
「いいえ」を選択すると、手順1の画面にもどります。

8 パスワードを数字4桁で入力します。
リモコンの[数字]ボタンを押し、[テンキー]ボタンで4桁の数字を入力します。入力したパスワードは「＊＊＊＊」と表示されます。
4桁目を入力すると、次の確認画面に切り替わります。

9 手順8で入力したパスワードを再度入力します。
「パスワード設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。
間違えてパスワードを入力した場合は、メッセージが表示されますのでパスワード設定をやり直してください。

10 設定が終了したら、[メニュー]ボタンを押します。
リモコンの[数字]ボタンを押し、テンキーモードを解除します。
[数字]ボタンが消灯したことを確認してください。

ポイント

- 設定時間が過ぎてパスワードを入力した場合、投写開始とともに「経過時間」が「0」に戻りカウントを開始します。
- 設定したパスワードは、忘れないように記録して管理してください。
- リモコンをなくすとパスワードの入力ができなくなります。リモコンは大切に保管してください。

基本操作編

ここでは、投写開始と終了、投写映像の調整など基本的な機能について説明しています。

電源を入れ投写しよう 44

- 電源ケーブルを接続しよう 44
- 電源ON、投写開始 45
- 映像を見ながら投写映像を選ぶ(プレビュー機能) 48

電源を切り終了しよう 50

投写画面を調整しよう 52

- 投写サイズの微調整(ズーム調整) 52
- ピントを合わせる(フォーカス調整) 53
- 投写画面の位置調整 53
  - スクリーンに対して低い位置や高い位置から投写したとき 53
  - スクリーンに対して横から投写したとき 54
  - 投写画面の位置を上下に調整する(レンズシフト) 54
  - フロントフットの調整 55
- 投写画面のゆがみを補正しよう(台形補正) 56
  - スクリーンピッタリに台形補正する(Quick Corner) 56
  - 縦方向の台形にゆがむ場合の補正(タテ補正) 59
  - タテ補正の結果、高さを補正する(高さ補正) 60

画質の調整をしよう 61

- コンピュータ映像の調整 61
  - 自動調整機能 61
  - トラッキングの調整 62
  - 同期の調整 63
- 映り具合を選ぶ(カラーモード選択) 64

音量を調整しよう 65

電源を入れ投写しよう

電源を入れ、投写を行います。

注意 投写する前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

電源ケーブルを接続しよう

ポイント EMP-9300の場合、環境設定メニューの「高度な設定2」→「ダイレクトパワーオン」を「ON」に設定していると、電源プラグをコンセントに差し込むと同時に、本機の電源がONになり投写を開始します。☛ p.93
あらかじめ、本機に接続されている機器の電源を入れてください。

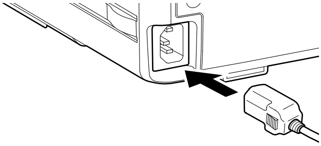
操作

1 本機と本機に接続するすべての機器の電源が切ってあることを確認します。

2 本機とコンピュータまたはビデオ機器を接続します。☛ p.16,25

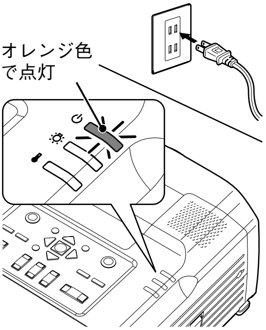
3 レンズカバーを外します。
レンズカバー上部に指をかけて外します。

4 本機に、同梱の電源ケーブルを取り付けます。
本機の電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、しっかりと奥まで差し込みます。



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。

⏻インジケータがオレンジ色の点灯に変わるまで待ちます。



> **注意**
> 標準ズームレンズまたは短焦点ズームレンズを取り付けたときは、はじめて電源を入れたときに環境設定メニューの「全初期化」を行ってください。☛ p.95
> 「全初期化」を行わないと、映像が若干暗くなる場合があります。

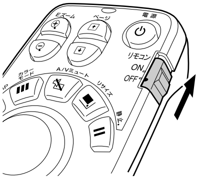
電源ON、投写開始

> **ポイント**
> EMP-9300の場合、パスワードプロテクトの設定により、電源を入れたときにパスワードを入力する画面が表示されることがあります。
> その場合はパスワードを入力してください。☛ p.37

操作

1 ⏻インジケータがオレンジ色で点灯しているのを確認します。

2 リモコンを使用する場合は、[リモコン]スイッチをONにします。



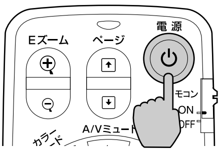
3 本機に接続されている機器の電源を入れます。
ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。

4 リモコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れます。

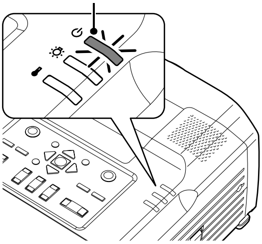
⏻インジケータが緑色の点滅に変わります。しばらくするとランプが点灯し投写が始まります。

⏻インジケータが緑色の点灯に変わるまで待ちます(約40秒かかります)。

リモコン



緑色の点滅から点灯に変わります。



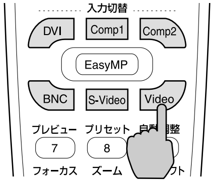
ポイント

- ⏻インジケータが緑色で点滅しているときは、リモコンや本体の[電源]ボタン操作は無効となります。
- 環境設定メニューの設定によっては、「映像信号が入力されていません。」と表示されます。☛「設定」→「ノーシグナル表示」p.88

5 複数の機器を接続している場合は、次表を参照し、リモコンまたは本体のボタンで投写したい映像ソースに切り替えます。

プレビュー機能を使って選択することもできます。☛p.48

リモコン



接続端子	選択するボタン		画面上の表示
	リモコン	本体	
DVI▶▶	[DVI]	[コンピュータ/DVI]を押すたびに映像ソースが切り替わります。※2	DVI
コンピュータ1	[Comp1]※1		コンピュータ1(Analog-RGB)※3 コンピュータ1(RGB-Video)※3
コンピュータ2	[Comp2]※1		コンピュータ2(Analog-RGB)※4 コンピュータ2(RGB-Video)※4
BNC	[BNC]※1	[ビデオ/BNC]を押すたびに映像ソースが切り替わります。※5	BNC(Analog-RGB)※6 BNC(RGB-Video)※6 BNC(YCbCr▶▶)※6 BNC(YPbPr▶▶)※6
S-ビデオ	[S-Video]		S-ビデオ
ビデオ	[Video]		ビデオ

※1 ボタンを1回押すと、画面上に環境設定メニューで設定されている信号名が表示されます。表示されている間に再びボタンを押すと、信号の設定を変更することができます。ここで変更した結果は、環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ1入力」、「コンピュータ2入力」、「BNC入力」に反映されます。

※2 画面上に信号名が表示されている間に[コンピュータ/DVI]ボタンを押さないと、次の映像ソースに切り替わりません。
現在[DVI]、[コンピュータ1]、[コンピュータ2]端子のいずれかから入力している信号を投写している場合は、[コンピュータ/DVI]ボタンを1回押すと画面上に現在の信号名が表示されます。

※3 環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ1入力」で設定されているものが表示されます。リモコンの[Comp1]ボタンを押すと設定を変更することができます。

※4 環境設定メニューの「設定」→「コンピュータ2入力」で設定されているものが表示されます。リモコンの[Comp2]ボタンを押すと設定を変更することができます。

※5 画面上に信号名が表示されている間に[ビデオ/BNC]ボタンを押さないと、次の映像ソースに切り替わりません。
現在[BNC]、[S-ビデオ]、[ビデオ]端子のいずれかから入力している信号を投写している場合は、[ビデオ/BNC]ボタンを1回押すと画面上に現在の信号名が表示されます。

※6 環境設定メニューの「設定」→「BNC入力」で設定されているものが表示されます。
リモコンの[BNC]ボタンを押すと設定を変更することができます。

ポイント

- 接続機器が1台だけの場合は、[入力切替]ボタンを押さなくても投写されます。
- 「映像信号が入力されていません。」と表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
- ノートタイプや液晶一体型のコンピュータを接続したときには、映像が投写されないことがあります。投写開始後にコンピュータの信号を外部に出力させる設定をコンピュータ側で行ってください。
  次表は、出力切り替えの一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書の「外部出力のしかた」や「外部モニタへの出力」などの項をご覧ください。

エプソンダイレクト	NEC製	Panasonic製	東芝製
[Fn]+[F8]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F3]	[Fn]+[F5]
IBM製	**SONY製**	**富士通**	**Macintosh**
[Fn]+[F7]	[Fn]+[F7]	[Fn]+[F10]	ミラーリングの設定、またはディスプレイの検出を行う。

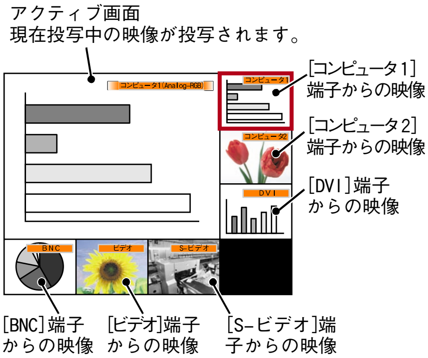
- 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがあります。静止映像は長時間投写しないでください。

映像を見ながら投写映像を選ぶ（プレビュー機能）

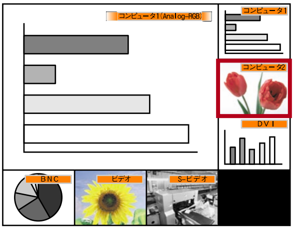
現在、選択している映像ソースを一度に投写し、プレビュー画面を見て映像を切り替えることができます。
プレビュー機能の操作はリモコンを使って行います。

操作

1 リモコンの[プレビュー]ボタンを押します。
しばらくすると、右図のようなプレビュー画面が投写されます。
プレビューを実行したときに、映像信号が未入力状態や未サポートの信号が入力されている端子は、青色で投写されます。
リモコンの[入力切替]ボタンで投写したい映像ソースを選択すると、映像が切り替わります。



2 [ ]ボタンを傾け、切り替えたい映像を選択します。
赤枠のカーソルを移動させ、目的の映像を選択します。



3 [Enter]ボタンを押します。
選択した映像がアクティブ画面に投写されます。
再度、[Enter]ボタンを押すと、プレビュー機能は解除され、アクティブ画面の映像が投写されます。

プレビュー機能実行前の映像に戻る場合は、[ESC]または[プレビュー]ボタンを押します。

ポイント

- プレビュー画面表示中は、アクティブ画面に投写中の映像の音声が流れます。
- アクティブ画面に投写中の映像以外は、静止画像で投写されます。
- Eズーム機能実行中やリアル表示になっているときに[プレビュー]ボタンを押すと、各機能が解除されてからプレビュー画面が表示されます。映像を切り替えずにプレビュー機能を終了した場合は、プレビュー機能実行前の映像の状態に戻ります。

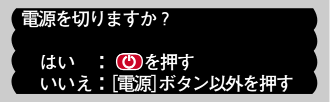
電源を切り終了しよう

投写を終了するには、次の手順で行います。

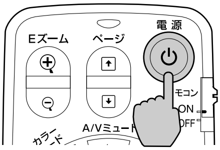
操作

1 本機に接続している機器の電源をOFFにします。
すべての接続機器の電源が切れていることを確認します。

2 リモコン、または本体の[電源]ボタンを押します。
次の確認のメッセージが表示されます。



リモコン

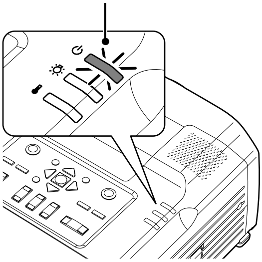


電源を切りたくないときは、下記以外のボタンを押します。
・リモコンの場合：[電源]、[⇩]、[⇧]、[☼]、[数字]、[ID]ボタン
・本体の場合　　：[電源]ボタン
何も操作しないと、約7秒後に自動的にメッセージが消えます(電源は切れません)。

> **ポイント**
> 「内部温度が上昇しています。エアーフィルタの掃除や交換を行い、室温を下げてください。」とメッセージが表示されたときは、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、電源をOFFにしたあと、エアーフィルタの掃除を行ってください。☛ p.131

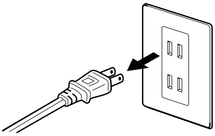
3 もう一度、リモコンまたは本体の[電源]ボタンを押します。
ランプが消灯します。⏻インジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウン▸▸が始まります。
クールダウンの時間は約30秒です。
クールダウンが終了すると、⏻インジケータがオレンジ色の点灯に変わります。

オレンジ色で点滅した後、
点灯に変わります。



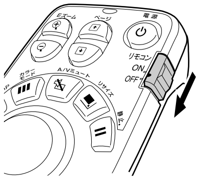
> **ポイント**
> - ⏻インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、リモコンまたは本体のボタン操作は無効になります。点灯に変わるまでお待ちください。
> - 環境設定メニューで「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定している場合は、クールダウンが終了してもファンが回り続けます。
> 故障ではありませんのでご了承ください。

4 本機を長期間、使用しない場合は、電源ケーブルのプラグをコンセントから抜きます。



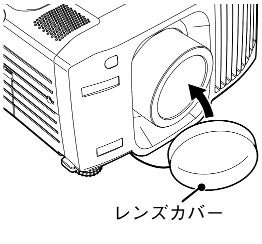
> **注意**
> ⏻インジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になります。

5 リモコンの[リモコン]スイッチをOFFにします。



> **ポイント**
> [リモコン]スイッチがONのままになっていると電池が消耗します。使用しないときは[リモコン]スイッチをOFFにしてください。

6 レンズカバーを取り付けます。
レンズにホコリや汚れが付着するのを防ぐために、使用しないときはレンズカバーを取り付けます。



投写画面を調整しよう

投写画面の補正や各種調整を行い、最適な投写状態にします。

投写サイズの微調整(ズーム調整)

基本的に投写サイズは、スクリーンから本機の設置位置までの距離で合わせます。☛p.14
ここでは、その後に行う調整の方法を説明します。

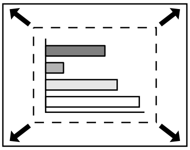
ポイント

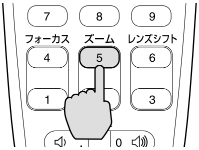
- オプションのリアプロ用ワイドレンズを装着している場合は、電動(ボタン操作)によるズーム調整は行えません。詳細はリアプロ用ワイドレンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。
- 一部分を拡大するEズーム機能もあります。☛p.70

操作

リモコン、または本体の[ズーム]ボタンを押して調整します。
標準レンズの場合は、1.35倍まで拡大できます。
リモコンの[５]ボタン、または本体の[W](ワイド)側を押すと、映像を拡大します。

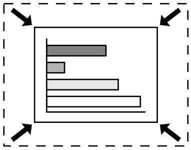
リモコン

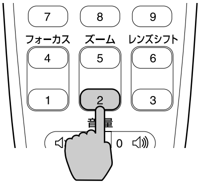




リモコンの[２]ボタン、または本体の[Ｔ](テレ)側を押すと、映像を縮小します。

リモコン





さらに拡大したいときは、投写距離で調整します。☛p.14

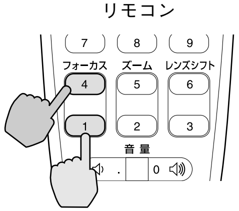
ピントを合わせる(フォーカス調整)

ポイント

- オプションのリアプロ用ワイドレンズを装着している場合は、電動(ボタン操作)によるフォーカス調整は行えません。詳細はリアプロ用ワイドレンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。
- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。☛p.123,130

操作

リモコン、または本体の[フォーカス]ボタンを押してピントを合わせます。
台形補正やシャープネス設定を行っているとピントが合わないことがあります。

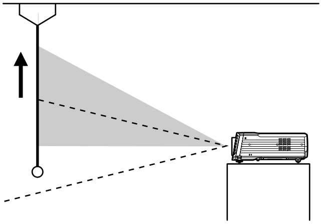


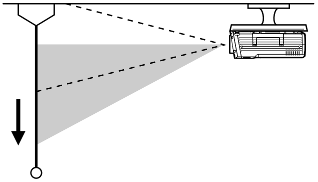
投写画面の位置調整

本機をスクリーンに対して上下左右に傾けて設置するときは、以下の調整をしてください。

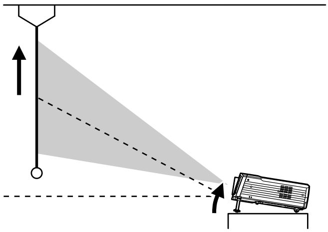
スクリーンに対して低い位置や高い位置から投写したとき

- レンズシフトでレンズを上下に動かし、投写位置を上下に調整できます。
  高い位置にあるスクリーンに投写するときや、天吊りで使う場合に使用します。☛p.54





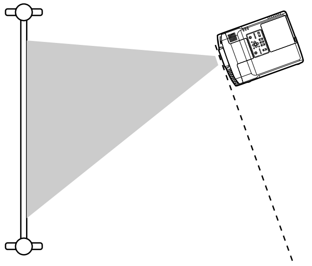
- レンズシフトで調整しきれない場合は、フロントフットを伸ばして本機を傾けます。
  ☛p.55
  本機を傾けて投写すると、投写画面が台形にゆがむことがあります。その場合は台形補正を行います。☛p.56



> 注意
> 調整できる範囲以上に傾けて設置しないでください。倒れたり落ちたりして、けがの原因になることがあります。

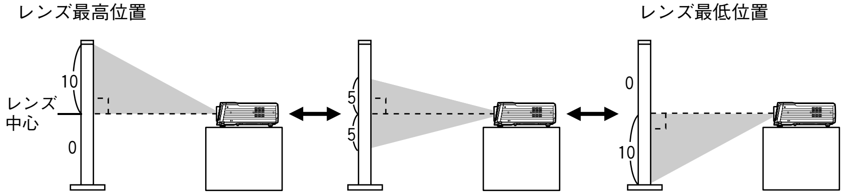
スクリーンに対して横から投写したとき

スクリーンの正面から投写できないときは、サイドから投写できます。投写した画面が台形にゆがむ場合は、「Quick Corner」を使ってゆがみを補正します。☛p.56



投写画面の位置を上下に調整する(レンズシフト)

レンズを上下に移動することにより、投写位置を上下に調整できます。

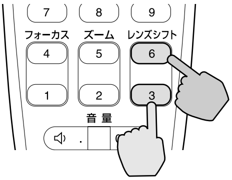


操作

リモコン、または本体の[レンズシフト]ボタンを押して調整します。

リモコンの[6]ボタン、または本体の[△]ボタンを押すと、レンズが上に移動します。
リモコンの[3]ボタン、または本体の[▽]ボタンを押すと、レンズが下に移動します。

リモコン



> **ポイント** オプションのリアプロ用ワイドレンズを装着している場合は、電動(ボタン操作)によるレンズシフト調整は行わないでください。詳細はリアプロ用ワイドレンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

フロントフットの調整

フロントフットの伸縮を調整することで、上方向に最大9°までの範囲で本機を傾けることができます。

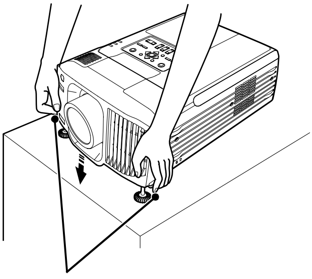
> **ポイント** フロントフットを使い本機を傾けると、投写画面が台形にゆがむことがあります。その場合は台形補正を行います。☛p.56

操作

両側のフットレバーを両方とも引いたまま、本機前面を持ち上げると、フロントフットが伸びます。

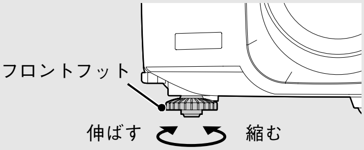
投写したい角度になるまでフロントフットを伸ばし、フットレバーを離します。

フロントフットを収納するには、フットレバーを引いたまま、本機をゆっくり降ろします。



フットレバー（側面）

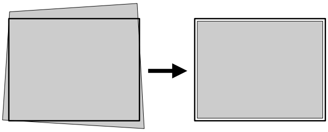
> **ポイント** 投写画面が水平方向に傾いているときは、フロントフットの左右の高さが合っていません。再度フットレバーで高さを調整するか、左右のフロントフットの接地部を回して高さを微調整し、本機を水平になるように設置してください。



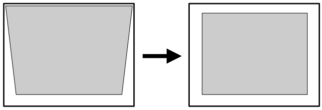
投写画面のゆがみを補正しよう(台形補正)

本機は、次の2種類の台形補正の機能を装備しています。いずれかを選んでお使いください。

- Quick Corner(クイックコーナー)
  投写画面が縦・横両方向の台形にゆがんでいる場合の補正に使います。4つの角を補正して、スクリーンピッタリになるように補正できます。



- タテ補正
  投写画面が縦方向の台形にゆがんでいる場合の補正に使います。
  本機を移動して設置する場合など、本体のボタン操作で簡単に補正できます。☛p.59



ポイント

- 「Quick Corner」と「タテ補正」を一緒に使うことはできません。一方の補正方式に切り替えると、もう一方の補正状態は解除されます。
- 傾斜角度が大きくなるほど、投写映像の輪郭部分のピントが合いにくくなります。
- 台形補正の補正量が大きくなると、文字や罫線などの細かい部分がぼやけます。
- 台形補正で設定した補正状態は、本機の電源を切っても記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、補正し直してください。

スクリーンピッタリに台形補正する(Quick Corner)

Quick Cornerは環境設定メニューから行います。

ポイント

設置する際の傾斜角度が以下の範囲内であれば、Quick Cornerで補正できます。

・EMP-9300：上下約40°、左右約20°
・EMP-8300：上下約45°、左右約40°

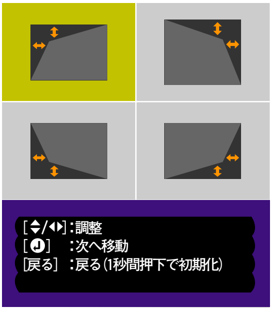
ただし、次の設定により対応できる角度は小さくなります。

・上下方向と左右方向の両方とも傾けた場合。
・オプションの投写レンズを装着している場合。
・レンズをシフトしたり、ズームを「W」側に設定している場合。

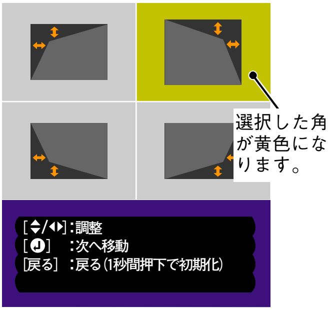
操作

1 リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押します。環境設定メニューで「設定」→「台形補正」→「Quick Corner」を選びます。

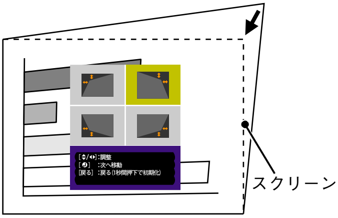
Quick Cornerの補正画面が表示されます。



2 リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して補正する角を画面で選択します。



3 リモコンの[◌]ボタンを傾けるか、または本体の[同期+][同期−][トラッキング+][トラッキング−]ボタンを押して角の位置を補正します。



ポイント

- 本体の[シフト]ボタンを押したまま、[同期+][同期-][トラッキング+][トラッキング-]ボタンを押すと補正値の変更単位が大きくなり、迅速に補正できます。
- Quick Cornerの補正画面表示中に、リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを約1秒間押し続けると、補正した結果を初期化できます。
- Quick Cornerで補正中に、画面に「これ以上調整できません。」と表示された場合は、補正量の限界に達したことを示しています。以下の2点を確認してください。
  - ・目的のスクリーンサイズに適した投写距離になっているか ☛p.14
  - ・本機を制限以上に傾けていないか ☛p.56
- Quick Cornerで補正中に、映像信号が入力されなくなる、または未サポート信号に切り替わった場合は、補正値が記憶されQuick Cornerを終了します。
- Eズーム機能中にQuick Cornerの補正画面を表示すると、Eズームは解除されます。

4 補正を終了するときは、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押します。

縦方向の台形にゆがむ場合の補正(タテ補正)

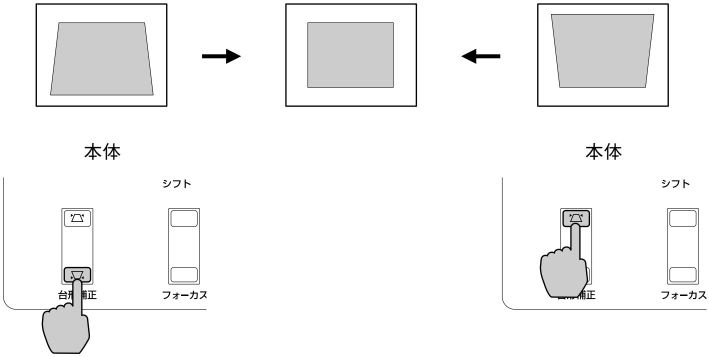
タテ補正は本体操作パネルと環境設定メニューから行えます。
ここでは、本体操作パネルからの補正方法を記載します。
環境設定メニューからの補正　☛「設定」→「台形補正」→「タテ補正」 p.88

ポイント

設置する際の傾斜角度が以下の範囲内であれば、タテ補正で補正できます。
・EMP-9300：上下約40°
・EMP-8300：上下約45°
ただし、次の設定により対応できる角度は小さくなります。
・オプションの投写レンズを装着している場合。
・レンズをシフトしたり、ズームを「W」側に設定している場合。

操作

底辺が広いとき　　　　上辺が広いとき



ポイント

- タテ補正をすると画面が小さくなります。[ズーム]ボタンで調整してください。☛p.52
- 台形補正で文字のつぶれやにじみが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。☛p.83,85
- タテ補正を行っているときに、画面に表示されるゲージの値が変化しなくなった場合は、タテ補正量の限界に達したことを示しています。本機を制限以上に傾けて設置していないか確認してください。
- 以下の機能を実行中にタテ補正を行うと、機能は解除されます。
  ・Eズーム　・リアル表示　・静止機能　・A/Vミュート

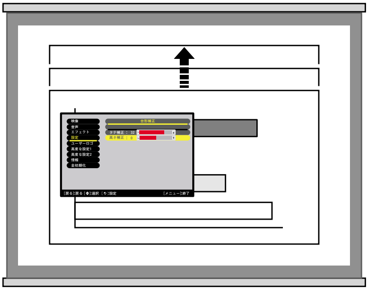
タテ補正の結果、高さを補正する(高さ補正)

タテ補正を行うと画面の高さが低くなります。画面の高さを補正するには高さ補正で行います。
高さ補正は環境設定メニューから行います。

操作

1 リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押します。環境設定メニューで「設定」→「台形補正」→「高さ補正」を選びます。
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☛p.96

2 リモコンの[◌]ボタンを左右に傾けるか、または本体の[トラッキング+][トラッキング−]ボタンを押して、投写映像を見ながら高さを補正します。



3 設定が終了したら、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押して環境設定メニューを終了します。

画質の調整をしよう

映像の画質を調整します。

コンピュータ映像の調整

自動調整機能

接続されたコンピュータのアナログRGB信号を判断し、コンピュータの映像を最適な状態に自動的に調整します。
自動調整機能で調整されるのは、トラッキング▸▸、表示位置、同期▸▸の3項目です。

ポイント

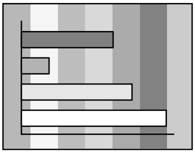
- 環境設定メニューの「高度な設定２」→「自動セットアップ」を「OFF」に設定している場合は（初期設定は「ON」）、自動調整機能は働きません。この場合は、コンピュータの映像（アナログRGB）を投写中に、リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、調整を行います。

リモコン

- Eズーム機能や静止機能を実行しているときにリモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押すと、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータが出力している信号によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、トラッキングと表示位置、同期をそれぞれ調整してください。☛p.62,63,83
- プレビュー機能を実行しているときは、自動調整機能は働きません。

トラッキングの調整

自動調整を行っても、コンピュータの映像に縦の縞模様が出て調整しきれない場合は、次のように個別にトラッキングの調整を行います。

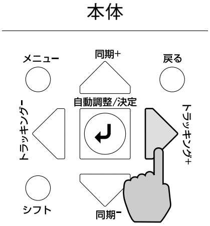


操作

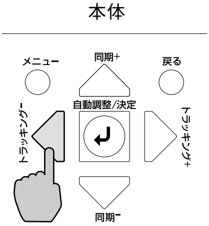
トラッキングの調整は、本体操作パネルと環境設定メニューから調整できます。ここでは本体操作パネルからの調整方法を記載します。
環境設定メニューからの調整 ☛「映像」→「トラッキング」 p.83

以下のボタンを押して映像の縦の縞模様が消えるようにトラッキングの値を設定します。

本体の[トラッキング+]ボタンを押します。
ボタンを押すたびにトラッキングの値が上がります。



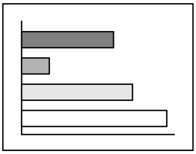
本体の[トラッキング-]ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、トラッキングの値が下がります。



ポイント
連続してトラッキングを調整すると、投写映像が点滅しますが、故障ではありません。

同期の調整

自動調整を行っても、コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出て調整しきれない場合は、次のように個別に同期▶▶調整を行います。



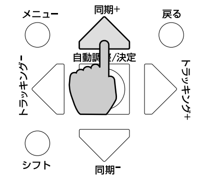
操作

同期の調整は本体操作パネルと環境設定メニューから調整できます。
ここでは本体操作パネルからの調整方法を記載します。
環境設定メニューからの調整　☛「映像」→「同期」 p. 83

以下のボタンを押して映像のちらつき、ぼやけ、横ノイズが消えるように同期の値を設定します。

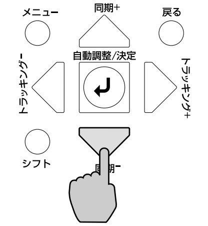
本体の[同期＋]ボタンを押します。
ボタンを押すたびに同期の値が上がります。

本体



本体の[同期－]ボタンを押します。
ボタンを押すたびに、同期の値が下がります。

本体



ポイント

- トラッキングを合わせてから同期を調整しないと、完全には調整できません。トラッキングのずれは、表示している画面によっては目立たない場合があります。縦線や網点の多い画面では目立ちやすくなりますので、トラッキングのずれを確認してください。
- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト▶▶、シャープネス、台形補正の調整で起こることもあります。

映り具合を選ぶ(カラーモード選択)

映像の特徴に合わせた次の5種類の設定があらかじめ記録されています。投写映像に応じて選択するだけで、簡単に最適な画質で投写できます。モードによって投写の明るさが異なります。

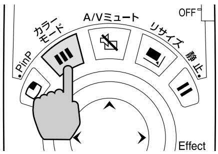
モード名	使い方
ダイナミック	明るさを重視した、鮮やかでメリハリを付けた映像にします。
プレゼンテーション	明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。
シアター	自然な色合いで映画に最適です。
リビング	明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。
sRGB▸▸	色の標準規格であるsRGB に準拠します。接続している機器にsRGB モードがある場合、本機と接続機器の両方ともsRGB に設定して使用します。

操作

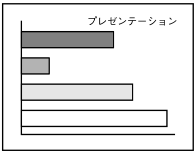
カラーモードの選択はリモコンと環境設定メニューから選択できます。
ここではリモコンからの選択方法を記載します。
環境設定メニューからの選択 ☛「映像」→「カラーモード」p.83,85

リモコンの[カラーモード]ボタンを押すたびに次の順でカラーモードが切り替わります。
ダイナミック→プレゼンテーション→シアター→リビング→sRGB …

リモコン



モードを切り替えるたびに、画面上に現在の設定が表示されます。



カラーモードの初期設定値は、次のとおりです
コンピュータ映像入力時:「プレゼンテーション」
その他の映像入力時:「ダイナミック」

音量を調整しよう

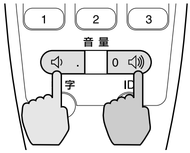
本機の内蔵スピーカ、または本機に接続している外部スピーカの音量を調整します。

操作

音量は、リモコンと本体操作パネル、環境設定メニューから調整できます。
ここではリモコンと本体操作パネルからの調整方法を記載します。
環境設定メニューからの調整　☛「音声」→「音量」p.86

リモコン、または本体の[音量]ボタンを押して調整します。
🔊側を押すと音量が上がり、🔈側を押すと下がります。
調整中は音量ゲージが表示されます。

リモコン



ポイント

- 音量調整を行っているときに、画面に表示されているゲージの値が変化しなくなったら、音量調整の限界に達したことを示しています。
- 音量の調整結果は、各映像ソースごとに保存されています。

応用編

この章では､投写を効果的にするための機能と環境設定メニューについて説明しています。

便利な機能 68

- A/Vミュート機能 68
- 静止機能 69
- Eズーム機能 70
- PinP(ピクチャー イン ピクチャー)機能 71
- エフェクト機能 73
  - ポインタアイコンを使う 73
  - 直線や曲線を描く 74
- プリセット機能 75
  - ｢映像｣メニューを記憶する 75
  - 記憶した｢映像｣メニューを反映させる 76
- リサイズ/アスペクト比の切り替え 77
  - コンピュータの表示種類を切り替える 77
  - ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を映す 79
- プロジェクターID/リモコンID 80
  - プロジェクター本体にID番号を登録する 80
  - リモコンのID番号を登録する 81

環境設定メニューの機能と操作 82

- 機能一覧 82
  - 映像メニュー 82
  - 音声メニュー 86
  - エフェクトメニュー 86
  - 設定メニュー 88
  - ユーザーロゴメニュー 90
  - 高度な設定1メニュー 90
  - 高度な設定2メニュー 92
  - 情報メニュー 94
  - 全初期化メニュー 95
- 環境設定メニューの操作 96

ネットワークを使ったプロジェクターの監視･制御 98

- 動作可能なコンピュータ 99
  - EMP Monitorが動作可能なコンピュータ 99
  - EMP NetworkManagerが動作可能なコンピュータ 99
- Projector Softwareのインストールとアンインストール 99
  - インストール 99
  - アンインストール 101
- ネットワークケーブルの接続 101
- プロジェクター側の接続設定 102
  - 環境設定メニューでネットワーク接続設定をする 102
- メール通知機能による異常の通知 103
  - メール通知の設定 104
  - 異常通知のメールが送られてきたら 107
  - 手動で接続する 108
  - EMP Monitorの設定を共用する 109
- プロジェクターの監視･制御を集中管理する(EMP Monitor) 110

便利な機能

ここでは、プレゼンテーションなどに有効で便利な各機能について説明しています。

A/Vミュート機能

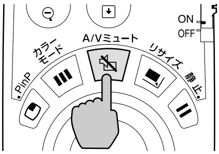
映像と音声を一時的に消します。
例えば、コンピュータの映像を投写中にファイルの切り替えを行うなど、操作内容を表示したくない場合に使用すると便利です。
ただし、動画を消している場合は消えている間も映像と音声は進んでいますので、消したときの場面からは再開できません。

操作

リモコン、または本体の[A/Vミュート]ボタンを押します。
映像と音声が消えます。

もう一度[A/Vミュート]ボタンを押すと投写を再開します。
リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを押しても再開します。

リモコン



映像と音声を一時的に消したときの状態を、環境設定メニューの「設定」→「A/Vミュート」により、次の3種類の中から選択できます。 ☛p.89

黒一色

初期設定

青一色

ユーザーロゴ

ポイント

- ユーザーロゴにはEPSONロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録が必要です。 ☛p.139
- A/Vミュート機能を実行したときの設定画面が「黒」になっている場合は、A/Vミュート実行中でも本機に入力中の映像を外部モニタで確認できます。外部モニタで確認しながらリモコンの[入力切替]ボタンで映像ソースを切り替えることができます。 ☛p.34,46

静止機能

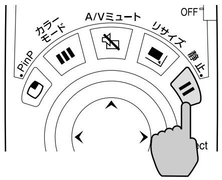
映像の動きを一時的に停止します。ただし、音声は停止しません。
動画を停止している場合は、停止している間も映像は進んでいますので、停止したときの場面からは再開できません。

操作

リモコンの[静止]ボタンを押します。
映像が停止します。

解除するには再び[静止]ボタンを押します。
リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを押しても解除できます。

リモコン



ポイント

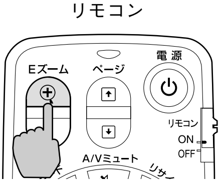
- 環境設定メニュー、ヘルプメニュー表示中にリモコンの［静止］ボタンを押すと、各メニューは解除されます。
- Eズーム実行時も、静止機能で停止できます。

Eズーム機能

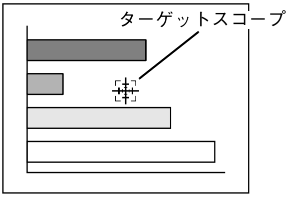
グラフや表など見たい部分を拡大/縮小できます。
Eズーム機能の操作はリモコンを使って行います。

操作

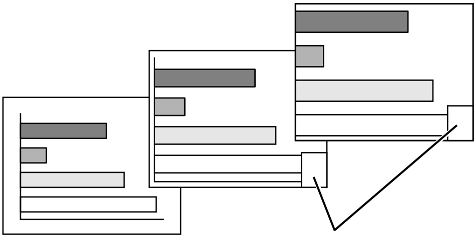
1 リモコンの[Eズーム⊕]ボタンを押します。
投写中の画面に、ズームを行う中心点を表すカーソル(ターゲットスコープ)が表示されます。



2 拡大/縮小表示したい部分にターゲットスコープを移動させます。
ターゲットスコープの移動は、[◌]ボタンを傾けて行います。



3 [⊕]ボタンを押すと、ターゲットスコープを中心に映像が拡大されます。
[⊖]ボタンを押すと拡大した結果を縮小します。
画面右下に倍率が表示されます。
[◌]ボタンを傾けることによって、画面のスクロールができます。



解除するには[ESC]ボタンを押します。

1～4倍まで、0.125倍刻みに25段階で拡大できます。

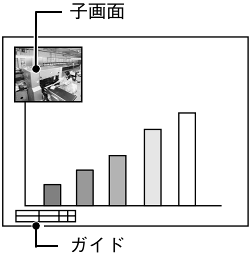
PinP(ピクチャー イン ピクチャー)機能

現在、投写している画面(親画面)の中に別の映像を小さな画面(子画面)で投写できます。
親画面にはコンピュータの映像を、子画面にはビデオ映像(コンポジットビデオ▸▸、S-ビデオ▸▸)を表示できます。
子画面のビデオ映像は、環境設定メニューの「設定」→「P in P子画面」で選択します。☛p.88
PinP機能の操作はリモコンを使って行います。

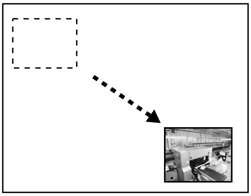
ポイント リフレッシュレート▸▸がインタレース▸▸に設定されているコンピュータ映像とRGBビデオ映像の場合、PinP機能は働きません。

操作

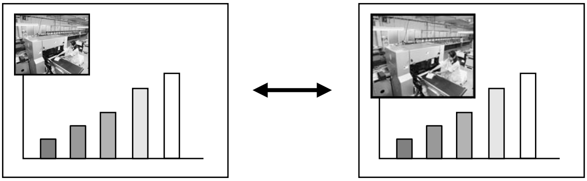
1 親画面、子画面に投写する機器を接続し、環境設定メニューの「設定」→「P in P子画面」で子画面の設定を行ったうえでリモコンの[PinP]ボタンを押します。
画面の左上に子画面が、左下に操作ガイドが表示されます。



2 リモコンの[◌]ボタンを傾けると、子画面の位置を移動できます。



3 リモコンの[Eズーム]ボタンを押すと、子画面のサイズを5段階で変更できます。



親画面の縦･横の各辺を1とした場合の子画面の辺の比率は下記のとおりです。

1段階		2段階		3段階		4段階		5段階
約1/3.4	↔	約1/3.2	↔	約1/3.0	↔	約1/2.8	↔	約1/2.7

[PinP]ボタンを押したときの､子画面の初期サイズは2段階目の大きさとなります。

4 [Enter]ボタンを押すと､操作ガイド画面が消え､子画面の表示位置とサイズが決定されます。

子画面の表示位置とサイズを決定すると操作ガイドが消えます。PinPを解除するには､再び[PinP]ボタンを押します。

ポイント

- 子画面の位置は記憶され､次回 PinP 機能を実行したときの子画面の位置は前回確定した位置になります。
- 子画面の表示位置とサイズを決定する前に､以下の操作を行うと､親画面と子画面の音声を切り替えることができます。
  ・親画面の音声を流す場合：[カラーモード]ボタンを押す
  ・子画面の音声を流す場合：[A/Vミュート]ボタンを押す

エフェクト機能

投写中の映像にポインタアイコンを表示させてリモコンで操作したり、直線や曲線を描くことができます。
この機能を使うと、注目させたい部分をアピールすることができます。
エフェクト機能の操作はリモコンを使って行います。

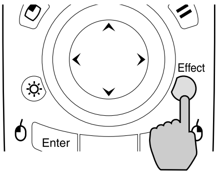
> **ポイント**
> 環境設定メニューの「エフェクト」でポインタアイコンの種類や大きさ、移動速度、描く線の色や太さを設定できます。「ポインタ/ライン1」、「ポインタ/ライン2」、「ポインタ/ライン3」にそれぞれの設定を登録しておき、呼び出すことができます。☛p.87

ポインタアイコンを使う

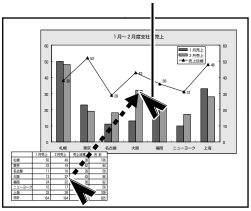
プレゼンテーション中などに、投写映像の説明している箇所をポインタアイコンを使って指し示すことができます。

操作

1 リモコンの[Effect]ボタンを押します。
画面中央にポインタアイコンが表示されます。
[Effect]ボタンを押すたびに、「ポインタ/ライン1」→「ポインタ/ライン2」→「ポインタ/ライン3」の順で設定されているポインタアイコンが表示されます。



2 [ ]ボタンを傾けると、ポインタアイコンを移動できます。
解除するには、[ESC]ボタンを押します。
ポインタアイコンが消えます。



> **ポイント**
> 本機の電源を切るまでは、最後に使用したポインタアイコンの種類が保持されます。エフェクトを実行すると、最後に使用したポインタアイコンが表示されます。本機の電源を切ると、以降は「ポインタ/ライン1」のポインタアイコンが初めに表示される状態に戻ります。

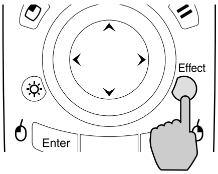
直線や曲線を描く

プレゼンテーション中などに、投写映像の強調したい箇所に直線を引いたり、フリーハンドで丸囲みしたりできます。

操作

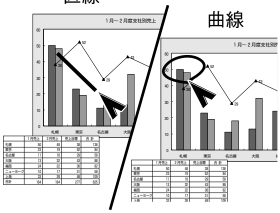
1 リモコンの[Effect]ボタンを押します。
画面中央にポインタアイコンが表示されます。
[Effect]ボタンを押すたびに、「ポインタ/ライン1」→「ポインタ/ライン2」→「ポインタ/ライン3」の順で設定されているポインタアイコンが表示され、一緒に設定してある線の種類を選択できます。

リモコン



2 引く線の始点を決定します。
直線：ポインタアイコンを線の始点に移動し、[Enter]ボタンを押します。
曲線：ポインタアイコンを線の始点に移動し、[Enter]ボタンを約1.5秒押し続け、ドラッグモードにします。[Enter]ボタンが点灯します。

3 引く線の終点を決定します。
直線：ポインタアイコンを線の終点まで移動し、[Enter]ボタンを押します。
曲線：ポインタアイコンを線の終点まで移動します。ポインタアイコンの移動した軌跡が線として描かれます。
[Enter]または[ESC]ボタンを押します。[Enter]ボタンが消灯します。



ポイント
- 線の始点を設定し終点を決定する間は、[Effect] ボタンを押しても線の太さや色を切り替えることはできません。
- 描いた直線や曲線を 1 本ずつ消すことはできません。エフェクト機能を終了すると描いたすべての線が消去されます。

4 続けて何本か線を描く場合は、手順 2 ～3を繰り返します。
解除するには、[ESC]ボタンを押します。ポインタアイコンや描いた線が消えます。

プリセット機能

コンピュータのアナログRGB信号の映像を投写中に環境設定メニューの「映像」の全項目の設定値を最大10個まで記憶させることができます。
解像度や周波数に応じて設定値を記憶させておけば、リモコンの[プリセット]ボタンを押すだけで現在投写中のアナログRGBの映像に、記憶させた「映像」メニューの設定値を反映させられます。

「映像」メニューを記憶する

操作

1 リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「映像」を選びます。設定内容を記憶させる状態に設定します。
☛ p.82

2 設定が終わったらサブメニューの「プリセット登録」を選択して、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。

3 記憶させたい番号(1～10)を選択します。

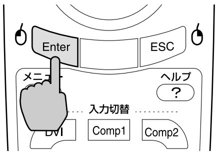
ポイント

- 入力解像度が表示されているプリセット番号は記憶済みです。記憶済みのプリセット番号を選択し、再度記憶させると上書きされます。
- 環境設定メニューの「入力解像度」を「Auto」に設定している場合に、記憶しておいた入力解像度を反映しても「Auto」のまま投写します。
☛ p.83

4 リモコンの［Enter］ボタン、または本体の［自動調整/決定］ボタンを押して「映像」メニューを記憶させます。

記憶させると記憶した入力解像度が表示されます。

リモコン



ポイント

記憶した内容を消去するには、環境設定メニューの「映像」→「初期化」を選択してください。ただし、プリセット登録した内容がすべて初期化されます。

記憶した「映像」メニューを反映させる

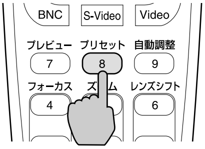
操作

コンピュータのアナログRGB映像を投写中にリモコンの［プリセット］ボタンを押すと、記憶した「映像」メニューの設定値が、投写中の映像に反映されます。

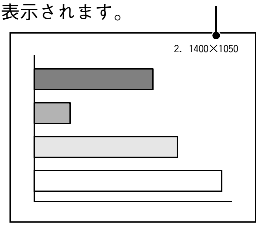
ボタンを押すたびに昇順で記憶したプリセット番号が切り替わります。

画面上に番号と入力解像度が表示されている間に［プリセット］ボタンを押さないと切り替わりません。

リモコン



プリセット番号と入力解像度が表示されます。



ポイント

- 未登録のプリセット番号はとばして切り替わります。
- 1つもプリセット登録していない場合は、リモコンの［プリセット］ボタンを押すと「登録されていません」と表示されます。

リサイズ/アスペクト比の切り替え

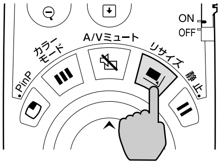
コンピュータの表示種類を切り替える

コンピュータの映像投写時は、投写サイズいっぱいになるように投写するリサイズ表示と、入力信号の解像度のまま投写するリアル表示を切り替えることができます。
コンピュータの映像投写時は、リサイズ表示で投写されます。

操作

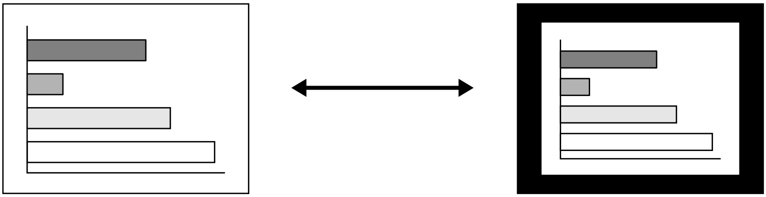
リモコン、または本体の[リサイズ]ボタンを押すたびに、リアル表示/リサイズ表示を切り替えます。

リモコン



入力解像度がパネル解像度(EMP-9300:1400×1050、EMP-8300:1024×768)より小さい場合

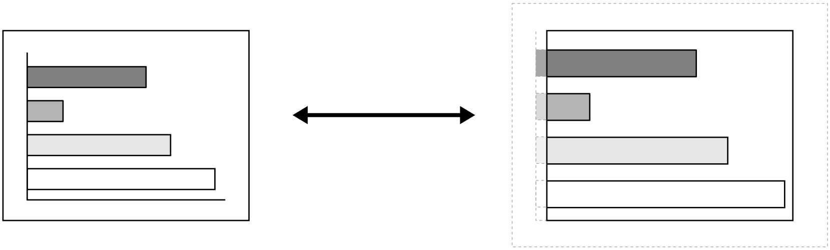
リサイズ表示　　　　　　　　　　　リアル表示



画面中央に入力信号の解像度のまま投写されます。

入力解像度がパネル解像度(EMP-9300:1400×1050、EMP-8300:1024×768)より大きい場合

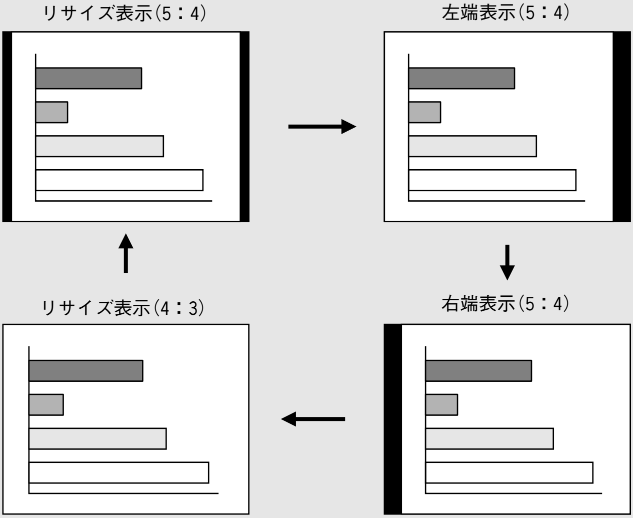
リサイズ表示　　　　　　　　　　　リアル表示



映像の中央部分が投写されます。
リモコンの[ ]ボタンを傾けると映像をスクロールできます。

ポイント

- 投写映像の表示種類は各映像ソースごとに保存されます。
- 入力信号の解像度がパネル解像度と同じサイズの場合は映像サイズは切り替わりません。
- SXGA(5：4)の入力信号の場合は、本体の[シフト]ボタンを押したまま[リサイズ]ボタンを押すたびに映像の位置が次のように切り替わります。



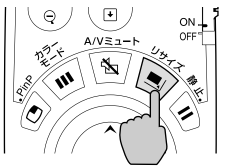
ビデオ機器の映像投写時に、ワイドサイズの映像を映す

コンポーネントビデオ(YCbCr、YPbPr)、S-ビデオ、コンポジットビデオ投写時は、アスペクト比4：3と16：9を切り替えることができます。
デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16：9のワイド画面で投写できます。

操作

リモコン、または本体の[リサイズ]ボタンを押すたびに表示を切り替えます。

リモコン

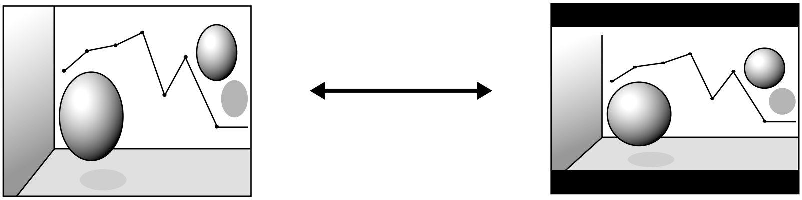


SDTV時

16：9出力の映像を4：3のアスペクトで表示すると水平方向に圧縮され縦長の映像になります。

スクイーズモードの映像を4：3で投写した場合

スクイーズモードの映像を16：9で投写した場合

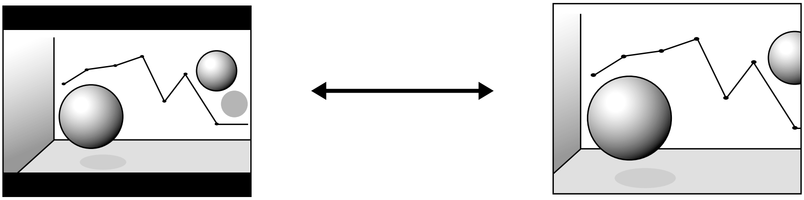


HDTV時

16：9出力の映像を4：3のアスペクトで表示すると、縦方向にいっぱいになるようにリサイズし、表示しきれない左右をカットします。

スクイーズモードの映像を16：9で投写した場合

スクイーズモードの映像を4：3で投写した場合



プロジェクターID/リモコンID

ショーなどで本機を複数台使用する場合、プロジェクターとリモコンにID番号を登録すると、ID番号が一致するプロジェクターだけをリモコンで操作できるようになります。反対に、リモコンのID番号を「0」に設定すると、プロジェクター本体のID番号にかかわらず、すべてがリモコンの操作対象になります。

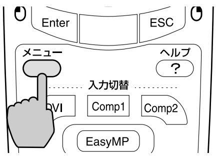
ポイント ID番号の初期設定値は、プロジェクター本体が「1」、リモコンが「0」になっています。

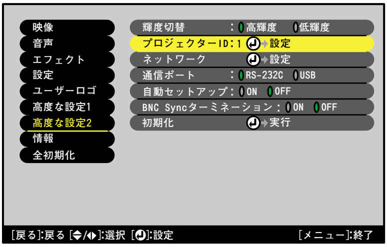
プロジェクター本体にID番号を登録する

操作

1 リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューで「高度な設定2」→「プロジェクターID」を選びます。
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☛p.96

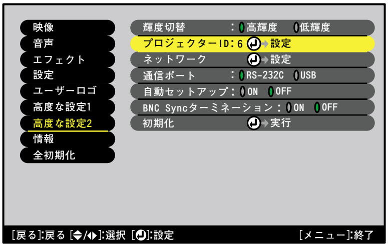
リモコン





ポイント 「プロジェクターID」の設定できるID番号は「1～9」です。「0」に設定することはできません。

2 リモコンの[◌]ボタン、または本体の[トラッキング+][トラッキング−]ボタンで登録したいID番号(1～9)を選択します。
リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押し、ID番号を決定します。



3 設定が終了したら[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューを終了します。

登録が終了すると、ID番号が一致する、またはID番号が「0」に設定されているリモコンからの操作以外は受け付けなくなります。

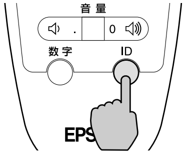
リモコンのID番号を登録する

操作

1 リモコンの[ID]ボタンを押します。

[ID]ボタンが点灯します。

リモコン

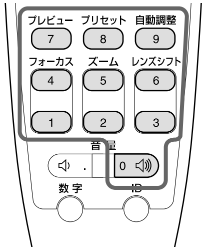


2 リモコンの[0]～[9]ボタンを押してIDを指定します。

[ID]ボタンが消灯し、登録が終了します。

「0」以外に登録した場合は、ID番号が一致するプロジェクター以外は操作できなくなります。

リモコン



> **ポイント**
> 現在設定されているリモコンIDを確認したいときは、リモコンの[ID]ボタンを押し、[ID]ボタンが点灯したら、もう一度[ID]ボタンを押します。
> しばらくすると設定されているID番号の数だけ[ID]ボタンが点滅します。

環境設定メニューの機能と操作

環境設定メニューでは、各種調整や設定ができます。
メニューは、トップメニューとサブメニュー、サブサブメニューがあり、階層構造になっています。
操作方法の詳細は「環境設定メニューの操作」(☛ p.96)をご覧ください。

機能一覧

映像メニュー

- 入力信号が何も入力されていないときは、「入力解像度」、「ビデオ信号方式」を除く項目は調整できません。
- 「映像」メニューは投写している入力信号によって表示される項目が異なります。投写している入力信号以外のメニューは調整できません。

コンピュータ (Analog-RGB)

コンピュータ(Digital-RGB)

映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	(アナログRGB信号入力時のみ調整可能) 映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。	接続信号による
トラッキング▶▶	(アナログRGB信号入力時のみ調整可能) 映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
同期▶▶	(アナログRGB信号入力時のみ調整可能) 映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ・ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト▶▶、シャープネス、台形補正の調整で発生することもあります。 ・トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	接続信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
コントラスト▶▶	映像の明暗の差を調整します。 ・Auto　：コントラストを自動で最適値に調整します。 ・Manual　：コントラストを手動で調整します。	Auto
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 5種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・ダイナミック：明るさを重視した、鮮やかでメリハリを付けた映像にします。 ・プレゼンテーション：明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター　：自然な色合いで映画に最適です。 ・リビング　：明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。 ・sRGB▶▶　：sRGB規格に準拠した映像にします。sRGBに設定すると「高度な設定1」→「カラー調整」の色温度が6500Kに固定されます。	プレゼンテーション
入力解像度	(アナログRGB信号が入力、選択されているときのみ調整可能) 使用機器の入力解像度を設定します。 ・Auto　：入力信号に応じて自動的に設定します。 ・Manual　：入力解像度を手動で選択します。	Auto

サブメニュー	機能	初期設定値
プリセット登録	(アナログRGB信号入力時のみ登録可能) 「映像」メニューの設定値を登録しておき、リモコンの[プリセット]ボタンを押すことで投写中のアナログRGB信号の映像に、登録しておいた設定値を反映することができます。 ・プリセット番号(1～10)を選択することにより、現在の設定値を登録します。すでに設定値が登録されているプリセット番号には、登録された入力解像度が表示されます。設定値を変更するときは、登録済みのプリセット番号を選択すると、現在の設定値を上書きすることができます。	–
初期化	「映像」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.95	–

コンポーネントビデオ▸▸
(YCbCr▸▸、YPbPr▸▸)

ビデオ
(コンポジットビデオ▸▸、S-ビデオ▸▸)

RGBビデオ

映像メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。	接続信号による
明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値(0)
コントラスト▶▶	映像の明暗の差を調整します。	中心値(0)
色の濃さ	(RGBビデオの場合は表示されません。) 映像の色の濃さを調整します。	中心値(0)
色合い	(RGBビデオの場合は表示されません。) 映像の色合いを調整します。	中心値(0)
シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値(0)
カラーモード	映像の色の鮮やかさを補正します。各ソース(コンピュータ、ビデオ機器)ごとに設定を保存できます。 5種類の画質から簡単にシーンに合った画質を選択できます。 ・ダイナミック：明るさを重視した、鮮やかでメリハリを付けた映像にします。 ・プレゼンテーション：明るさを重視した、明るい部屋でのプレゼンテーション用です。 ・シアター　：自然な色合いで映画に最適です。白黒伸長機能が働き、黒っぽい映像時や白っぽく明るい映像時も階調(色の濃淡)差をはっきりさせ、見やすい映像にします。 ・リビング　：明るさを重視した、明るい部屋でのゲーム用です。 ・sRGB▶▶　：sRGB規格に準拠した映像にします。sRGBに設定すると「高度な設定1」→「カラー調整」の色温度が6500Kに固定されます。	ダイナミック
ビデオ信号方式	(コンポジットビデオ/S-ビデオ信号が入力、選択されているときのみ選択可能) ビデオ信号方式を選択します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して選択します。 ・「Auto」にすると自動的にビデオ信号が選択されます。	Auto
初期化	「映像」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛p.95	-

音声メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
音量	音量を調節します。	15
高音	高音の強弱を調整します。	中心値(0)
低音	低音の強弱を調整します。	中心値(0)
初期化	「音声」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.95	–

ポイント

「音声」メニューの調整結果は各映像ソースごとに保存されます。

エフェクトメニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
ポインタ/ ライン1	リモコンの[Effect]ボタンを1回押したときに表示される内容を設定します。 ・形状　：ポインタアイコンの形状を以下の8種類から選択します。 ・倍率　：ポインタアイコンの表示倍率を「100%」、「200%」の中から選択します。 ・ラインカラー：直線や曲線の色を8種類の中から選択します。 ・ライン幅　：直線や曲線の線幅を「太」、「中」、「細」の中から選択します。	形状： 倍率：100% ﾗｲﾝｶﾗｰ： 水色 ﾗｲﾝ幅：太
ポインタ/ ライン2	リモコンの[Effect]ボタンを2回押したときに表示される内容を設定します。 設定できる項目、内容は「ポインタ/ライン1」と同じです。	形状： 倍率：100% ﾗｲﾝｶﾗｰ： 青色 ﾗｲﾝ幅：中
ポインタ/ ライン3	リモコンの[Effect]ボタンを3回押したときに表示される内容を設定します。 設定できる項目、内容は「ポインタ/ライン1」と同じです。	形状： 倍率：100% ﾗｲﾝｶﾗｰ： 赤色 ﾗｲﾝ幅：細
ポインタ移動速度	リモコンの[ ]ボタンを押したときのポインタアイコンの移動速度を選択します。 L：遅い　M:中間　H：速い	M
初期化	「エフェクト」メニューの調整値をすべて初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.95	-

設定メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
台形補正	投写画面のゆがみを補正します。 リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して補正します。 ・タテ補正　：本体の[台形補正]ボタンによる補正と同等の機能です。縦方向の台形にゆがんだ画面を補正します。また、高さ補正も行えます。 ・Quick Corner：画面の4つの角を補正してスクリーンピッタリに合わせます。 補正後、ムラが目立つ場合は、「映像」→「シャープネス」で調整してください。 ☛ p.83,85	タテ補正：中心値(0) 高さ補正：中心値(0) Quick Corner：無補正
P in P子画面	PinP機能時に子画面として投写する映像信号を、コンポジットビデオ▶▶、S-ビデオ▶▶から選択します。	コンポジット
ノーシグナル表示	映像信号が入力されていないときなどのメッセージ表示の状態、背景の画面の設定を行います。 「OFF」に設定すると、メッセージは表示されず背景は黒色になります。 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。 ☛ p.139 ・EMP-9300の場合は、パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「ON」に設定していると、「ロゴ」から「OFF」、「黒」、「青」のいずれかに変更する、または「OFF」、「黒」、「青」のいずれかから「ロゴ」に変更することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。 ☛ p.40	青
メッセージ表示	映像信号やカラーモードを切り替えたときに、映像信号名またはカラーモード名を画面に表示する(ON)か、しない(OFF)かを設定します。	ON

サブメニュー	機能	初期設定値
A/Vミュート	[A/Vミュート]ボタンを押したときの画面の状態を設定します。 「黒」に設定している場合のみ、A/Vミュート機能実行中でも、外部モニタにそのまま映像を表示できます。 ☛ p.34 ・ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。 ☛ p.139 ・EMP-9300の場合は、パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「ON」に設定していると、「ロゴ」から「黒」、「青」のいずれかに変更する、または「黒」、「青」のいずれかから「ロゴ」に変更することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。 ☛ p.40	黒
コンピュータ1入力	[コンピュータ1]端子に接続している機器に応じて映像信号を選択します。	Analog-RGB
コンピュータ2入力	[コンピュータ2]端子に接続している機器に応じて映像信号を選択します。	Analog-RGB
BNC入力	[BNC]端子に接続している機器に応じて映像信号を選択します。	Analog-RGB
スリープモード	映像信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。 ・「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で約30分間操作しないと自動的に投写を終了し、クールダウン▸▸後、スリープモード(スタンバイ状態)になります。(⏻インジケータはオレンジ色に点灯しています。) ・リモコン、または本体の[電源]ボタンを押すと投写を再開します。	OFF
初期化	「設定」メニューのうち、「コンピュータ1入力」、「コンピュータ2入力」、「BNC入力」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・EMP-9300の場合は、「ノーシグナル表示」、「A/Vミュート」を「ロゴ」に設定しているときは、パスワードプロテクトの「ユーザーロゴ保護」を「ON」にしていると初期値に戻りません。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.95	-

ユーザーロゴメニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
実行	ユーザーロゴを登録します。 ☛ p.139 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、画面の指示に従って操作します。 ・EMP-9300の場合は、パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「ON」に設定していると登録することができません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。 ☛ p.40	EPSONロゴ

高度な設定1メニュー

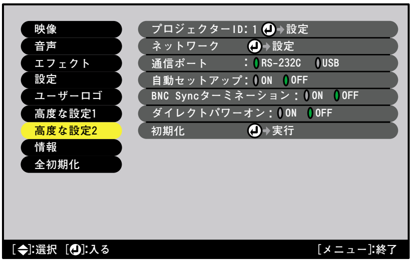
サブメニュー	機能	初期設定値
スタートアップスクリーン	スタートアップスクリーンの表示のON/OFFを設定します。ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録が必要です。 ☛ p.139 設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン終了後に電源を入れ直します。電源を入れ直した以降、設定が有効になります。 ・EMP-9300の場合は、パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「ON」にしていると、有効(ON)、無効(OFF)の設定を変更できません。パスワードプロテクトを解除してから操作してください。 ☛ p.40	ON

サブメニュー	機能	初期設定値
プログレッシブ変換	(コンポジットビデオ/S-ビデオ/コンポーネントビデオ(525i,625i)信号入力時のみ設定可能) インタレース▸▸(i)信号をプログレッシブ▸▸(p)に変換するときに使います。 「OFF」に設定すると、インタレースのまま投写されます。 ・OFF　：IP変換を各フィールドの画面内で行います。動きの大きい映像をお楽しみいただくときに適しています。 ・ビデオ：フィルム判定機能▸▸をOFFにします。 ・フィルム/Auto：通常はこの設定で使用します。自動的に映画ソースかどうかを判断し、映画の場合は3-2プルダウン機能▸▸が働き、オリジナルとそん色のないフィルム映像を再現します。	フィルム/Auto
カラー調整	映像ソースごとに、映像の色温度▸▸とRGB(赤緑青)の各色の強さを調整します。 ・色温度：白色を赤みがかった色から、青みがかった色まで調整できます。 色温度が低いほど赤みを帯びて落ち着いた色調になります。 色温度が高いほど青みを帯びてすがすがしい色調になります。 リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。 ・RGB　：リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して調整します。 R(赤)、G(緑)、B(青)の項目をそれぞれ調整します。 調整は画面の状態を見ながら行ってください。 「映像」→「カラーモード」の調整値を「sRGB」に設定している場合、本項目は選択できません。	色温度：接続信号により異なる
黒レベル	白レベルを変えずに、黒側の明るさだけを調整します。 ショーなどで本機を複数台並べて投写する場合に、投写映像の黒レベル(黒側の明るさ)を合わせるのに使います。	中心値(0)
白レベル	黒レベルを変えずに、白側の明るさだけを調整します。 ショーなどで本機を複数台並べて投写する場合に、投写映像の白レベル(白側の明るさ)を合わせるのに使います。	中心値(0)
リア	リアスクリーンに後方から投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が左右に反転します。	OFF
天吊り	天井に取り付けて投写するときに使います。 「ON」に設定すると投写映像が180°回転し、逆さまに投写されます。	OFF
待機モード	本機がスタンバイ状態のときも、ネットワーク監視・制御機能やスタンバイモニタ機能を働かせる場合は、「ネットワーク有効」に設定します。 設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン▸▸終了以降、設定が有効になります。	ネットワーク無効

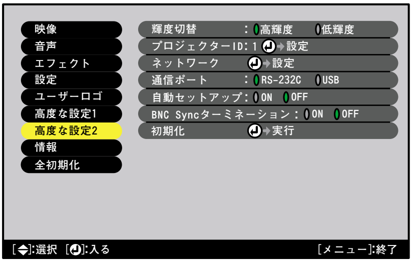
サブメニュー	機能	初期設定値
言語	メッセージやメニューに表示する言語を設定します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して選択します。	日本語
初期化	「高度な設定1」メニューのうち、「リア」、「天吊り」、「言語」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛ p.95	-

高度な設定2メニュー

EMP-9300



EMP-8300



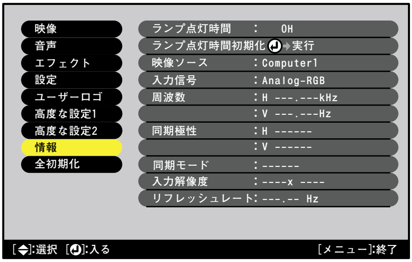
サブメニュー	機能	初期設定値
輝度切替	(EMP-8300のみ) ランプの明るさを2段階で切り替えることができます。暗い部屋で投写したり小さなスクリーンに映す場合に、投写映像が明るすぎるときは「低輝度」に設定します。 「低輝度」で使用すると、投写中の消費電力や騒音が減り、ランプ寿命が延びます。	高輝度
プロジェクターID	本体のID番号を設定します。 ☛ p.80	1
ネットワーク	本機をネットワークに接続し、EMP Monitor機能やメール通知機能を使う場合に、DHCP▶▶、IPアドレス▶▶、サブネットマスク▶▶、ゲートウェイ▶▶アドレスを設定します。SNMP▶▶を使ったネットワーク監視時に異常を通知する先のコンピュータのIPアドレスを設定します。☛ p.102	-
通信ポート	コンピュータと通信を行う場合のポートをRS-232CとUSBのどちらを使用するかを設定します。 設定を変更した場合は、一度電源を切って、クールダウン▶▶終了後に電源を入れ直します。電源を入れ直した以降、設定が有効になります。	RS-232C

サブメニュー	機能	初期設定値
自動セット アップ	入力信号がコンピュータのアナログRGB映像に切り替わったときに、映像を自動で最適な状態に調整する自動調整機能のON/OFFを設定します。	ON
BNC Sync ターミネーション	[BNC]端子のターミネーションモードを設定します。映像の端末処理を行えます。 ・ON　：アナログ(75Ω)で終端します。 ・OFF　：TTL(通常のPCから出力される信号レベル)入力します。 通常は「OFF」で使用します。スイッチャなど、アナログ(75Ω)終端が必要な場合は「ON」に設定します。	OFF
ダイレクト パワーオン	(EMP-9300のみ) 本機の電源ケーブルを接続すると、[電源]ボタンを押さなくても投写を開始します。 電源を切る場合は、[電源]ボタンを押し、クールダウン▶▶が終了してから電源ケーブルを抜いてください。また、コンセントに電源プラグが差し込まれていると、停電になり復旧した時に本機の電源がオンになるので、注意してください。	OFF
初期化	「高度な設定2」メニューのうち、「プロジェクターID」、「ネットワーク」を除くすべての調整値を初期値に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」などすべてのメニュー項目の設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。 ☛p.95	-

情報メニュー

- 「情報」メニューは投写している入力信号の設定状態を表示します。
- 「ランプ点灯時間」は、0～10時間までは0Hとして表示されます。10時間以上は1時間単位で表示します。

コンピュータ(Analog-RGB、Digital-RGB)/コンポーネントビデオ(YCbCr、YPbPr)/RGBビデオ



ビデオ
(コンポジットビデオ、S-ビデオ)

サブメニュー	機能	初期設定値
ランプ点灯時間	ランプの累積使用時間を表示します。 ・ランプ寿命警告時間に達すると、文字が警告色(赤)で表示されます。	0H
ランプ点灯時間初期化	ランプ点灯時間の初期化を行います。実行すると、ランプ点灯時間の累積が初期設定値にクリアされます。	-
映像ソース	現在投写中の映像ソースを表示します。	
入力信号	入力信号の設定を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	
ビデオ信号方式	ビデオの信号方式を表示します。 (コンピュータ、コンポーネントビデオ、RGBビデオの場合は表示されません。)	-
周波数	水平・垂直走査周波数を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期極性	同期の極性を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
同期モード	同期の属性を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
入力解像度	入力解像度を表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-
リフレッシュレート	リフレッシュレートを表示します。 (コンポジットビデオ、S-ビデオの場合は表示されません。)	-

全初期化メニュー

サブメニュー	機能	初期設定値
実行	環境設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 ・リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して実行します。 ・「映像」や「音声」など各メニューごとに設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 ・「コンピュータ1入力」、「コンピュータ2入力」、「BNC入力」、「ユーザーロゴ」、「言語」、「プロジェクターID」、「ネットワーク」、「ランプ点灯時間」は初期値に戻りません。 ・EMP-9300の場合、「ノーシグナル表示」、「A/Vミュート」を「ロゴ」に設定しているときは、パスワードプロテクトの「ユーザーロゴ保護」を「ON」にしていると初期値に戻りません。	−

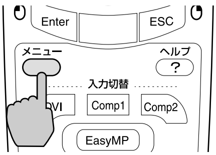
環境設定メニューの操作

環境設定メニューはリモコンと本体のどちらからでも操作できます。

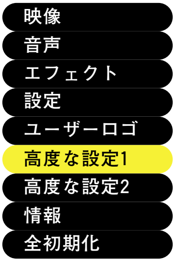
操作

1 リモコン、または本体の［メニュー］ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。

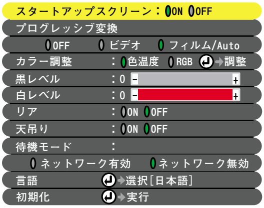
リモコン



2 メインメニューで項目を選択します。
リモコンの場合は、［◌］ボタンを上下に傾けて項目を選択します。
本体の場合は、［同期＋］［同期－］ボタンを押して項目を選択します。
サブメニューがメインメニューで選択した項目に合わせて変わります。



3 項目を決定します。
リモコンの場合は［Enter］ボタンを押して項目を決定します。
本体の場合は［自動調整/決定］ボタンを押して項目を決定します。
サブメニューにカーソルが表示され設定できる状態になります。



4 設定を行う項目を選択します。
リモコンの場合は、［◌］ボタンを上下に傾けて選択します。
本体の場合は、［同期＋］［同期－］ボタンを押して選択します。

ポイント
「映像」メニューや「情報」メニューは、投写している映像ソースによって表示される項目が異なります。

5 調整値を選択します。

リモコンの[ ]ボタンを傾ける、または本体の[トラッキング＋][トラッキング－]ボタンを押して、調整値を変更します。
現在設定されている項目は が緑色になっています。リモコンの[ ]ボタンを傾ける、または本体の[トラッキング＋][トラッキング－]ボタンを押して設定値を選択すると、選択した設定値の はオレンジ色で表示されます。リモコンの[Enter]ボタンまたは本体の[自動調整/決定]ボタンを押して確定すると、 が緑色に変わります。

ポイント

- 設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに マークが表示されています。この項目の場合はリモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押した後、調整値を選択します。
- 各設定項目の機能については「機能一覧」をご覧ください。☛ p.82

6 続いて他の項目も同様に設定します。

手順2～5と同様です。1つ前の階層に戻るには、リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを押します。

7 環境設定メニューを終了します。

リモコン、または本体の[メニュー]ボタンを押します。

ポイント

環境設定メニューは、映像の左上と右下の 2 箇所のうちどちらかに表示できます。環境設定メニューを起動するときに、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを 2 秒間押し続けると、前回と異なる位置に表示されます。映像を確認しながら環境設定メニューの設定をしたいときは、都合のいい方を選んで環境設定メニューを表示させてください。

ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御

コンピュータとプロジェクターをネットワークで接続し、コンピュータからネットワーク経由でプロジェクターの状態を監視したり、制御することができます。
本製品には『Projector Software』CD-ROMが同梱されています。
『Projector Software』CD-ROMには、「EMP NetworkManager」と「EMP Monitor」というソフトウェアが入っています。これらのソフトウェアを使うと、以下のネットワーク監視・制御機能が行えます。

- EMP Monitor
  ネットワークで接続しているプロジェクターの状態をコンピュータのモニタに表示します。1台のコンピュータで複数のプロジェクターを一括して監視・制御できます。
- EMP NetworkManager
  プロジェクターのネットワーク設定やメール通知機能の設定をコンピュータから行います。EMP NetworkManagerを使ってメール通知機能の設定をしておくと、プロジェクターに何らかの異常が発生した場合、あらかじめ設定したメールアドレスに対して自ら異常状態をメールで通知します。
- SNMP▸▸とSNMPマネージャプログラムを使った監視機能
  SNMPを使ってプロジェクターの状態をコンピュータから監視・制御できます。SNMP機能を使ってプロジェクターを監視するには、コンピュータ側にSNMPマネージャプログラムがインストールされている必要があります。ネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。

ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御を行うには、次の順番で作業を行います。

1. お使いのコンピュータに、『Projector Software』CD-ROMから使用するソフトウェアをインストールする ☛p.99
2. ネットワークケーブルで本機をネットワークに接続する ☛p.101
3. 本機の環境設定メニューでネットワークに関する設定をする ☛p.102
4. コンピュータから監視・制御を行う
   EMP Monitorで監視・制御をする ☛p.110
   メール通知機能で監視する ☛p.103

動作可能なコンピュータ

EMP Monitorが動作可能なコンピュータ

OS※	Windows95/98SE/Me/NT4.0/2000 Professional/ XP Home Edition/XP Professional
CPU	PentiumMMX 166MHz以上(PentiumⅡ 233MHz以上を推奨)
メモリ容量	64MB以上(128MB以上を推奨)
ハードディスク空き容量	6MB以上
ディスプレイ	XGA▶▶(1024×768)以上の解像度、16ビットカラー以上の表示色

※ Macintoshには対応していません。Windows95をお使いの場合は、Internet Explorer Ver.3以降をインストールしてください。

EMP NetworkManagerが動作可能なコンピュータ

OS※	Windows98SE/Me/NT4.0(SP6a以上)/2000 Professional/ XP Home Edition/XP Professional
CPU	PentiumMMX 166MHz以上(PentiumⅡ 233MHz以上を推奨)
メモリ容量	7MB以上(10MB以上を推奨)
ハードディスク空き容量	250KB以上
ディスプレイ	XGA▶▶(1024×768)以上の解像度、16ビットカラー以上の表示色

※ Macintoshには対応していません。

Projector Softwareのインストールとアンインストール

同梱の『Projector Software』CD-ROMから「EMP Monitor」、「EMP NetworkManager」を必要に応じて1つずつインストールできます。
Windows2000/NT4.0/XPを使っている場合は、管理者権限のユーザーに限りインストールが行えます。

インストール

操作

1 コンピュータの電源を入れてWindowsを起動し、同梱の『Projector Software』CD-ROMをセットします。
自動的にインストーラが起動してソフトウェア選択画面を表示します。

ポイント

セットアッププログラムが起動しない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]で[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスを開き、｢CD-ROM のドライブ名：¥SETUP.exe｣を指定して[OK]ボタンをクリックしてください。

2 ｢EPSON Projector Softwareのインストール.｣が選択されていることを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

ポイント

[戻る]ボタンをクリックすると、言語選択画面が表示されます。表示される言語を変更できます。

3 インストールするソフトウェアを選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

インストールが始まります。以降は、画面の指示に従って進めてください。

4 インストールが終了すると、手順 3 の画面に戻ります。別のソフトウェアをインストールする場合は、目的のソフトウェアを選択して[次へ]ボタンをクリックします。
インストールを終了する場合は[終了]ボタンをクリックします。

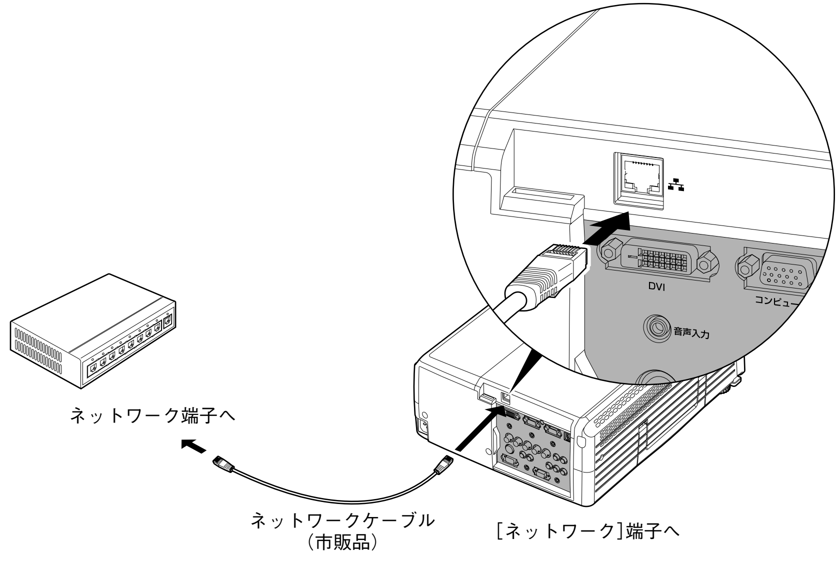
アンインストール

Projector Softwareをアンインストールするには、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]で不要になったソフトウェアを選択して[追加と削除](Windows XPの場合は[変更と削除])をクリックします。

ポイント
「EMP Monitor」と「EMP NetworkManager」を同時にアンインストールすることはできません。不要なソフトウェアを 1 つずつアンインストールしてください。

ネットワークケーブルの接続

本機には、市販の100baseTX、あるいは10baseTのネットワークケーブルを接続できます。



注意
誤動作防止のために、ネットワークケーブルはカテゴリ 5 のシールド付を使用してください。

プロジェクター側の接続設定

プロジェクターをネットワークに接続して使用するために、プロジェクターのIPアドレスなどを環境設定メニューから設定します。

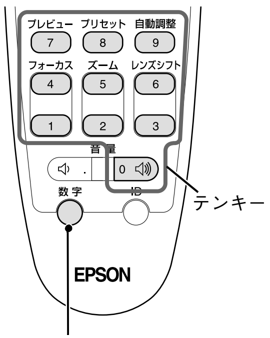
環境設定メニューでネットワーク接続設定をする

ここでの設定の操作は、同梱のリモコンで行います。

操作

1 リモコンの[メニュー]ボタンを押し、環境設定メニューから「高度な設定2」→「ネットワーク」を選びます。
操作の詳細は、「環境設定メニューの操作」をご覧ください。☛ p.96

2 数値を入力する際は、リモコンの[数字]ボタンを押します。
項目によっては数値の入力が必要な場合があります。[数字]ボタンを押すと、[数字]ボタンが点灯し右図のボタンがテンキーモードになり数字が入力できるようになります。
再度、[数字]ボタンを押すと、[数字]ボタンが消灯しテンキーモードが解除されます。



各項目の設定内容は次表のとおりです。

DHCP	DHCPを使用するかどうかを設定します。 ON:DHCPを使用する OFF:DHCPを使用しない
IPアドレス	「DHCP」で「OFF」を選択したときに入力できます。 本機に割り当てるIPアドレスを入力します。
サブネットマスク	「DHCP」で「OFF」を選択したときに入力できます。 本機のサブネットマスクを入力します。
ゲートウェイアドレス	「DHCP」で「OFF」を選択したときに入力できます。 本機のゲートウェイのIPアドレスを入力します。

SNMP	SNMPのトラップ通知先のIPアドレスを入力します。通知先として「トラップIPアドレス1」と「トラップIPアドレス2」の2つのIPアドレスを設定できます。「トラップIPアドレス1」で設定したIPアドレスに通知できなかった場合に、「トラップIPアドレス2」で設定したIPアドレスに通知されます。
MACアドレス	本機のMACアドレスを表示します。
プロジェクター名	(EMP-9300のみ) ネットワーク上で本機を識別するための個別の名前を表示しています。変更はEMP NetworkManagerで行います。 ☛p.105

3 設定が終了したら[メニュー]ボタンを押して、環境設定メニューを終了します。

ポイント
プロジェクターをネットワークに接続した以降は、EMP NetworkManagerを使って、プロジェクターのネットワーク設定を変更できます。
☛p.105

メール通知機能による異常の通知

EMP NetworkManagerを使ってメール通知機能の設定をしておくと、ネットワークで接続しているプロジェクターが異常/警告状態になると、設定したメールアドレスに対して自ら異常状態をメールで通知します。これにより、プロジェクターの異常を離れた場所にいても知ることができます。

ポイント
- 送信先(宛先)は最大3つまで記憶でき、一括して送ることができます。
- プロジェクターに致命的な異常が発生し、瞬時に起動停止状態になった場合などは、メール送信できないことがあります。
- プロジェクターの環境設定メニューで「高度な設定1」→「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、監視ができます。☛p.91

EMP NetworkManagerを起動する前に、次の点をご確認ください。

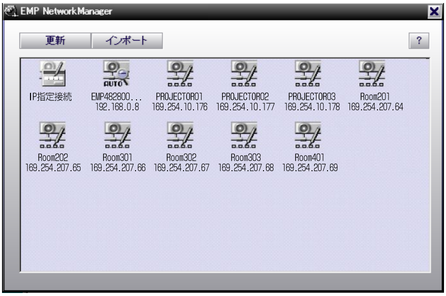
- 使用するコンピュータにEMP NetworkManagerをインストールしておきます。☛p.99
- コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続できる状態にしておきます。☛p.101

メール通知の設定

操作

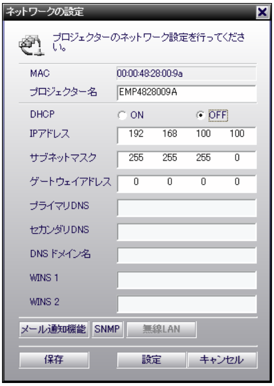
1 Windowsで[スタート]→[プログラム](または[すべてのプログラム])→[EPSON Projector]→[EMP NetworkManager]の順にクリックします。
EMP NetworkManagerが起動します。

2 メール通知の設定を行うプロジェクターアイコンをダブルクリックします。
目的のプロジェクター名が表示されていない場合は「手動で接続する」(☛p.108)をご覧ください。



パスワードが設定されている場合は、パスワードの入力画面が表示されます。

3 プロジェクターとの接続を開始し、次のプロジェクターのネットワーク設定画面が表示されます。

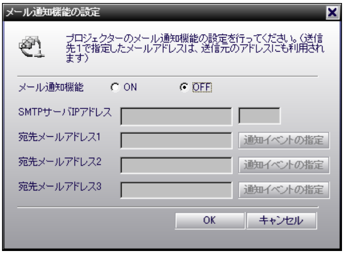


[DHCP]を[OFF]に設定しているときは、環境設定メニューの「高度な設定2」→「ネットワーク」での設定内容が表示されます。変更があれば変更します。
また、プロジェクターの環境設定メニューにはなかった「プロジェクター名」の設定が行えます。

プロジェクター名は、ネットワーク上で各プロジェクターを識別するための個別の名前です。
半角で15文字以内で入力してください。Unicode文字、数字と以下の記号が使えます。
！＠＃＄％＾＆’．－＿｛｝～

4 プロジェクターのネットワーク設定が終了したら、[メール通知機能]ボタンをクリックし、メールの通知先などを設定します。

5 次のメール通知機能の設定画面が表示されます。



各項目の設定内容は次表のとおりです。

メール通知機能	メール通知機能を使用するかどうかを設定します。 ON ：メール通知機能を使用する OFF：メール通知機能を使用しない 「ON」にすると以下の設定を行うことができます。
SMTPサーバIPアドレス	プロジェクターが使うSMTPサーバのIPアドレス▶▶を入力します。SMTPサーバのポート番号を変更する場合は、ポート番号を入力します。 SMTPサーバのポート番号の初期値は「25」です。1～65535までの有効な数値を入力できます。
宛先メールアドレス1/2/3	送信先コンピュータのメールアドレスを、最大３件登録できます。 送信先１は、送信元メールアドレスと兼用します。

通知イベントの指定	プロジェクターにどんな異常/警告が起きたときに、メールで通知するかを選択します。 以下の項目より複数選択できます。 ・内部異常　・ファン異常　・センサ異常 ・ランプ点灯失敗　・ランプ切れ　・ランプカバー開状態 ・内部高温異常　・高速冷却中 ・ランプ交換勧告　・ノーシグナル

6 メール通知設定が終了したら、[OK]ボタンをクリックします。

7 プロジェクターのネットワークの設定画面に戻りますので［設定］ボタンをクリックします。

8 設定の終了画面が表示されますので、[OK]ボタンをクリックします。

9 テストメール送信確認画面が表示されます。
設定した内容でテストメールを送付することができます。
テストメールを送信する場合は[はい]をクリックします。
送信しない場合は[いいえ]をクリックします。

送付されるメールの件名は「TEST MAIL」です。内容は次のとおりです。
1行目：プロジェクター名
2行目：プロジェクターに設定されているIPアドレス
3行目：TEST MAIL(件名)

10 設定が適用され手順2の画面に戻ります。EMP NetworkManagerを終了する場合は[×]ボタンをクリックします。

ポイント

セキュリティのためにパスワードを設定することをお勧めします。プロジェクターアイコン上で右クリックして「パスワード変更」を選択すると、パスワードの設定画面が表示されます。
はじめて設定する場合は、「旧パスワード」を入力する必要はありません。
半角16文字以内で入力します。最大14文字まで登録できます。

異常通知のメールが送られてきたら

メール通知先に設定したIPアドレスに、件名が「EPSON Projector」と記載されたメールが送信されてきたら、それがプロジェクターの異常を通知するメールです。

メールの本文には次のことが記載されています。

1行目：異常が生じたプロジェクターのプロジェクター名
2行目：異常が生じたプロジェクターに設定されているIPアドレス
3行目以降：異常の内容

異常の内容は、1行に1つずつ記載されています。メッセージの示す内容は次表のとおりです。

メッセージ※	原因	対処方法
Internal error	内部異常	「インジケータの見方」(☛p.117)
Fan related error	ファン異常	
Sensor error	センサ異常	
Lamp cover is open.	ランプカバー開状態	
Lamp timer failure	ランプ点灯失敗	
Lamp out	ランプ切れ	
Internal temperature error	内部高温異常(オーバーヒート)	
High-speed cooling in progress	高速冷却中	
Lamp replacement notification	ランプ交換勧告	
No-signal	ノーシグナル	プロジェクターに映像信号が入力されていません。接続状態や、接続している機器の電源が入っているかを確認してください。

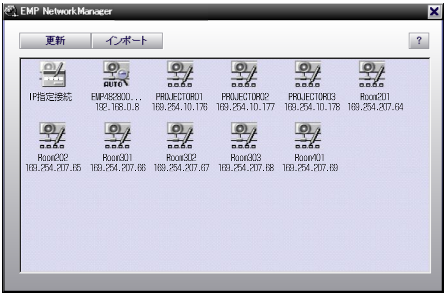
※メッセージの最初に(+)や(－)がつきます。
(+)：本機に異常が発生した場合
(－)：本機の異常が対処された場合

手動で接続する

メール通知の設定を行う画面で目的のプロジェクター名が表示されない場合は、以下の手順で手動接続をします。

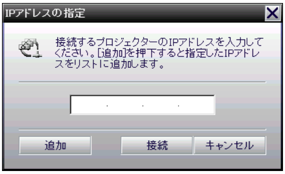
操作

1 EMP NetworkManagerを起動します。



2 プロジェクター一覧表示エリアにある[IP指定接続]ボタンをダブルクリックします。

3 次のIP指定接続画面が表示されます。



プロジェクターを手動で接続するために、次の設定を行います。

IPアドレス▶▶	接続するプロジェクターのIPアドレスを入力します。
[追加]ボタン	プロジェクター一覧表示エリアにIPアドレスを追加します。ボタンを押すと画面が閉じます。
[接続]ボタン	「IPアドレス」で指定されたプロジェクターに接続します。ボタンを押すと画面を閉じます。
[キャンセル]ボタン	IPアドレスの入力をキャンセルします。

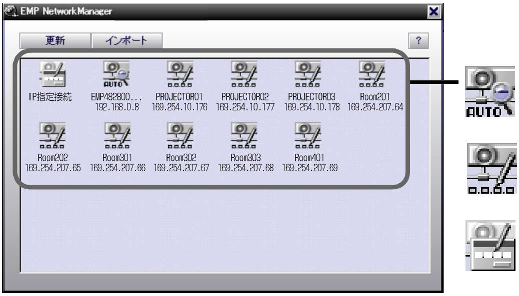
EMP Monitorの設定を共用する

EMP MonitorですでにEMP登録しているプロジェクターリストをEMP NetworkManagerでも共用できます。

操作

1 EMP NetworkManagerを起動します。

2 プロジェクター一覧表示エリアに登録されているプロジェクターが表示されます。



自動検索によって見つかったプロジェクターです。

EMP Monitorによって登録されているプロジェクターです。

IPアドレス▶▶指定登録で登録されているプロジェクターです。

3 [インポート]ボタンをクリックします。
ファイル選択画面が表示されます。
EMP Monitorの登録ファイルを選択し､[開く]ボタンをクリックします。プロジェクター一覧表示エリアにEMP Monitorで登録したプロジェクターが表示されます。

プロジェクターの監視・制御を集中管理する(EMP Monitor)

EMP Monitorを使うとネットワーク上の複数のプロジェクターの状況確認をしたり、電源のON/OFFや入力ソースの切り替えなどを一括して操作できます。各教室や会議室に配置されているプロジェクターをいっせいに起動したり、監視したりする場合に、1人のオペレーターが一括して行うことができます。

ポイント

- 最大64台のプロジェクターを一括して監視・制御できます。
- プロジェクターの環境設定メニューで「高度な設定1」→「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定しておくと、プロジェクターがスタンバイ状態(電源OFFの状態)でも、EMP Monitorを使った監視や制御ができます。

EMP Monitorを起動する前に、次の点をご確認ください。

- 使用するコンピュータにEMP Monitorをインストールしておきます。☛p.99
- コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続できる状態にしておきます。
- Windows2000/NT4.0/XP を使っている場合は、管理者権限のユーザーに限り起動できます。

操作

1 Windowsで、[スタート]→[プログラム](または[すべてのプログラム])→[EPSON Projector]→[EMP Monitor]の順にクリックします。
EMP Monitorが起動します。

2 EMP Monitorをインストール後初めて起動したときや、プロジェクターを追加登録したいときは、[プロジェクター登録]アイコンをクリックします。すでにプロジェクターを登録しており、追加登録しない場合は手順8に進みます。

3 [自動検出]ボタンをクリックします。

現在、ネットワーク接続しているプロジェクターの名前が一覧で表示されます。

ポイント

登録したいプロジェクターのIPアドレスがわかっている場合は、マニュアル登録機能が便利です。[マニュアル登録]ボタンをクリックすると、以下の「プロジェクターマニュアル登録画面」が表示されます。IPアドレスを入力して[確認]ボタンをクリックします。プロジェクター名が表示されたら、[追加]ボタンをクリックします。プロジェクター登録画面にプロジェクター名が追加されます。

4 状況確認や制御したいプロジェクター名を選択し、[追加] ボタンをクリックします。

選択したプロジェクター名

5 他に監視したいプロジェクターがある場合は、手順4を繰り返します。

6 監視したいプロジェクターをすべて追加したら、[閉じる] ボタンをクリックします。
プロジェクター登録画面に戻り、追加したプロジェクター名が表示されます。

：マニュアル登録機能で登録したプロジェクター

：自動検出機能で登録したプロジェクター

7 目的のプロジェクターをすべて登録したら、[閉じる]ボタンをクリックします。
監視が不要なプロジェクターは、そのプロジェクター名を選択し、[削除]ボタンをクリックします。

ポイント マニュアル登録機能で登録したプロジェクターのIPアドレス▸▸が変更になった場合は、プロジェクター名を選択して[編集]ボタンをクリックすると、IPアドレスの変更ができます。自動検出機能で登録したプロジェクターに対しては[編集]ボタンは使用できません。

8 登録したプロジェクターの状態がそれぞれ表示されます。
一度登録しておけば、以降はEMP Monitorを起動するたびに、登録されているプロジェクターの状態が自動的に表示されます。

表示内容は次表のとおりです。

状態：プロジェクターの状態を次のようにアイコンで示しています。

	電源ON異常なし
	電源OFF異常なし
	電源ON異常あり
	電源OFF異常あり
	ネットワークエラー(ネットワーク接続されていない、電源ケーブルが接続されていないなど)

名前：プロジェクター名が表示されています。

映像ソース：選択している入力端子が表示されます。

	コンピュータ1
	コンピュータ2
	BNC
	S-ビデオ
	ビデオ
	DVI

エラー情報：プロジェクターに異常が生じた場合、その状態を以下のアイコンで示します。

	ランプ交換勧告	新しいランプと交換します。 ☛ p.134
	高速冷却中	「インジケータの見方」(☛ p.117)を参照して対処してください。
	ランプ異常	
	内部高温異常	
	内部異常	
	ファン異常	
	温度センサ異常	

9 登録したプロジェクターに対して、一括して電源のON/OFFや入力信号の切り替えができます。制御の対象となるプロジェクターを選択し、目的の操作のボタンをクリックします。
登録したプロジェクターすべてを選択したい場合は、[全て選択]ボタンをクリックします。また、Windowsでのファイルの選択と同様、範囲の先頭の行をクリックし、キーボードの[Shift]キーを押したまま最後の行でクリックすると、その間の行がすべて選択されます。[Ctrl]キーを押したままクリックすると、選択と解除を交互に指定できます。

ボタンと動作内容は次表のとおりです。

[詳細表示]ボタン	選択したプロジェクターの詳細情報を表示します。
電源ON	プロジェクターの電源をONにします。
電源OFF	プロジェクターの電源をOFFにします。
コンピュータ1	[コンピュータ1]端子からの映像に切り替えます。
コンピュータ2	[コンピュータ2]端子からの映像に切り替えます。
BNC	[BNC]端子からの映像に切り替えます。
S-ビデオ	[S-ビデオ]端子からの映像に切り替えます。
ビデオ	[ビデオ]端子からの映像に切り替えます。
DVI	[DVI]端子からの映像に切り替えます。

10 終了するには、[ファイル]→[終了]の順でクリックするか、右上の[×]ボタンをクリックします。

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルと、その対処法などについて説明しています。

ヘルプの見方 116

故障かなと思ったら 117

- **インジケータの見方 117**
- **インジケータを見てもわからないとき 120**
  - 映像に関するトラブル 121
  - ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御に関するトラブル 126
  - その他のトラブル 127

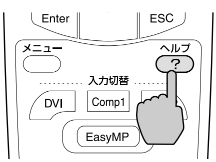
ヘルプの見方

トラブル発生時の解決方法を投写画面に表示できます。質問に答える形式で階層を進んでいきます。

操作

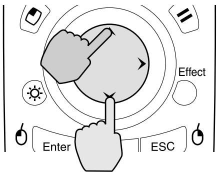
1 リモコン、または本体の[ヘルプ]ボタンを押します。
ヘルプメニューが表示されます。

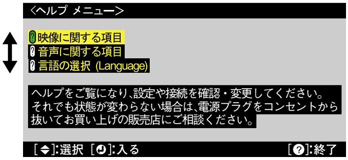
リモコン



2 項目を選択します。
リモコンの場合は、[◌]ボタンを上下に傾けて項目を選択します。
本体の場合は、[同期＋][同期－]ボタンで項目を選択します。

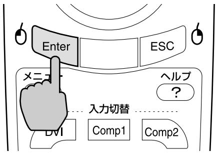
リモコン





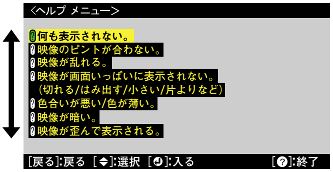
3 項目を決定します。
リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して項目を決定します。

リモコン



ポイント
リモコンの[ESC]ボタン、または本体の[戻る]ボタンを押すと1つ前の選択画面に戻ります。

4 手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。
[ヘルプ]ボタンを押すと、ヘルプメニューは解除されます。



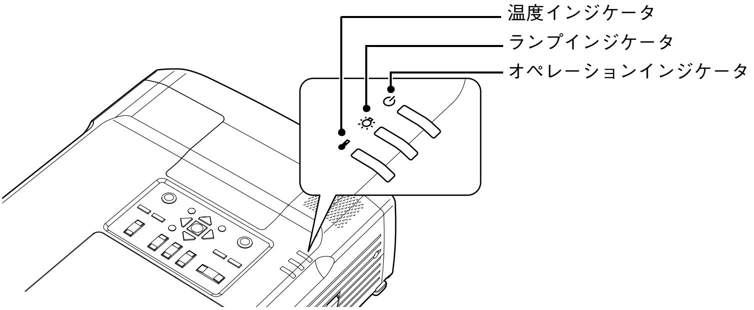
ポイント
ヘルプ機能を使ってもわからないときは、「故障かなと思ったら」(☛p.117)をご覧ください。

故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧になり下記の「インジケータの見方」で本機の状態をご確認ください。
インジケータをご覧になってもわからないときは、「インジケータを見てもわからないとき」を参照してください。☛ p. 120

インジケータの見方

本機には、次の3種類のインジケータがあり本機の状態を知らせています。

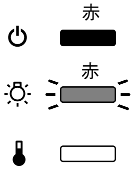
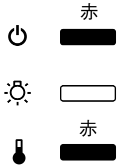
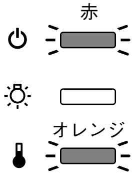


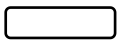
インジケータの状態とその対処方法については、次表を参照してください。
インジケータがすべて消灯している場合は、電源ケーブルが正しく接続されていないか、または電気が供給されていません。

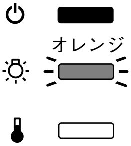
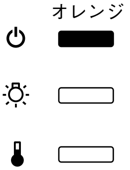
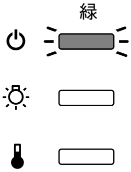
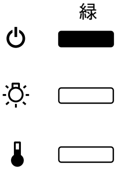
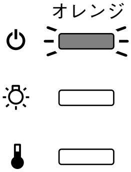
■：点灯　▭：点滅　□：消灯

状態	原　因	処置または状態
⏻ 赤 点灯 ☼ 赤 点滅 🌡 赤 点滅	内部異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛ 裏表紙
⏻ 赤 点灯 ☼ 消灯 🌡 赤 点滅	ファン異常/ センサ異常	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ☛ 裏表紙

：点灯　：点滅　：消灯

状態	原　因	処置または状態
	ランプ異常/ ランプ点灯失敗/ ランプ切れ	ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認します。☛「ランプの交換方法」p.134 割れていなければ再セットし、電源を入れます。それでも直らないときは、新しいランプと交換してください。 以上の処置を行っても直らないときはご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。☛ 裏表紙
		ランプが割れている場合 お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにランプ交換を依頼してください。 (交換しないと映像を投写することはできません。)☛ 裏表紙
		ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプおよびランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、ランプが点灯しません。
	内部高温異常 (オーバーヒート)	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。 約5分間は、そのままの状態で待ちます。 EMP-9300の場合は、約5分後、スタンバイ状態になりますので、次の2点を確認します。確認後、[電源]ボタンを押して、電源を入れ直します。 EMP-8300の場合は、約5分後、電源プラグを抜いて、次の2点を確認します。確認後、電源プラグを差し直し、[電源]ボタンを押して、電源を入れ直します。 ● エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。☛ p.15 ● エアーフィルタが目詰りしている場合は、掃除または交換をしてください。☛ p.131 それでも繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用をやめ、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。☛ 裏表紙
	高速冷却中	(異常ではありません。ただし、さらに高温になると投写を自動的に停止します。) ● エアーフィルタ・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。☛ p.15 ● エアーフィルタが目詰りしている場合は、掃除または交換をしてください。☛ p.131

：点灯 ：点滅 ：消灯

状態	原　因	処置または状態
	ランプ交換勧告	新しいランプに交換してください。☛ p. 134 交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。すみやかに新しいランプと交換してください。 ※ ⏻ インジケータは、そのときのプロジェクターの状態により異なります。
	スタンバイ状態	(異常ではありません。) リモコン、または本体の[電源]ボタンを押すと投写を開始します。 電源を切って終了する場合は、この状態でコンセントから電源プラグを抜いてください。
	ウォームアップ中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。ウォームアップの時間は40秒です。ウォームアップ終了後、緑色の点灯に変わります。
	投写中	(異常ではありません。)
	クールダウン中	(異常ではありません。) そのまましばらくお待ちください。 ● クールダウン▶▶の時間は約40秒です。 ● クールダウン中はリモコン、または本体の[電源]ボタンは操作できません。クールダウンが終了し、オレンジ色の点灯に変わってから、もう一度操作してください。

- インジケータは異常を示してないのに、投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご覧ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときは、販売店またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

インジケータを見てもわからないとき

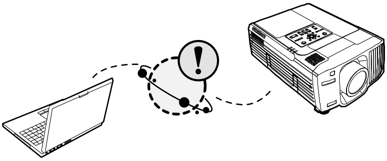
まず、下記をご覧になりどのトラブルに該当するかを確認し、参照先で詳細な内容をご覧ください。

映像に関するトラブル

- 映像が表示されない ☛p.121
  投写を開始しない・真っ黒の映像になる・青い映像になるなど...
- 動画が表示されない ☛p.121
  コンピュータで再生する動画が黒くなり映像が投写されない。
- 自動的に投写が消える ☛p.122
- 「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される ☛p.122
- 「映像信号が入力されていません。」と表示される ☛p.122
- ぼやける、ピントが合わない ☛p.123
- ノイズが入る、乱れる ☛p.123
  ノイズが入る・乱れる・市松模様のようにモノクロのチェックになるなど...
- 切れる(大きい)、小さい ☛p.124
  映像の一部分しか投写されないなど...
- 色合いが違う ☛p.125
  全体が赤紫がかっている・緑色がかっている・モノクロになる・色がくすむなど...
  (コンピュータのモニタや液晶画面とは色の再現性が異なるため、プロジェクターでの投写映像とモニタでの表示の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。)
- 暗い、明るすぎる ☛p.125
- 外部モニターに表示されない ☛p.126

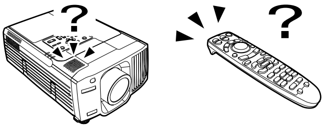
ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御に関するトラブル

- プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない ☛p.126
- EMP Monitorでプロジェクターを制御・監視できない ☛p.126



その他のトラブル

- 音が出ない・小さすぎる ☛p.127
- リモコンで操作できない ☛p.127
- 電源を切ってもファンが止まらない ☛p.128



映像に関するトラブル

■ 映像が表示されない

確認	対処法
[電源]ボタンを押しましたか？	リモコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れます。 リモコンは[リモコン]スイッチをONにしないと操作できません。☛p.45
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコン、または本体の[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛p.68
「ノーシグナル表示」を「OFF」にしていませんか？	環境設定メニューの「ノーシグナル表示」を「OFF」に設定しているときは、「黒」または「青」に設定して、メッセージを表示させてください。メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。 ☛「設定」→「ノーシグナル表示」 p.88
環境設定メニューの設定で間違っているものはありませんか？	全初期化してみてください。☛p.95
入力映像そのものが真っ黒になっていませんか？ コンピュータ投写時のみ	スクリーンセーバーなどで入力映像が真っ黒になっていることがあります。
映像の信号形式の設定は合っていますか？ ビデオ機器投写時のみ	コンポジットビデオ▸▸、S-ビデオ▸▸を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p.85

■ 動画が表示されない

確認	対処法
コンピュータの映像信号が外部と液晶画面の両方に出力されていませんか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号を外部のみの出力に切り替えます。 ☛コンピュータに添付の『取扱説明書』、あるいはお使いのコンピュータのメーカーにお問い合わせください。

■ 自動的に投写が消える

確認	対処法
「スリープモード」を「ON」にしていませんか？	環境設定メニューの「スリープモード」を「ON」に設定した場合、映像信号が入らない状態で約30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このとき ⏻ インジケータはオレンジ色に点灯しています。リモコン、または本体の[電源]ボタンを押して電源を入れます。「スリープモード」を働かせないときは設定を「OFF」にしてください。 ☛「設定」→「スリープモード」p.89

■「この信号は本プロジェクターでは受けられません。」と表示される

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？	[BNC]端子からの信号を投写している場合は、環境設定メニューの「BNC入力」で接続している機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ☛「設定」→「BNC入力」p.89 コンポジットビデオ▶▶、S-ビデオ▶▶を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」p.85
映像信号の周波数や解像度が対応するモードですか？ コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「周波数」で入力中の映像信号を確認してください。☛「情報」→「周波数」p.94 コンピュータの解像度・周波数を確認してください。 ☛ コンピュータの『取扱説明書』など

■「映像信号が入力されていません。」と表示される

確認	対処法
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.17～p.30
接続した映像入力端子を正しく選択していますか？	リモコン、または本体の[入力切替]ボタンを押して映像を切り替えます。☛ p.46
接続されたコンピュータやビデオ機器の電源は入っていますか？	それぞれの機器の電源を入れます。☛ p.45

確認	対処法
プロジェクターに映像信号が出力されていますか？ ノートや液晶一体型タイプのコンピュータ投写時のみ	映像信号がコンピュータの液晶モニタや付属モニタにだけ出力されている場合は、外部にも出力するように切り替えてください。外部に映像信号を出力すると、液晶モニタや付属モニタに映像が出せないモデルもあります。☛ コンピュータの『取扱説明書』「外部出力のしかた」や「外付けモニタへ出力のしかた」など 本機やコンピュータの電源を入れた状態で接続を行うと、コンピュータの映像信号を外部に切り替える[Fn]（ファンクションキー）が使えないことがあります。本機およびコンピュータの電源を入れ直してください。☛ p.45,50

■ ぼやける、ピントが合わない

確認	対処法
ピントは正しく調整されていますか？	リモコン、または本体の[フォーカス]ボタンを押してピント調整を行います。☛ p.53
レンズカバーが付いたままではありませんか？	レンズカバーを外します。☛ p.44
台形補正の調整値を大きくしていませんか？	レンズシフト機能を使って投写位置をスクリーンに合わせるか、投写角度を小さくして台形補正の調整値を小さくしてください。☛ p.54,56
レンズが結露していませんか？	寒い部屋から急に暖かい部屋に持ち込んだり、急激に暖房したときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがあります。ご使用になる1時間くらい前に使用する部屋に設置するようにします。結露してしまったときは、電源を切ってしばらくそのまま放置してください。

■ ノイズが入る、乱れる

確認	対処法
映像の信号形式の設定は合っていますか？	[BNC]端子からの信号を投写している場合は、環境設定メニューの「BNC入力」で接続している機器の信号に合った信号方式に設定してください。 ☛「設定」→「BNC入力」 p.89 コンポジットビデオ▸▸、S-ビデオ▸▸を接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」 p.85
ケーブル類は正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛ p.17～p.30

確認	対処法
ケーブルを延長していませんか？	ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。同梱のケーブルを使用して確認してください。
解像度の選択は正しいですか？ コンピュータ投写時のみ	本機に対応する信号にコンピュータを合わせてください。 ☛「対応解像度一覧」p.152 ☛ コンピュータの『取扱説明書』
「同期▸▸・トラッキング▸▸」は正しく調整されていますか？ コンピュータ投写時のみ	リモコンの[自動調整]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、自動調整を行います。自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「同期」、「トラッキング」で調整することもできます。☛p.62,63

■ 切れる（大きい）、小さい

確認	対処法
リアル表示になっていませんか？ アスペクト比の設定は正しいですか？	リモコン、または本体の[リサイズ]ボタンを押してください。☛p.77
Eズーム機能で拡大されたままになっていませんか？	リモコンの[ESC]ボタンを押してEズーム機能を解除します。☛p.70
「表示位置」は正しく調整されていますか？	コンピュータのアナログRGB映像投写時は、リモコンの[自動調整]ボタンまたは本体の[自動調整/決定]ボタンを押して、自動調整を行います。 自動調整を行っても調整しきれない場合は、環境設定メニューの「表示位置」で調整することもできます。 コンピュータのアナログRGB映像以外の信号を投写時は、環境設定メニューの「表示位置」で調整します。 ☛「映像」→「表示位置」p.83,85
デュアルディスプレイの設定をしていませんか？ コンピュータ投写時のみ	接続しているコンピュータのコントロールパネルの「画面のプロパティ」で、デュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像が半分くらいしか表示できません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。 ☛ コンピュータのビデオドライバの『取扱説明書』
「入力解像度」は正しく設定されていますか？ コンピュータ投写時のみ	環境設定メニューの「入力解像度」の設定をコンピュータと合わせてください。 ☛「映像」→「入力解像度」p.83 ☛ コンピュータの『取扱説明書』など

■ 色合いが違う

確認	対処法
入力信号の設定が接続機器の信号と合っていますか？	コンピュータやRGBビデオを[BNC]端子に接続しているのに、環境設定メニューの「BNC入力」で「YCbCr」や「YPbPr」に設定していると、映像が赤紫色がかって表示されます。 コンポーネントビデオ機器を[BNC]端子に接続しているのに、環境設定メニューの「BNC入力」で「Analog-RGB」に設定していると映像が緑色がかって表示されます。 接続機器の信号に合った信号方式を設定してください。☛「設定」→「BNC入力」p.89 コンポジットビデオ、S-ビデオを接続している場合は、環境設定メニューの「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。 ☛「映像」→「ビデオ信号方式」p.85
映像の明るさは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」を調整してください。 ☛「映像」→「明るさ」p.83,85
ケーブル類が正しく接続されていますか？	投写に必要なケーブルが確実に接続されているか確認します。☛p.17～p.30
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。☛「映像」→「コントラスト」p.83,85
適切なカラー調整に設定されていますか？	環境設定メニューの「カラー調整」を調整してください。☛「高度な設定1」→「カラー調整」p.91
色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？ ビデオ機器投写時のみ	環境設定メニューの「色の濃さ」、「色合い」を調整してください。 ☛「映像」→「色の濃さ」、「色合い」p.85

■ 暗い･明るすぎる

確認	対処法
映像の明るさや輝度は正しく設定されていますか？	環境設定メニューの「明るさ」や「輝度切替」を設定してください。 ☛「映像」→「明るさ」p.83,85 ☛「高度な設定2」→「輝度切替」p.92
コントラストは正しく調整されていますか？	環境設定メニューの「コントラスト」を調整してください。☛「映像」→「コントラスト」p.83,85
ランプの寿命ではありませんか？	ランプの寿命が近づくと映像が暗くなったり、色合いが悪くなります。新しいランプと交換してください。 ☛p.134

■ 外部モニタに表示されない

確認	対処法
液晶モニタや、マルチスキャンに対応していないモニタに接続していませんか？	液晶モニタ等は接続しても表示できないことがあります。この場合、マルチスキャン対応のCRTモニタを接続すると表示できるようになることがあります。スタンバイモニタアウト時も同様です。

ネットワークを使ったプロジェクターの監視・制御に関するトラブル

■ プロジェクターに異常が起きてもメールが送られてこない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを正しく接続します。 ☛ p.101
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	環境設定メニューの「ネットワーク」の設定を確認してください。 ☛「高度な設定2」→「ネットワーク」 p.102
送信先のメールアドレスは正しく設定されていますか？	テストメールを送って、メールが届くか確認してください。☛ p.106
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもメール通知機能を使うためには、環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定してください。 ☛「高度な設定1」→「待機モード」 p.91
致命的な異常が発生し、プロジェクターが瞬時に起動停止状態になっていませんか。	瞬時に起動停止するとメール送信できません。 本機を確認しても復帰しない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。☛ 裏表紙
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

■ EMP Monitorでプロジェクターを制御・監視できない

確認	対処法
ネットワークに正しく接続されていますか？	ネットワークケーブルを正しく接続します。 ☛ p.101
ネットワークに接続するための設定は正しいですか？	環境設定メニューの「ネットワーク」の設定を確認してください。 ☛「高度な設定2」→「ネットワーク」 p.102
コンピュータにEMP Monitorが正しくインストールされていますか？	アンインストールしてから、再度インストールしてください。☛ p.99,101

確認	対処法
制御･監視したいすべてのプロジェクターがプロジェクターリストに登録されていますか？	プロジェクターリストに登録してください。 ☛ p.110
「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定していますか？	本機がスタンバイ状態のときもEMP Monitorを使うためには、環境設定メニューの「待機モード」を「ネットワーク有効」に設定してください。 ☛「高度な設定1」→「待機モード」p.91
プロジェクターに電源が供給されていますか？	プロジェクターが設置されている地域が停電になっていたり、プロジェクターの電源を取っているコンセントのブレーカーが切れていないか確認してください。

その他のトラブル

■ 音が出ない･小さすぎる

確認	対処法
音声入力は正しく接続されていますか？	正しい[音声入力]端子にケーブルを接続しているか確認してください。☛ p.31
音量調整が最小になっていませんか？	聞こえる音量に調整してください。 ☛「音声」→「音量」p.65
[音声出力]端子にオーディオケーブルが接続されたままではありませんか？	[音声出力]端子にケーブルのコネクタを差し込むと、内蔵スピーカから音声が出力されなくなります。 外部スピーカを使わないときは、オーディオケーブルを[音声出力]端子から取り外してください。
A/Vミュートの状態になっていませんか？	リモコン、または本体の[A/Vミュート]ボタンを押してA/Vミュートを解除します。☛ p.68

■ リモコンで操作できない

確認	対処法
[リモコン]スイッチが「ON」になっていますか？	「ON」に切り替えてください。☛ p.45
リモコンの発光部をプロジェクターのリモコン受光部に向けて操作していますか？	リモコン受光部に向かって操作してください。 操作可能範囲は、左右約30°、上下約15°です。 ☛ p.12
プロジェクターから離れすぎていませんか？	操作可能距離は、約10 mです。☛ p.12 操作可能距離より離れて操作する場合や確実にリモコンで操作したい場合は、オプションのリモコンケーブルセットをお使いください。☛ p.141

確認	対処法
リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？	強い光などがリモコン受光部にあたる場所を避けて設置してください。
乾電池が消耗していたり、電池の向きを間違えてセットしていませんか？	新しい乾電池を正しい向きにセットします。☛ p.10
リモコンのID番号とプロジェクターのID番号が一致していますか？	リモコンIDを「0」以外に設定しているときは、プロジェクターのID番号と一致していないとリモコンで操作できません。☛ p.80
リモコン、または本機の[リモート]端子にリモコンケーブルが接続されたままになっていませんか？	[リモート]端子にケーブルのコネクタを差し込むと本体のリモコン受光部、またはリモコン発光部が働かなくなります。リモコンケーブルセットを使用しないときは、リモコンケーブルをリモコン、本機のどちらからも取り外してください。

■ 電源を切ってもファンが止まらない

確認	対処法
環境設定メニューの「待機モード」で「ネットワーク有効」に設定していませんか？	「ネットワーク有効」になっている場合はクールダウンが終了してもファンは回り続けます。 ☛「高度な設定1」→「待機モード」 p.91

付　録

ここでは、メンテナンス方法など、本機を今後も長くご使用いただくための補足的な知識について説明しています。

お手入れの方法 130

- **各部の掃除 130**
  - 本体の掃除 130
  - レンズの掃除 130
  - エアーフィルタ・吸気口の掃除 131
  - ランプフィルタの掃除 132
- **消耗品の交換 133**
  - ランプの交換時期 133
  - ランプの交換方法 134
  - ランプ点灯時間の初期化 136
  - エアーフィルタの交換方法 137

ユーザーロゴの登録 139

オプション・消耗品一覧 141

- オプション品 141
- 消耗品 142

用語解説 143

『EPSON Projector Software for Multi Screen』CD-ROMについて(EMP-9300のみ) 146

- **動作可能なコンピュータ 146**
  - EMP Multi Screen Adjustmentが動作可能なコンピュータ 146
- **インストール 146**
- **『EMP Multi Screen Adjustment 活用ガイド』を読む 147**
- **アンインストール 148**

ESC/VP21コマンド一覧 149

- **コマンドリスト 149**
- **通信プロトコル 149**
- **ケーブル配線 150**
  - シリアル接続 150
  - USB接続 150
- **USB通信の準備 151**

対応解像度一覧 152

- コンピュータ/RGBビデオ 152
- コンポーネントビデオ 153
- コンポジットビデオ/S-ビデオ 153

仕様一覧 154

外形寸法図 158

索引 159

各部の名称と働き 162

- **前面/上面/側面 162**
- **底面 163**
- **背面 163**
- **本体操作パネル 164**
- **リモコン 165**
- **入出力端子 166**

お手入れの方法

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などのメンテナンスについて説明します。

各部の掃除

本体が汚れたり、映像の映りが悪くなったら掃除をしてください。

注意　掃除を行う前に、別冊の『安全にお使いいただくために/サポートとサービスのご案内』を必ずお読みください。

本体の掃除

本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。

注意　ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

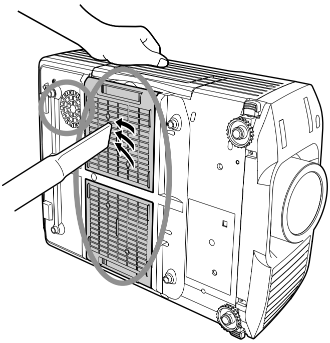
レンズの汚れは、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどで軽くふき取ってください。

注意　レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

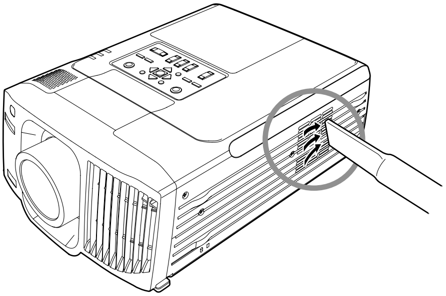
エアーフィルタ・吸気口の掃除

エアーフィルタや吸気口にホコリがたまっていたり､｢内部温度が上昇しています。エアーフィルタの掃除や交換を行い､室温を下げてください。｣とメッセージが表示された場合は､エアーフィルタや吸気口の掃除を行ってください。
エアーフィルタや吸気口にホコリがたまると空気の通りが悪くなり､内部の温度が上昇して故障の原因となります。

- 底面のエアーフィルタ・吸気口
  本機を立てたまま掃除機で吸い取ります。



- 側面の吸気口
  本機を水平にしたまま掃除機で吸い取ります。



ポイント

- エアーフィルタが破れたり､掃除を行ってもメッセージが表示される場合は交換時期です。新しいエアーフィルタに交換してください。
  ☛「エアーフィルタの交換方法」p.137
- 交換用ランプにも､交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に､一緒に交換してください。

ランプフィルタの掃除

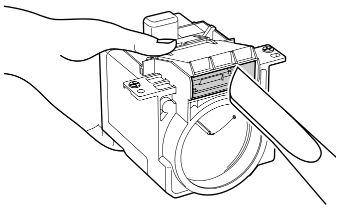
ランプのフィルタにホコリがたまり、目詰まりを起こしているとプロジェクター内部やランプの温度が上昇して故障やランプ･光学部品の早期劣化の原因となります。約3ヶ月に一度を目安に掃除をしてください。ホコリの多い環境でお使いの場合は、より短い周期で掃除を行ってください。
プロジェクターを使用中に、「内部温度が上昇しています。エアーフィルタの掃除や交換を行い、室温を下げてください。」とメッセージが表示されたときは、エアーフィルタに加えてランプフィルタも掃除してください。

操作

1 ランプを取り出します。

☛p.134 手順***1***～***4***

2 シャッター部分を開けたまま掃除機で吸い取ります。



3 ランプを戻します。

☛p.135 手順***5***～***7***

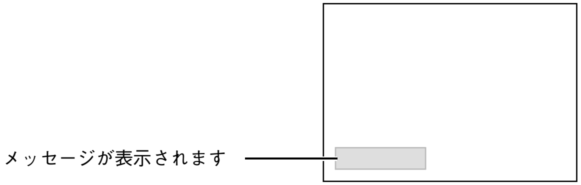
消耗品の交換

ここでは、ランプ、エアーフィルタの交換方法について説明します。

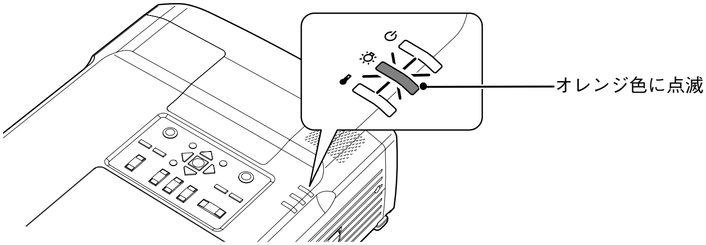
ランプの交換時期

次の場合は、ランプを交換してください。

- 投写を開始したときに「投写ランプを交換してください。」とメッセージが表示されたとき



- ☼インジケータがオレンジ色に点滅したとき



- 初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

ポイント

- 交換メッセージは、初期の明るさや画質を維持するため、次の時間で表示されます。
  EMP-9300の場合：約6900時間
  EMP-8300の場合：
  ・高輝度で使い続けた場合：約1900時間
  ・低輝度で使い続けた場合：約2900時間
  ☛「輝度切替」p.92
  交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 個々のランプの特性や使用条件などで、メッセージが表示される前に暗くなったり、点灯しなくなるものがあります。交換用ランプをあらかじめ準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはお近くのエプソン商品取扱店および、エプソン OA サプライ株式会社フリーダイヤル0120-251-528でお買い求めください。

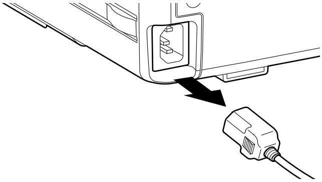
ランプの交換方法

⚠警告　ランプが点灯しなくなり交換する場合は、ランプが割れている可能性があります。
本機を天吊りで使用していてランプ交換を行う場合は、ランプが割れていることを想定し、ランプカバーの真下に立たずに、横から作業してください。ランプカバーはそっと取り外してください。

⚠注意　ランプが十分冷えてからランプカバーを外してください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。ランプが十分冷えるには、クールダウン▶▶後、約1時間必要です。

操作

1 本機の電源を切り、クールダウンが終了してから、電源ケーブルを外します。
クールダウンの時間は、約30秒です。

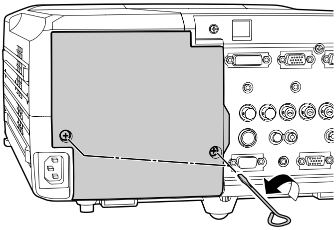


ポイント

天吊りにしてケーブルカバーを取り付けている場合は、カバーを外してから作業します。☛p.36

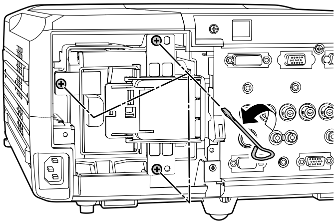
2 ランプが十分冷えてから、本体背面のランプカバーを外します。

ランプが十分冷えるには、クールダウン後約1時間必要です。
ランプカバー固定ねじ(2個)を、交換用ランプに同梱のドライバ、または＋のドライバで外します。
ねじが外れたら、ランプカバーが落ちないように気を付けて外します。



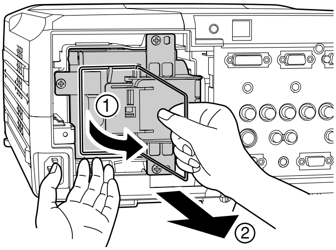
3 ランプ固定ねじ(3本)をゆるめます。

ランプを本体に固定しているランプ固定ねじ3本を、交換用ランプに同梱のドライバ、または＋のドライバでゆるめます。



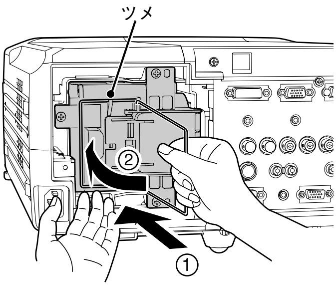
4 古いランプを取り外します。

右図のようにハンドルを起こして、片方の手で落ちないように支えながら、まっすぐランプを引き抜きます。
ランプが割れている場合は、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにランプ交換を依頼してください。☛ 裏表紙

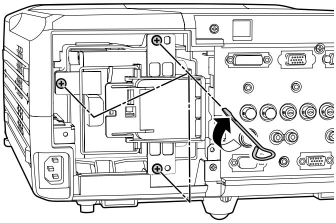


5 新しいランプを取り付けます。

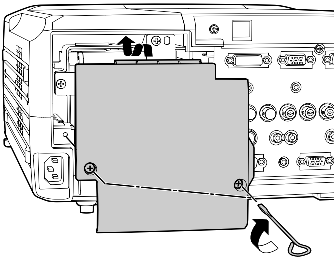
ランプを収納部の形に合う向きにして、カチッと音がするまでしっかり押し込み、ハンドルを倒し、ツメにかけて固定します。



6 ランプ固定ねじ(3本)を締めます。



7 ランプカバーを取り付けます。
最初にランプカバーの上面側のツメを本体に差し込み、ランプカバーを取り付けたら、ランプカバー固定ねじ(2本)を締めます。



ポイント

- ランプは確実に取り付けてください。本機は安全のため、ランプカバーを外すと自動的にランプが消灯します。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプが点灯しません。
- 交換用ランプには交換用エアーフィルタも同梱されています。ランプ交換時に合わせて交換してください。☛p.137
- 使用済みのランプは、地域や会社の蛍光管の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ランプ点灯時間の初期化

本機にはランプ点灯時間のカウンタが内蔵されており、カウンタの累積が一定時間に達すると、ランプ交換の表示を行います。したがって、ランプ交換を実施した後は、環境設定メニューでランプ点灯時間のカウンタを初期化する必要があります。

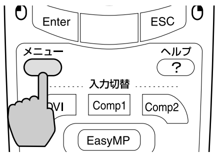
ポイント

ランプ点灯時間の初期化は、ランプを交換したとき以外は行わないでください。ランプの交換時期が正しく表示されなくなります。

操作

1 電源ケーブルを接続し、本機の電源を入れ、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押します。
環境設定メニューが表示されます。

リモコン



2 「情報」→「ランプ点灯時間初期化」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。

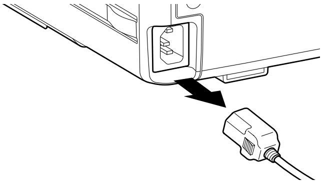
3 「はい」を選択して、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。
ランプ点灯時間が初期化されます。

エアーフィルタの交換方法

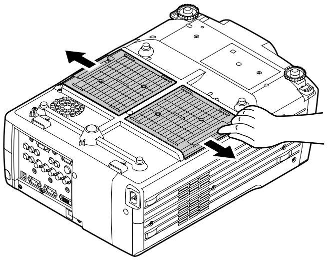
エアーフィルタが破れたり、掃除を行ってもメッセージが表示される場合は交換時期です。
本機を天吊り設置している状態でもエアーフィルタの交換ができます。

操作

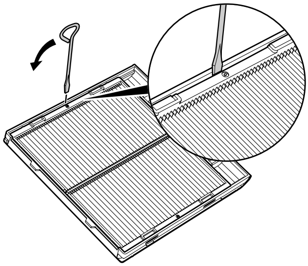
1 本機の電源を切り、クールダウン▶▶が終了してから電源ケーブルを外します。
クールダウンの時間は、約30秒間です。



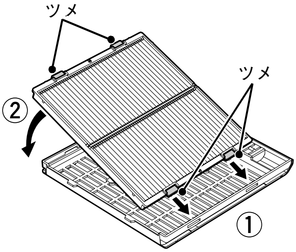
2 エアーフィルタカバーのくぼみに指をかけて外側にまっすぐスライドさせて、エアーフィルタカバーを引き抜きます。
エアーフィルタは2枚あります。



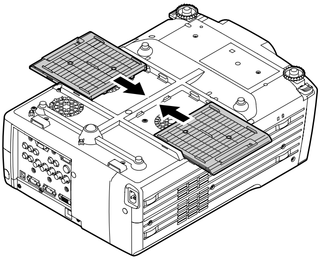
3 エアーフィルタカバー内部にある古いエアーフィルタを取り外します。
右図のように同梱のドライバ、または一のドライバをエアーフィルタとエアーフィルタカバーの間に差し込み、外側に倒して外します。



4 エアーフィルタカバーに新しいエアーフィルタを取り付けます。
エアーフィルタの一方のツメをエアーフィルタカバーに差し込み、もう一方をカチッと音がするまで押し込みます。



5 エアーフィルタを 2 枚とも交換したら、エアーフィルタカバーを取り付けます。
外側からエアーフィルタをスライドさせて差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。



ポイント 使用済みのエアーフィルタは、地域や会社の廃棄ルールに従って廃棄してください。

ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

ポイント
ユーザーロゴの登録を実行すると、現在登録されているユーザーロゴは消去されます。

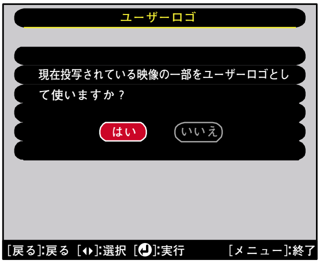
操作

1 ユーザーロゴとして登録したい映像を投写し、リモコンまたは本体の[メニュー]ボタンを押します。

2 「ユーザーロゴ」メニューを選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。

ポイント
- EMP-9300の場合、パスワードプロテクトで「ユーザーロゴ保護」を「ON」に設定している場合はメッセージが表示され、登録することができません。
  パスワードプロテクトを解除してから操作してください。
  ☛p. 40
- 台形補正やEズームを行っている場合、「ユーザーロゴ」を選択すると、台形補正やEズームは解除されます。

3 サブメニューで「はい」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。

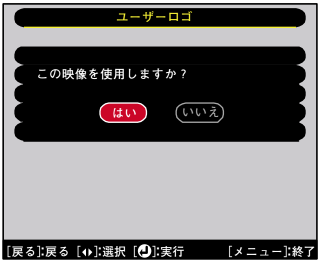


ポイント
リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押すと、映像信号の解像度のまま表示されるため、本機のパネル画素数以外の解像度の映像を投写している場合とビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変わります。

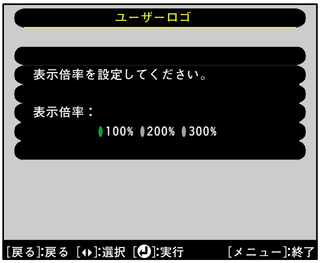
4 登録する映像と選択枠が表示されるので、使う位置を選択します。
リモコンの[ ]ボタンを傾ける、または本体の[同期+][同期−][トラッキング+][トラッキング−]ボタンを押して、ユーザーロゴとして使いたい部分を選択した後、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。

ポイント 登録できるサイズは480×360ドットです。

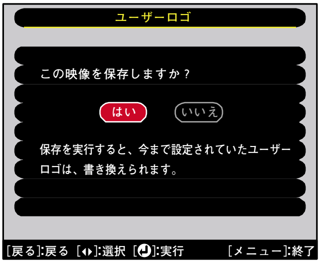
5 使用確認画面で「はい」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。



6 表示倍率設定画面で倍率を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。



7 保存確認画面で「はい」を選択し、リモコンの[Enter]ボタン、または本体の[自動調整/決定]ボタンを押します。
映像が保存されます。保存が終了すると「ユーザーロゴの設定が終了しました。」とメッセージが表示されます。



ポイント
- 保存にはしばらく時間がかかります(約15秒)。保存している間は、本機や接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- ユーザーロゴは一度登録すると、初期設定状態には戻せません。

オプション・消耗品一覧

下記のオプション品・消耗品を用意しています(お買い上げいただいたプロジェクターによって異なります)。用途に合わせてお買い求めください。これらのオプション品類は2004年8月現在のものです。予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

オプション品

ハードトラベルケース　ELPKS50
ハンドキャリングするときに使います。

40型ウィンドウスクリーン※1　ELPHS01
60型ウィンドウスクリーン　ELPHS03
透過タイプスクリーンです。(アスペクト比4：3)

60型スクリーン　ELPSC07
80型スクリーン　ELPSC08
100型スクリーン　ELPSC10
携帯型ロールスクリーンです。(アスペクト比4：3)

携帯スクリーン(50型)　ELPSC06
持ち運びに便利なコンパクトスクリーンです。(アスペクト比4：3)

コンピュータケーブル　ELPKC02
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用1.8m)
製品同梱のコンピュータケーブルと同等品です。

コンピュータケーブル　ELPKC09
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 3m)
コンピュータケーブル　ELPKC10
(ミニD-Sub 15pin/ミニD-Sub 15pin用 20m)
製品同梱のコンピュータケーブルでは短いときの延長ケーブルです。

デジタルI/Fケーブル　ELPKC20
(DVI-D オス-オス 3m)
デジタルRGB出力のI/Fを持つコンピュータと接続するときに使うDVI用ケーブルです。

リモコンケーブルセット　ELPKC28
(φ3.5mmミニピンプラグ(オスとオス)10m)
(φ3.5mmミニピンジャック(オスとメス)10m)
離れたところから確実にリモコンを操作したいときに使います。

標準ズームレンズ※2　ELPLS02
(投写距離比:約1.8～2.4)
リアプロ用ワイドレンズ※2　ELPLR02
(投写距離比:約0.86)
長焦点ズームレンズ※2　ELPLL04
(投写距離比:約5.3～7.1)
中焦点ズームレンズ※2　ELPLM01
(投写距離比:約2.4～3.6)
中焦点ズームレンズ※2　ELPLM02
(投写距離比:約3.6～5.3)
短焦点ズームレンズ※2　ELPLW02
(投写距離比:約1.3～1.8)
投写距離比＝投写距離/投写画面の幅
値は設置の目安です。投写条件により変わります。

マルチメディアビューワー　ELPDC05
書籍やOHP原稿、スライドを投写するときなどに使います。

天井プレート※2　ELPFC03
パイプ370 (370mm シルバー)※2　ELPFP04
パイプ570 (570mm シルバー)※2　ELPFP05
パイプ770 (770mm シルバー)※2　ELPFP06
2連スタック金具※2　ELPMB15
高天井および化粧天井に取り付けるときに使います。

天吊り金具※2　ELPMB14
本機を天井に取り付けるときに使います。

※1 40型ウィンドウスクリーンは標準ズームレンズ、短焦点ズームレンズ装着時以外は使用できません。

※2 レンズ交換、および天吊り設置には特別な技術が必要となります。お買い求めいただいた販売店にご相談ください。

消耗品

交換用ランプ(EMP-9300用)　ELPLP26 (EMP-8300用)　ELPLP23 (交換用ランプとエアーフィルタ1セット(2枚)) 使用済みランプと交換します。	エアーフィルタセット　ELPAF02 (エアーフィルタ3セット(6枚)) 使用済みエアーフィルタと交換します。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

3-2 プルダウン 機能	映画フィルムと同じ24フレームで記録された映像ソースを、60フレームのプログレッシブ信号へと直接変換する機能です。これにより、24フレームで記録されたDVDソフトなどを大画面に映し出す場合にも、映画フィルムの質感を損なわず、自然で緻密な映像として再生できます。
5BNC	アナログのビデオ信号を入力するコネクタです。
DFP	Digital Flat Panel の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略で、ネットワークに接続する機器に、IPアドレス▶▶を自動的に割り当てるプロトコルのことです。
DVI (DVI-D)	Digital Visual Interface の略で、ビデオ信号をデジタル伝送する規格のことをいいます。 DVI はパソコン以外にデジタル家電もターゲットにした規格であり、DFPよりも高解像度の画像が転送でき、デジタル信号の暗号化機能もあります。
EMP Link21L	本機をコンピュータと接続して、コンピュータから本機の制御を行うユーティリティソフトです。ご提供方法やソフトの詳細についてはエプソンのホームページ(本書裏表紙に記載)をご覧ください。
HDTV	High-Definition Televisionの略で、次の条件を満たす高精細なシステムに適用されます。 ・垂直解像度750p、1125i以上 (pはプログレッシブ▶▶走査、iはインタレース▶▶走査) ・画面のアスペクト比▶▶は16：9 ・ドルビーデジタル▶▶音声の受信、再生(あるいは出力)
IPアドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを識別するための数字のことです。
MACアドレス	Media Access Controlアドレスの略です。MACアドレスはネットワークアダプタごとの固有のID番号です。すべてのネットワークアダプタは1つずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにネットワークアダプタ間の送受信が行われます。
S-ビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。 Y(輝度信号)C(色信号)の2つの独立した信号からできている映像をいいます。
SDTV	Standard Definition Televisionの略で、HDTVの条件を満たさない標準テレビジョン放送のことです。
SNMP	Simple Network Management Protocolの略で、TCP/IPネットワークにおいて、ルータやコンピュータ、端末など、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
sRGB	各画像装置が表現する色をコンピュータのオペレーティングシステム(OS)やインターネットで簡単に扱うために規定された色空間に関する国際標準です。
SVGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横800ドット×縦600ドットのものを呼びます。

SXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,280ドット×縦1,024ドットのものを呼びます。
USB	Universal Serial Busの略で、比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,600ドット×縦1,200ドットのものを呼びます。
VGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横640ドット×縦480ドットのものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT互換機(DOS/V機)の信号で横1,024ドット×縦768ドットのものを呼びます。
YCbCr	現行のテレビ(NTSC方式)で、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)CbCr(クロマ(色)信号)で表します。
YPbPr	ハイビジョンで、カラーバー信号波の中にある伝送用信号のことです。Y(輝度信号)PbPr(色差信号)で表します。
アスペクト比	画面の縦と横の比率をいいます。縦横の比率が16：9と横長になっている画面をワイド画面といいます。標準画面のアスペクト比は4：3です。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかった色合いになります。
インタレース	1つの画面を表示するときに情報を横方向に細かい線に分け、左から右へ、上から下へ順次表示させます。このとき偶数線分と奇数線分を交互に表示する方法をいいます。
クールダウン	投写によって高温になっているランプを冷却する処理です。リモコン、または本体の[電源]ボタンを押し電源を切ると自動的に行われます。クールダウン中は電源プラグを抜かないでください。クールダウンが正しく行われなくなるため、ランプや本機内部に高熱がこもったままとなり、ランプの寿命が短くなったり本機の故障の原因となります。
ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバ(ルータ)のことです。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
コンポーネントビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を分けて、高画質を追求する信号です。ハイビジョンにおいて、Y(輝度信号)Pb、Pr(色差信号)の３つの独立した信号からできている映像をいいます。
コンポジットビデオ	ビデオの明るさ信号や色信号を混合した、一般的な家庭用ビデオ信号(NTSC、PAL、SECAM)です。 カラーバー信号の中の伝送用信号Y(輝度信号)とクロマ(色)信号を重ねて１つの信号にしています。
サブネットマスク	IPアドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。

スクイーズモード	16:9の横長ワイド映像を水平方向に圧縮して、4:3の映像としてビデオソフトに収録する方法です。 本機のスクイーズモードを使って投写すると、元の16:9のワイド映像に戻ります。
同期	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相(山のずれ)を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定できます。kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社　情報機器事業部 〒103-0007東京都中央区日本橋浜町2-55-7(ナナヨービル) Tel:03-3663-7787 Fax:03-3669-2367
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数(山の数)を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。
トラップIPアドレス	SNMPで異常を通知する場合の、通知先のコンピュータのIPアドレス▸▸のことです。
ドルビーデジタル	ドルビー研究所で開発されたサウンド方式です。通常のステレオは2つのスピーカを用いた2ch方式ですが、ドルビーデジタルは、それにセンタースピーカ、リア2chスピーカ、サブウーファを追加した6ch(5.1ch)方式となっています。
フィルム判定機能	映像ソースが24Hzプログレッシブのフィルムソースかどうかを判別する機能です。
プログレッシブ	1つの画面を作り出す情報を上から下へ順次走らせて1画面を構成する方式をいいます。
リサイズ表示	本機のパネルサイズの画素数より多い、あるいは少ない解像度のコンピュータからの映像も表示サイズいっぱいになるように投写する機能です。
リフレッシュレート	ディスプレイの発光体は、その明るさと色をごく短時間保持します。そのため発光体をリフレッシュするために1秒間に何度も画像を走査しなければなりません。その速度をリフレッシュレートと呼び、ヘルツ(Hz)で設定します。

『EPSON Projector Software for Multi Screen』CD-ROMについて(EMP-9300のみ)

EMP-9300には、『EPSON Projector Software for Multi Screen』CD-ROMが同梱されています。
『EPSON Projector Software for Multi Screen』CD-ROMには、「EMP Multi Screen Adjustment」というソフトウェアが入っており、複数のプロジェクターを使って投写した映像を、大画面スクリーンに1つの映像のように見せる場合、各プロジェクターの色の差による違和感を調整することができます。

『EPSON Projector Software for Multi Screen』CD-ROMの内容

- 「EMP Multi Screen Adjustment」インストーラ
- EMP Multi Screen Adjustment 活用ガイド(日本語版PDF、英語版PDF)

動作可能なコンピュータ

EMP Multi Screen Adjustmentが動作可能なコンピュータ

OS※	Windows98SE/Me/2000 Professional/ XP Home Edition/XP Professional
CPU	PentiumMMX 166MHz以上(PentiumⅡ233MHz以上を推奨)
メモリ容量	8MB以上
ハードディスク空き容量	1MB以上
ディスプレイ	XGA(1024×768)以上の解像度、16ビットカラー以上の表示色

※ Macintoshには対応していません。

同梱の『EPSON Projector Software for Multi Screen』CD-ROMから「Multi Screen Adjustment」をインストールできます。
Windows2000/XPを使っている場合は、管理者権限のユーザーに限りインストールが行えます。

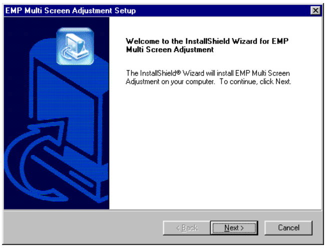
インストール

操作

1 コンピュータの電源を入れてWindowsを起動し、同梱の『EPSON Projector Software for Multi Screen』CD-ROMをセットします。
自動的にインストーラが起動します。

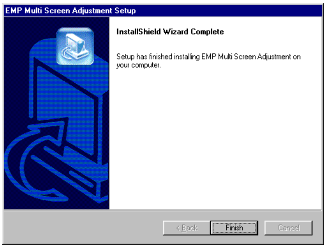
ポイント　セットアッププログラムが起動しない場合は、[スタート]→[ファイル名を指定して実行]で[ファイル名を指定して実行]ダイアログボックスを開き、「CD-ROM のドライブ名：￥EMPMSA￥SETUP.exe」を指定して[OK]ボタンをクリックしてください。

2 [Next]ボタンをクリックします。



インストールが始まります。以降は、画面の指示に従って進めてください。

3 インストールが終了すると、以下の画面を表示します。
インストールを終了する場合は[Finish]ボタンをクリックします。



インストール後は以下の手順で『EMP Multi Screen Adjustment 活用ガイド』をお読みください。

『EMP Multi Screen Adjustment 活用ガイド』を読む

ポイント　Acrobat Readerがインストールされていない場合は[EPSON]→[Acrobat]→[Windows]→[Japanese]の「ar505jpn.exe」ファイルをダブルクリックして、Acrobat Readerをインストールしてください。

操作

1 CD-ROMドライブに『EPSON Projector Software for Multi Screen』CD-ROMが入っている状態で、デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンをダブルクリックします。

2 「EPSON」アイコンを右クリックし、「開く」を選択します。

3 「Manual」フォルダをダブルクリックします。

4 「Manual_J.pdf」ファイルをダブルクリックします。
「EMP Multi Screen Adjustment 活用ガイド」が開きます。

アンインストール

EMP Multi Screen Adjustmentをアンインストールするには、[マイコンピュータ]→[コントロールパネル]→[アプリケーションの追加と削除]で「EMP Multi Screen Adjustment」を選択して[追加と削除](Windows XPの場合は[変更と削除])をクリックします。

コマンドリスト

プロジェクターに電源ONのコマンドを送信すると、電源がONになり、プロジェクターがウォームアップ状態になります。 電源ONの状態になったときにコロン‘:’(3Ah)を返信します。
プロジェクターはコマンドを実行後、‘:’を返信し、次のコマンドを受け付けます。
異常終了の場合は、エラーメッセージを出力した後に‘:’を返信します。

項　目		コマンド
電源のON/OFF	ON	PWR ON
	OFF	PWR OFF
信号切り替え	コンピュータ1	SOURCE 10
	コンピュータ2	SOURCE 20
	DVI	SOURCE 30
	ビデオ	SOURCE 41
	S-ビデオ	SOURCE 42
	BNC	SOURCE B0
A/Vミュート機能のON/OFF	ON	MUTE ON
	OFF	MUTE OFF
A/Vミュート機能の切り替え	黒	MSEL 00
	青	MSEL 01
	ユーザーロゴ	MSEL 02

※各コマンドの最後に、復帰(CR)コード(0Dh)を追加して送信してください。

通信プロトコル

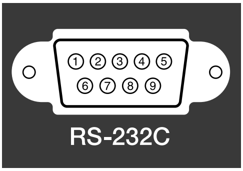
- ボーレート基準速度　：9600 bps
- データ長　：8 bits
- パリティ　：なし
- ストップビット　：1 bit
- フロー制御　：なし
- コネクタ形状　：D-Sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名　：RS-232C

ケーブル配線

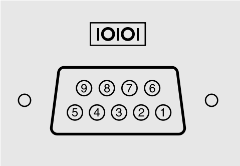
シリアル接続

- コネクタ形状　　　　　　：D-Sub 9pin(オス)
- プロジェクター入力端子名　：RS-232C

<プロジェクター側>



<コンピュータ側>



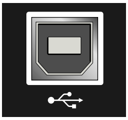
<プロジェクター側>		(PCシリアルケーブル)	<コンピュータ側>	
GND	5	―――	5	GND
RD	2	◀―――	3	TD
TD	3	―――▶	2	RD
DTR	4	―――▶	6	DSR
DSR	6	◀―――	4	DTR

信号名	機　能
GND	各信号線の接地
TD	送信データ
RD	受信データ
DSR	データセットレディ
DTR	データターミナルレディ

USB接続

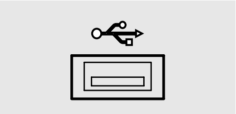
- コネクタ形状　　　　　　：USB(Bタイプ)

<プロジェクター側>



(Bタイプ)

<コンピュータ側>



USB通信の準備

USB接続による通信で本機をESC/VP21コマンドで制御するには、事前に次の準備が必要です。

操作

1 エプソンのホームページからお使いのコンピュータに「USB通信ドライバ(USB-COM Driver)」をダウンロードします。
URLは下記のとおりです。
http://www.epson.jp/products/download/elp/menu.htm

2 お使いのコンピュータにそのUSB通信ドライバをインストールします。
ダウンロード画面の注意事項をお読みください。

3 本機の環境設定メニューで「高度な設定2」→「通信ポート」を「USB」に設定します。

4 本機の電源を切ります。

5 クールダウン▸▸が終了後、本機の電源を入れます。
本機の電源を入れ直した以降、USB接続による通信が可能になります。

注意
クールダウンが終了する前に電源ケーブルを抜いた場合は、通信ポートの変更は行われません。

対応解像度一覧

コンピュータ/RGBビデオ

信号	リフレッシュレート (Hz)	解像度(ドット)	リサイズ表示時　画素数(ドット)	
			EMP-9300	EMP-8300
EGA		640×350	1400×766	1024×560
VGACGA		640×400	1400×875	1024×640
VGAEGA		640×350	1400×766	1024×560
VGA text		720×400	1400×778	1024×569
		720×350	1400×680	1024×498
VGA	60/72/75/85/100/120, iMac※1	640×480	1400×1050	1024×768
SVGA	56/60/72/75/85/100/120, iMac※1	800×600	1400×1050	1024×768
XGA	60/70/75/85/100, iMac※1	1024×768	1400×1050	1024×768
SXGA	60/70/75/85	1152×864※2	1400×1050	1024×768
SXGA	60/75/85	1280×960※2	1400×1050	1024×768
		1280×1024※2	1312×1050	960×768
SXGA+	60	1400×1050※2	1400×1050	1024×768
UXGA	60/65/70/75/80/85	1600×1200※3	1400×1050	1024×768
MAC13"		640×480	1400×1050	1024×768
MAC16"		832×624	1400×1050	1024×768
MAC19"		1024×768	1400×1050	1024×768
MAC21"		1152×870※2	1400×1050	1016×768
SDTV (525i,525p, 625i,625p)			1400×1050 (4:3アスペクト比) 1400×788 (16:9アスペクト比)	1024×768 (4:3アスペクト比) 1024×576 (16:9アスペクト比)
HDTV (750p)			1400×788	1024×576
HDTV (1125i)			1400×788	1024×576

※1 VGA出力ポートが装着されていない機種には接続できません。
※2 EMP-8300の場合、リアル表示時は仮想(ウィンドウ)表示になります。
※3 リアル表示時は仮想(ウィンドウ)表示になります。

上記以外の信号が入力された場合でも、映像を投写できることがあります。
ただし、この場合、機能が制限されることがあります。

コンポーネントビデオ

信号	表示モード(ドット)			
	4:3アスペクト比表示		16:9アスペクト比表示	
	EMP-9300	EMP-8300	EMP-9300	EMP-8300
SDTV(525i,525p,625i,625p)	1400×1050	1024×768	1400×788	1024×576
HDTV(750p)16:9	—	—	1400×788	1024×576
HDTV(1125i)16:9	—	—	1400×788	1024×576

コンポジットビデオ/S-ビデオ

信号	表示モード(ドット)			
	4:3アスペクト比表示		16:9アスペクト比表示	
	EMP-9300	EMP-8300	EMP-9300	EMP-8300
TV(NTSC)	1400×1050	1024×768	1400×788	1024×576
TV(PAL, SECAM)	1400×1050	1024×768	1400×788	1024×576

仕様一覧

商品名	EMP-9300NL/8300/8300NL
外形寸法	幅349×高さ179×奥行き491mm(フット含まず)
パネルサイズ	1.4型
表示方式	ポリシリコンTFT
画素数	EMP-9300NL：SXGA+ 1,470,000個(横1400×縦1050ドット)×3 EMP-8300/8300NL：XGA 786,432個(横1024×縦768ドット)×3
フォーカス調整※1	電動式
ズーム調整※1	電動式(約1：1.35)
レンズシフト※1	電動式(10：0 ～ 0：10)
ランプ(光源)	EMP-9300NL　　　：UHEランプ　定格200W　型番：ELPLP26 EMP-8300/8300NL：UHEランプ　定格320W　型番：ELPLP23
音声最大出力	7Wモノラル
スピーカ	1個
電源	100-240V±10%､50/60Hz AC 定格消費電力　EMP-9300NL：340W　EMP-8300/8300NL：480W 待機時消費電力　ネットワーク無効：EMP-9300NL　　：1.8W(100V時) EMP-8300/8300NL：1.5W(100V時) ネットワーク有効：60W(100V時)
動作高度	標高　0～3,048m
使用温度範囲	+5℃～+40℃(結露しないこと)
保存温度範囲	-10℃～+60℃(結露しないこと)
質量	EMP-9300NL：約9.2kg(レンズ無し) EMP-8300　：約11.2kg　EMP-8300NL：約9.2kg(レンズ無し)
接続端子	DVI端子:　1系統　DVI-D 音声入力端子:　1系統　ステレオミニピンジャック
	コンピュータ1端子:　1系統　ミニD-Sub 15pin(メス) 青色 音声入力端子:　1系統　ステレオミニピンジャック
	コンピュータ2端子:　1系統　ミニD-Sub 15pin(メス) 青色 音声入力端子:　1系統　ステレオミニピンジャック
	USB端子※2:　1系統　USBコネクタ(Bタイプ)
	BNC端子:　1系統　5BNC(メス) 音声入力端子:　1系統　RCAピンジャック×2 (L,R)
	S-ビデオ端子:　1系統　ミニDIN 4pin 音声入力端子:　1系統　RCAピンジャック×2 (L,R)
	ビデオ端子:　1系統　RCAピンジャック 音声入力端子:　1系統　RCAピンジャック×2 (L,R)
	RS-232C端子:　1系統　D-Sub 9pin(オス)
	リモート端子:　1系統　ステレオミニピンジャック
	モニタ出力端子:　1系統　ミニD-Sub 15pin(メス) 黒色 音声出力端子:　1系統　ステレオミニピンジャック
	ネットワーク端子:　1系統　RJ-45

※1　標準レンズを装着した場合です。他のオプションレンズを装着している場合は､レンズに添付の『取扱説明書』をご覧ください。
※2　USB1.1に対応しています。USB端子は､USB対応機器すべての動作を保証するものではありません。

Safety

USA
UL1950 3rd Edition
Canada
CSA C22.2 No.950-95
European Community
The Low Voltage Directive (73/23/EEC)
IEC60950 2nd Edition, +Amd.1, +Amd.2, +Amd.3, +Amd.4

EMC

USA
FCC 47CFR Part15B Class B (DoC)
Canada
ICES-003 Class B

European Community
The EMC Directive (89/336/EEC)
EN55022, 1998 Class B
EN55024, 1998
IEC61000-4-2, IEC61000-4-3, IEC61000-4-4, IEC61000-4-5,
IEC61000-4-6, IEC61000-4-8, IEC61000-4-11,
IEC61000-3-2, IEC61000-3-3

Australia/New Zealand
AS/NZS 3548:1995, A1:1997, A2:1997 Class B
CISPR Pub.22:1993, A1:1995, A2:1996, Class B

DECLARATION of CONFORMITY
According to 47CFR, Part 2 and 15
Class B Personal Computers and Peripherals; and/or
CPU Boards and Power Supplies used with Class B
Personal Computers

We	:EPSON AMERICA, INC.
Located at	:3840 Kilroy Airport Way
	MS: 3-13
	Long Beach, CA 90806
Tel	:562-290-5254

Declare under sole responsibility that the product identified herein, complies with 47CFR Part 2 and 15 of the FCC rules as a Class B digital device. Each product marketed, is identical to the representative unit tested and found to be compliant with the standards. Records maintained continue to reflect the equipment being produced can be expected to be within the variation accepted, due to quantity production and testing on a statistical basis as required by 47CFR 2.909. Operation is subject to the following two conditions : (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Trade Name	:EPSON
Type of Product	:Projector
Model	:EMP-9300NL / EMP-8300 / EMP-8300NL

FCC Compliance Statement
For United States Users

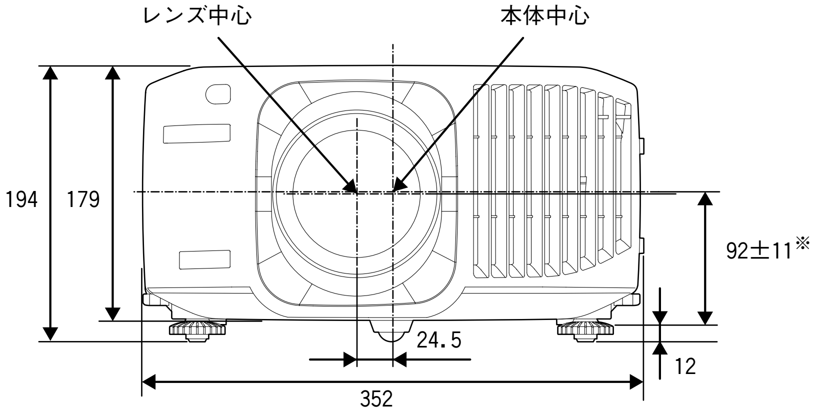
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio or television reception. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio and television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures.

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

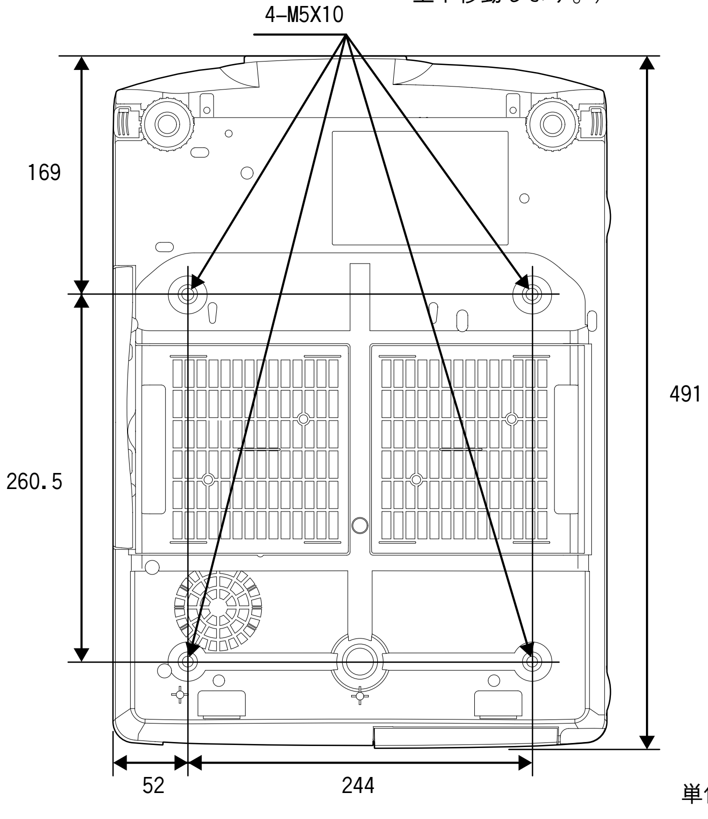
WARNING

The connection of a non-shielded equipment interface cable to this equipment will invalidate the FCC Certification or Declaration of this device and may cause interference levels which exceed the limits established by the FCC for this equipment. It is the responsibility of the user to obtain and use a shielded equipment interface cable with this device. If this equipment has more than one interface connector, do not leave cables connected to unused interfaces. Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer could void the user’s authority to operate the equipment.

外形寸法図



※レンズ中心から天吊固定部までの寸法
（レンズ中心はレンズシフトによって
上下移動します。）



単位：mm

索引

数字・アルファベット

13w3端子 18
5BNC端子 19
Analog-RGB 82,94
A/Vミュート 68,89
BNC Sync ターミネーション 93
BNC入力 89
BSデジタルチューナ 28
DHCP 102
Digital-RGB 82,94
D端子ケーブル 28
Eズーム 70
EMP Monitor機能 110
EMP NetworkManager 103
ESC/VP21 149
HDTV 152
IPアドレス 102
MACアドレス 103
PinP機能 71
Projector Software 5,99
Quick Corner 56
RGB 91
RGBビデオ 29
RS-232端子 166
SNMP 103
sRGB 64,83,85
S-ビデオ 26,84,94
S-ビデオ端子 166
USBケーブル 5,23
USB端子 166
USB通信 151
USBマウス 23
YCbCr 46,84,94
YPbPr 46,84,94

アイウエオ

ア

明るさ 83,85
アスペクト比 79
アンインストール 101
色合い 85
色温度 91
色の濃さ 85
インジケータ 117,162
インストール 99
エアーフィルタ 163
エアーフィルタの交換方法 137
エアーフィルタの掃除 131
映像ソース 94
映像メニュー 82
エフェクト機能 73
オーディオケーブル 5,31
オーバーヒート 118
オプション品 141
オペレーションインジケータ ...117,162
音声出力端子 31,166
音声入力端子 31,166
音声メニュー 86
温度インジケータ 117,162
音量 65

カ

解像度 152
外部モニタ 34
各部の名称と働き 162
カラー調整 91
カラーモード 64,83,85
環境設定メニューの機能と操作 82
輝度切替 92
吸気口 162
曲線 74
クールダウン 50,119
黒レベル 91
ゲートウェイアドレス 102
ケーブルカバー 4,36

言語 92
高音 86
高輝度 92
高度な設定1メニュー 90
高度な設定2メニュー 92
故障かなと思ったら 117
コントラスト 83,85
コンピュータ1端子 166
コンピュータ1入力 89
コンピュータ2端子 166
コンピュータ2入力 89
コンピュータケーブル 4,17
コンピュータとの接続 16
コンポーネントビデオ 27
コンポジットビデオ 25

サ

サブネットマスク 102
サブメニュー 82
シアター 64,83,85
自動調整 61,93
シャープネス 83,85
周波数 94
終了方法 50
仕様一覧 154
使用温度範囲 154
情報メニュー 94
白レベル 91
ズーム調整 52
スクイーズモード 79
スクリーンサイズ 14
スタートアップスクリーン 90
スタンバイモニタアウト機能 35
スピーカ 31,33,162
スリープモード 89
静止 69
接続できるコンピュータ 16
接続端子 46,166
設置方法 13
設定メニュー 88
全初期化メニュー 95
操作可能距離（リモコン）.......... 12
操作可能範囲（リモコン）.......... 12
操作パネル 164
送信イベント 106

タ

ターゲットスコープ 70
対応解像度 152
台形にゆがむ場合の補正 56
台形補正 56,59,88
待機モード 91
ダイナミック 64,83,85
ダイレクトパワーオン 93
高さ補正 60
タテ補正 59
通信ポート 92
直線 74
低音 86
低輝度 92
テンキー 102,165
電源ケーブル 4,44
電源端子 163
電源投入時 39
電池のセット方法と交換時期 10
天吊り 13,91
天吊固定部 158,163
問い合わせコード 38
動作環境 99
同期 61,83
同期極性 94
同期モード 94
投写 44
投写角度 53
投写距離 14
投写サイズ 14,52
盗難防止用ロック 162
トップメニュー 82
トラッキング 61,83

ナ

入力解像度 83

入力信号 94
ネットワーク 92
ネットワーク端子 166
ノーシグナル表示 88

ハ

排気口 162
パスワードプロテクト 37
パスワードプロテクトシール 4,39
ハンドル 162
ビデオ映像 84,94
ビデオ機器との接続 25
ビデオ信号方式 85,94
ビデオ端子 166
表示位置 61,83,85
ピント 53
フォーカス調整 53
フット調整 55
プリセット機能 75
プリセット登録 84
プレゼンテーション 64,83,85
プレビュー機能 48
プログレッシブ変換 91
プロジェクターID 80
プロジェクター名 105
フロントフット 162
ヘルプ機能 116
ポインタ 73
ポインタ移動速度 87
保存温度範囲 154
本体の掃除 130

マ

マウスポインタ 24
ミニD-Sub 15pin端子 17
メール通知機能 103
メッセージ表示 88
メニュー 82
モニタ出力端子 166

ヤ

ユーザーロゴ 68,139
ユーザーロゴメニュー 90
用語解説 143

ラ

ランプインジケータ 117,162
ランプカバー 163
ランプ点灯時間 94
ランプ点灯時間の初期化 94,136
ランプの交換時期 133
ランプの交換方法 134
ランプフィルタの掃除 132
リア 13,91
リアスクリーン 13
リアル表示 77
リサイズ表示 77
リビング 64,83,85
リフレッシュレート 94
リモート端子 165,166
リモコン 10,11,23,165
リモコンID 80
リモコン受光部 162,163
リモコンスイッチ 11,165
リモコン発光部 165
レンズカバー 162
レンズシフト調整 54
レンズの掃除 130

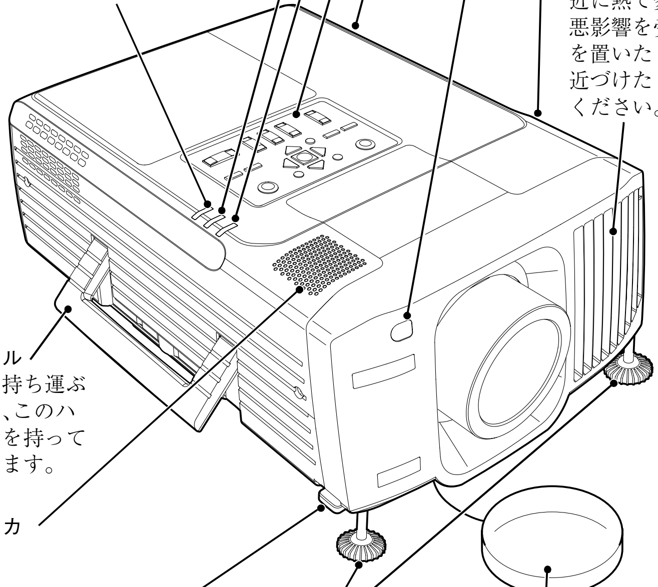
ワ

ワークステーション 18
ワイドサイズの映像 79
ワイヤレスマウス機能 23

各部の名称と働き

標準レンズを装着している場合を例として記載しています。

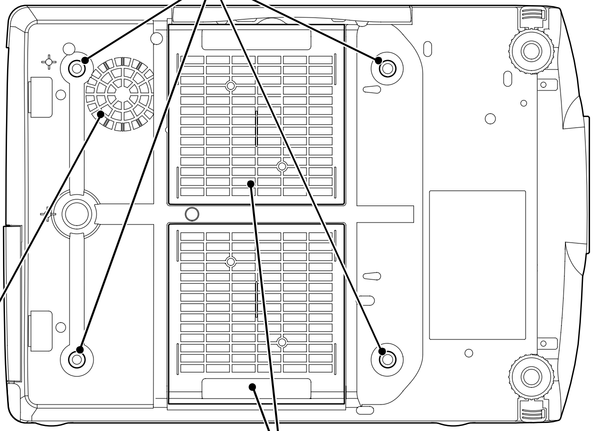
前面/上面/側面



- 本体操作パネル ☛ p.164
- (オペレーション)インジケータ ☛ p.117
  本機の動作状態を、色や点滅・点灯状態で示します。
- (ランプ)インジケータ ☛ p.117
  投写ランプの異常を色や点滅・点灯状態で示します。
- (温度)インジケータ ☛ p.117
  本機内部の温度異常を色や点滅・点灯状態で示します。
- 吸気口 ☛ p.131
  定期的に掃除してください。
- リモコン受光部 ☛ p.11
  リモコン信号を受信します。
- 盗難防止用ロック( ) ☛ p.145
- 排気口
  ⚠注意
  投写中は排気口の付近に熱で変形したり、悪影響を受けるものを置いたり、手や顔を近づけたりしないでください。
- ハンドル
  本機を持ち運ぶ場合は、このハンドルを持って移動します。
- スピーカ
- フットレバー ☛ p.55
  右側面にも同様にフットレバーがあります。
  フロントフットを伸縮させるときに、両側のフットレバーを引きます。
- フロントフット ☛ p.55
  机上などに置いて使う場合に、投写角度を調整するときに伸ばします。
- レンズカバー
  プロジェクターを使用しないときに装着し、レンズが傷ついたり汚れたりするのを防ぎます。

底面

●天吊固定部(4箇所)　☛ p.13,141
天井から吊り下げて使うとき、オプションの天吊り金具を取り付けます。



●吸気口　☛ p.131
定期的に掃除してください。

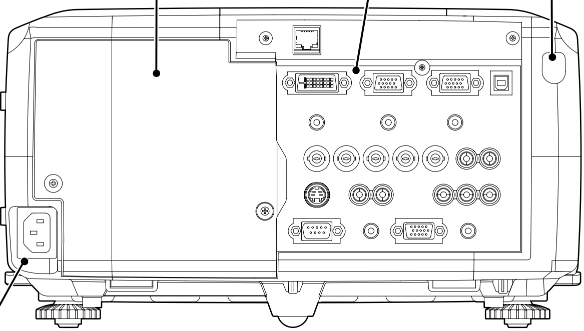
●エアーフィルタ(2箇所)(吸気口)　☛ p.131,137
吸気時に、本機内部にホコリやゴミが入るのを防ぎます。定期的に掃除してください。

背面

●ランプカバー　☛ p.134
ランプの交換時にこのカバーを開けて、中のランプを交換します。

●入出力端子　☛ p.166

●リモコン受光部　☛ p.11
リモコン信号を受信します。



●電源端子　☛ p.44
電源ケーブルを接続します。

本体操作パネル

説明のないボタンは､リモコンに同じボタンがあります。そちらをご覧ください。

● [自動調整/決定]ボタン ☛ p.61,96,116
リモコンの[自動調整]ボタンと同様の働きをします。
環境設定メニューやヘルプ表示中は､リモコンの[Enter]ボタンと同様の働きをします。

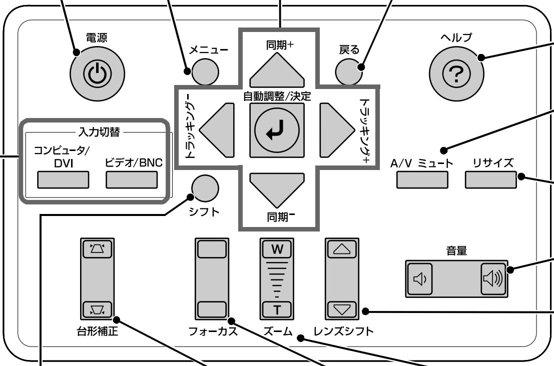
● [同期+][同期－]ボタン ☛ p.63,96,116
コンピュータの映像の同期▸▸を調整するときに押します。
環境設定メニューやヘルプ表示中は､項目を選択するときの[▲][▼](上下)ボタンとして使います。

● [トラッキング+][トラッキング－]ボタン ☛ p.62,97,116
コンピュータの映像のトラッキング▸▸を調整するときに押します。
環境設定メニューやヘルプ表示中は､設定値を調整するときの[◄][►](左右)ボタンとして使います。

● [メニュー]ボタン
☛ p.96

● [電源]ボタン
☛ p.45,50

● [戻る]ボタン ☛ p.97,116
リモコンの[ESC]ボタンと同様の働きをします。



● [ヘルプ]ボタン ☛ p.116

● [A/Vミュート]ボタン
☛ p.68

● [リサイズ]ボタン ☛ p.77

● [音量]ボタン ☛ p.65

● [レンズシフト]ボタン
☛ p.54

● [ズーム]ボタン ☛ p.52

● [フォーカス]ボタン ☛ p.53

● [シフト]ボタン ☛ p.58,78
このボタンは単体では機能しません。Quick Corner機能実行中や､リサイズ機能時に使います。

● [台形補正]ボタン ☛ p.59
タテ補正するときに押します。

● [入力切替]ボタン ☛ p.46
[コンピュータ/DVI]ボタン：押すたびに[コンピュータ1]端子→[コンピュータ2]端子→[DVI]端子の順で映像ソースを切り替えます。
[ビデオ/BNC]ボタン：押すたびに[S-ビデオ]端子→[ビデオ]端子→[BNC]端子の順で映像ソースを切り替えます。

リモコン

●[ページ]ボタン　☛p.23
[↑]：ワイヤレスマウス機能時は、このボタンを押しPowerPointファイルのページを前ページに戻すことができます。
[↓]：ワイヤレスマウス機能時は、このボタンを押しPowerPointファイルのページを次ページに送ることができます。

●[Eズーム]ボタン　☛p.70
[⊕]：投写サイズを変えずに、映像を拡大します。
[⊖]：[⊕]ボタンで拡大した結果を縮小します。

●[◌]ボタン　☛p.24,96,116
環境設定メニューやヘルプ表示中は、メニュー項目や設定値の選択を行います。
ワイヤレスマウス機能時は、ボタンを傾けると、傾けた方向にポインタが移動します。

●[☼](照光)ボタン
ボタンを押すと[☼]、[Enter]、[ESC]、[数字]、[ID]以外のボタンが約10秒間光ります。

●[Enter(⏻)]ボタン　☛p.24,96,116
環境設定メニューやヘルプの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。
ワイヤレスマウス機能時は、マウスの左クリックとして機能します。1.5秒間押し続けるとボタンが点灯し、ドラッグモードになります。

●[メニュー]ボタン　☛p.96
押すたびに、環境設定メニューを表示/終了します。

●[入力切替]ボタン　☛p.46
[DVI]　：[DVI]端子からの映像に切り替えます。
[Comp1]：[コンピュータ1]端子からの映像に切り替えます。
[Comp2]：[コンピュータ2]端子からの映像に切り替えます。
[BNC]　：[BNC]端子からの映像に切り替えます。
[S-Video]：[S-ビデオ]端子からの映像に切り替えます。
[Video]：[ビデオ]端子からの映像に切り替えます。
[EasyMP]：本機では機能しません。

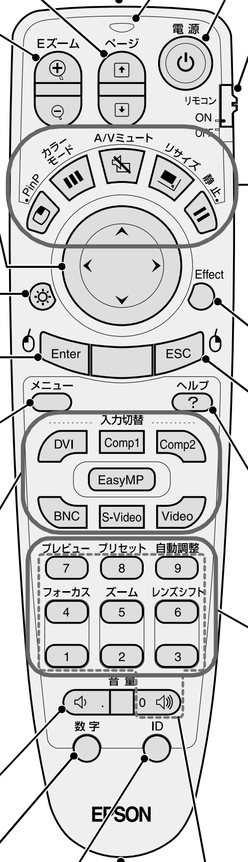
●[音量]ボタン　☛p.65
音量を調整するときに押します。

●[数字]ボタン　☛p.102
環境設定メニューの「高度な設定2」→「ネットワーク」の設定や、パスワード入力、パスワード変更のときに使います。

●[ID]ボタン　☛p.81
リモコンのID番号を登録するときに使います。

●[リモート]端子　☛p.12,141
オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンの信号を出力します。

●リモコン発光部　☛p.12
リモコン信号を出力します。



●インジケータ
リモコン信号を出力しているときに発光します。ドラッグモード時には点滅します。

●[電源]ボタン　☛p.45,50
プロジェクターの電源をON/OFFします。

●[リモコン]スイッチ　☛p.11
リモコンの電源をON/OFF します。「ON」になっていないとリモコンで操作できません。

●[PinP]ボタン　☛p.71
押すたびにピクチャー イン ピクチャー機能を実行/解除します。
●[カラーモード]ボタン　☛p.64
カラーモードを切り替えます。押すたびに、ダイナミック→プレゼンテーション→シアター→リビング→sRGB▸▸の順で切り替わります。
●[A/V ミュート] ボタン　☛p.68
押すたびに映像と音声を一時的に消す/解除します。
●[リサイズ] ボタン　☛p.77
コンピュータ映像投写時：押すたびに、リアル表示/リサイズ表示に切り替えます。
ビデオ映像投写時：押すたびに、アスペクト比▸▸が切り替わります。
●[静止] ボタン　☛p.69
押すたびに映像を一時停止/解除します。

●[Effect]ボタン　☛p.73
プレゼンテーション中の映像を、ポインタで指したり、ラインで強調するときに押します。

●[ESC(⏻)]ボタン　☛p.24,97,116
実行中の機能を終了します。環境設定メニューやヘルプ表示中は、1つ上の階層に戻ります。
ワイヤレスマウス機能時は、マウスの右クリックとして機能します。1.5秒間押し続けるとボタンが点灯し、ドラッグモードになります。

●[ヘルプ]ボタン　☛p.116
押すたびに、トラブルが起こった場合の対処方法を示すヘルプを表示/終了します。

●[プレビュー]ボタン　☛p.48
押すたびに、プレビュー機能を実行/解除します。
●[プリセット]ボタン　☛p.75
環境設定メニューの「映像」→「プリセット登録」で記憶させた設定を呼び出します。
●[自動調整]ボタン　☛p.61
コンピュータのアナログRGB映像信号を自動調整し、最適化します。
●[フォーカス]ボタン　☛p.53
投写レンズの焦点を調整するときに押します。
●[ズーム]ボタン　☛p.52
投写映像のサイズを調整するときに押します。
[5]を押すと、映像を拡大します。
[2]を押すと、映像を縮小します。
●[レンズシフト]ボタン　☛p.54
レンズを上下に移動するときに押します。
[6]を押すと、レンズを上に移動します。
[3]を押すと、レンズを下に移動します。

●[テンキー]ボタン　☛p.81,102
[ID]ボタンや[数字]ボタンを押したときに、0～9の数字が入力できます。

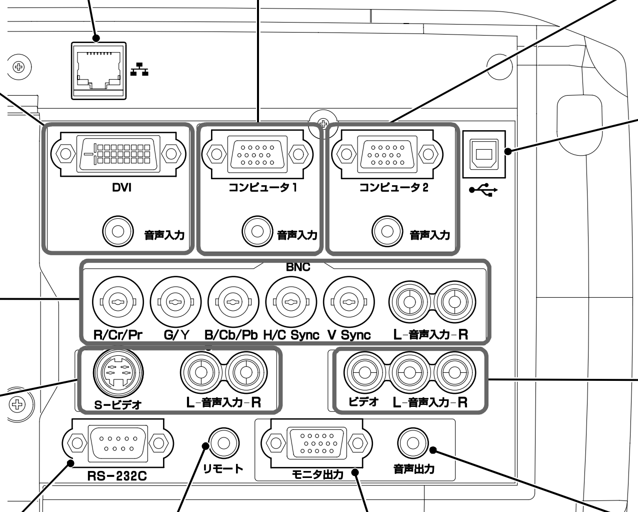
入出力端子

- [DVI]端子　☛ p.21,22
  コンピュータのデジタルRGB映像信号を入力します。
- [音声入力]端子（[DVI]端子用）　☛ p.31
  [DVI]端子に接続した機器の音声信号を入力します。

- [ネットワーク]端子　☛ p.101
  本機をネットワークに接続します。

- [コンピュータ1]端子　☛ p.17,22,29
  コンピュータのアナログRGB映像信号やビデオ機器のRGBビデオ信号を入力します。
- [音声入力]端子（[コンピュータ1]端子用）　☛ p.31
  [コンピュータ1]端子に接続した機器の音声信号を入力します。

- [コンピュータ2]端子 ☛ p.17,22,29
  コンピュータのアナログRGB映像信号やビデオ機器のRGBビデオ信号を入力します。
- [音声入力]端子
  （[コンピュータ2]端子用）　☛ p.31
  [コンピュータ２]端子に接続した機器の音声信号を入力します。



- [BNC]端子　☛ p.20,22,27
  コンピュータのアナログRGB映像信号や、ビデオ機器のRGBビデオ信号、コンポーネントビデオ▶▶信号を入力します。
- [音声入力]端子([BNC]端子用)　☛ p.31
  [BNC]端子に接続した機器の音声信号を入力します。

- [S-ビデオ]端子　☛ p.26
  ビデオ機器のS-ビデオ▶▶信号を入力します。
- [音声入力]端子([S-ビデオ]端子用)　☛ p.31
  [S-ビデオ]端子に接続した機器の音声信号を入力します。

- [USB]端子　☛ p.23,150
  ワイヤレスマウス機能を使うときに、USBケーブルでコンピュータと接続します。

- [ビデオ]端子　☛ p.25
  ビデオ機器のコンポジットビデオ▶▶信号を入力します。
- [音声入力]端子（[ビデオ]端子用）　☛ p.31
  [ビデオ]端子に接続した機器の音声信号を入力します。

- [音声出力]端子　☛ p.33
  現在選択している映像ソースの音声を外部スピーカに出力します。

- [RS-232C]端子　☛ p.150
  RS-232Cケーブルでコンピュータと接続します。制御用の端子で通常は使用しません。

- [リモート]端子　☛ p.12,141
  オプション品のリモコンケーブルセットを接続し、リモコンからの信号を入力します。

- [モニタ出力]端子　☛ p.34
  現在選択している映像ソースを外部モニタに出力します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者 (裏表紙参照) 以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

瞬低 (瞬時電圧低下) 基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、XGA は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。
Macintosh 、Mac 、iMac は、Apple Computer, Inc. の登録商標です。
Windows 、Windows NT 、VGA は米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。
ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

© SEIKO EPSON CORPORATION 2003-2004. All rights reserved.

この取扱説明書は100％再生紙を使用しています。

環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

EPSON

EMP-9300/8300

取扱説明書

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

ナビダイヤル 0570－004110　【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、（0263）54-5800までお電話ください。

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】9:00～17:30　月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

上記電話番号はKDDI株式会社の電話サービス KDDI光ダイレクト を利用しています。
なお、下記のように一部ご利用いただけない場合もございます。
＊一部のPHSからおかけいただく場合
＊一部のIP電話事業者からおかけいただく場合
（ご利用の可否はIP電話事業者間の接続状況によります。上記番号への接続可否についてはご契約されているIP電話事業者へお問い合わせください。）
上記番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、（042）511-2949におかけくださいますようお願いいたします。
また、ご利用の通話料金は、ご契約されている通信事業者からの請求に、KDDIからの請求が追加されます。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ドアtoドアサービス（修理品有償ピックアップサービス）に関するお問い合わせ先

ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　ナビダイヤル 0570－090－090　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

＊ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
＊新電電各社をご利用の場合は、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。
＊携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンサービス㈱ホームページhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ（ホームページアドレス http://epson-supply.jp またはフリーコール 0120－251528）でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

70306002

Printed in Japan　06.04-.15A(C05)　405201102